



2025年度 後期
学生による授業改善アンケート集計結果

日本赤十字看護大学 看護学部（広尾）

目次

1. 授業改善アンケート質問項目一覧	【講義】		3
2. 授業改善アンケート質問項目一覧	【演習】		4
3. 授業改善アンケート質問項目一覧	【実習】		5
4. 授業改善アンケート結果	【講義－全体】		6
5. 授業改善アンケート結果	【講義－科目別】		7
6. 教員からのコメント一覧	【講義】		78
7. 授業改善アンケート結果	【演習－全体】		84
8. 授業改善アンケート結果	【演習－科目別】		85
9. 教員からのコメント一覧	【演習】		96
10. 授業改善アンケート結果	【実習－全体】		99
11. 授業改善アンケート結果	【実習－科目別】		100
12. 教員からのコメント一覧	【実習】		122

アンケート質問項目一覧【講義】 匿名式

1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
4	授業の内容はわかりやすかった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
5	授業の内容に、興味関心が増した。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
6	この授業は自分にとって有意義であった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
10	教員の熱意が伝わってきた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
16	この授業で良いと思った点があれば聞かせてください。	(自由記載)
17	この授業で改善したほうが良いと思った点について建設的な意見を聞かせてください。	(自由記載)

アンケート質問項目一覧【演習】 匿名式

1	使用した教材（テキスト・配布資料・映像・事例・モデル等）は授業の理解に役立った。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
2	教員によるデモンストレーション／ファシリテーション（進行）は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方等）は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
4	取り組む内容とその説明には一貫性が見られていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
5	授業を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
6	理論的な知識に加え、実践的レベルで授業内の課題に取り組むことができた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
7	学生への指示や配慮は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
8	グループ等の人数は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
9	時間配分は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
10	教員の熱意が伝わってきた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
11	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況であった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
13	私は事前学修をして授業に臨んだ。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
14	私は授業後に授業内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
15	私は知識や能力を向上させるように取り組むことができた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
16	この授業で良いと思った点があれば聞かせてください。	(自由記載)
17	この授業で改善したほうが良いと思った点について建設的な意見を聞かせてください。	(自由記載)

アンケート質問項目一覧【実習】 匿名式

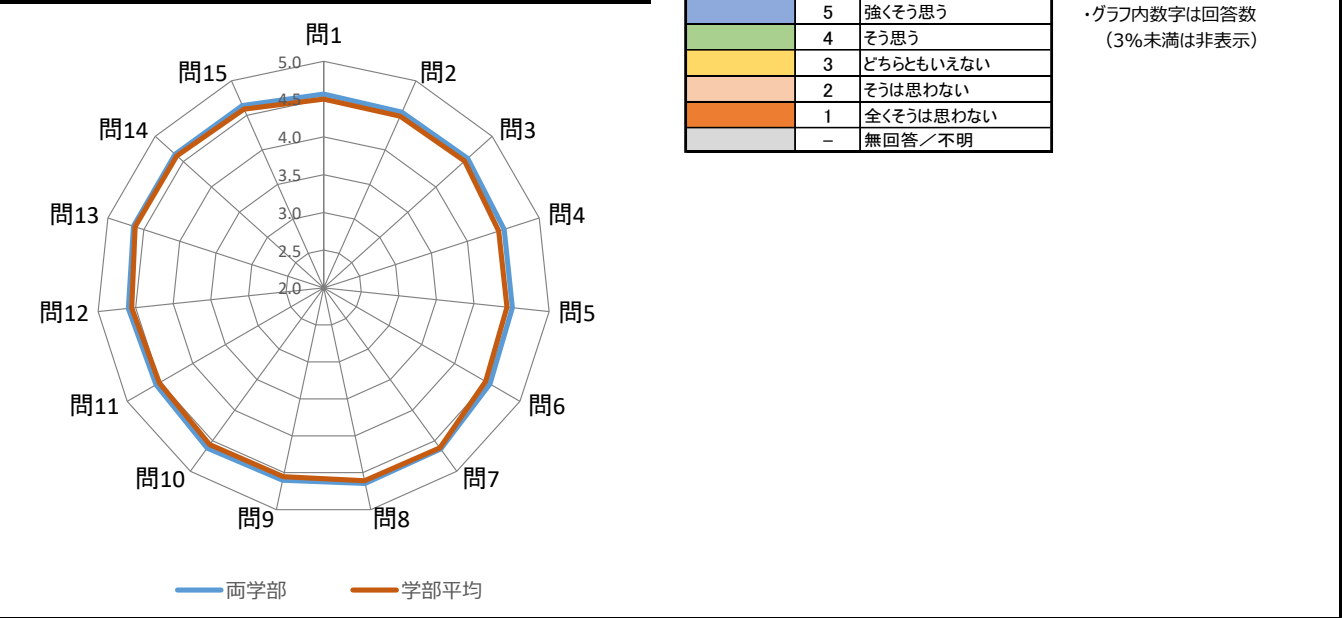
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
12	私は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
13	私は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
14	私は、実習目標に到達できるよう努力した。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
15	私は、自ら指導・支援を求めることができた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
16	私は、体調管理に努めた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
17	良いと思った点や改善してほしいことなどについて、具体的あるいは建設的な意見を聞かせてください。	(自由記載)

学部名	看護学部	履修者数		4580	回答率	
		回答数	紙	3248	70.9%	70.9%
			WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	1919	1117	137				4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	1890	1142	147				4.49	4.55
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	1942	1100	136				4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。	1860	1102	161				4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。	1874	1084	163				4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。	1910	1098	142				4.47	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	2142	1005					4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。	2120	1012					4.61	4.64
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	2058	1012	115				4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。	2055	1031	112				4.56	4.62
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	1952	1084	143				4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	2017	1057	128				4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。	2157	970					4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	2144	974	103				4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。	2100	985	116				4.59	4.63
問1~15全問平均								4.54	4.59

■質問別得点



授業改善アンケート【講義】科目別集計

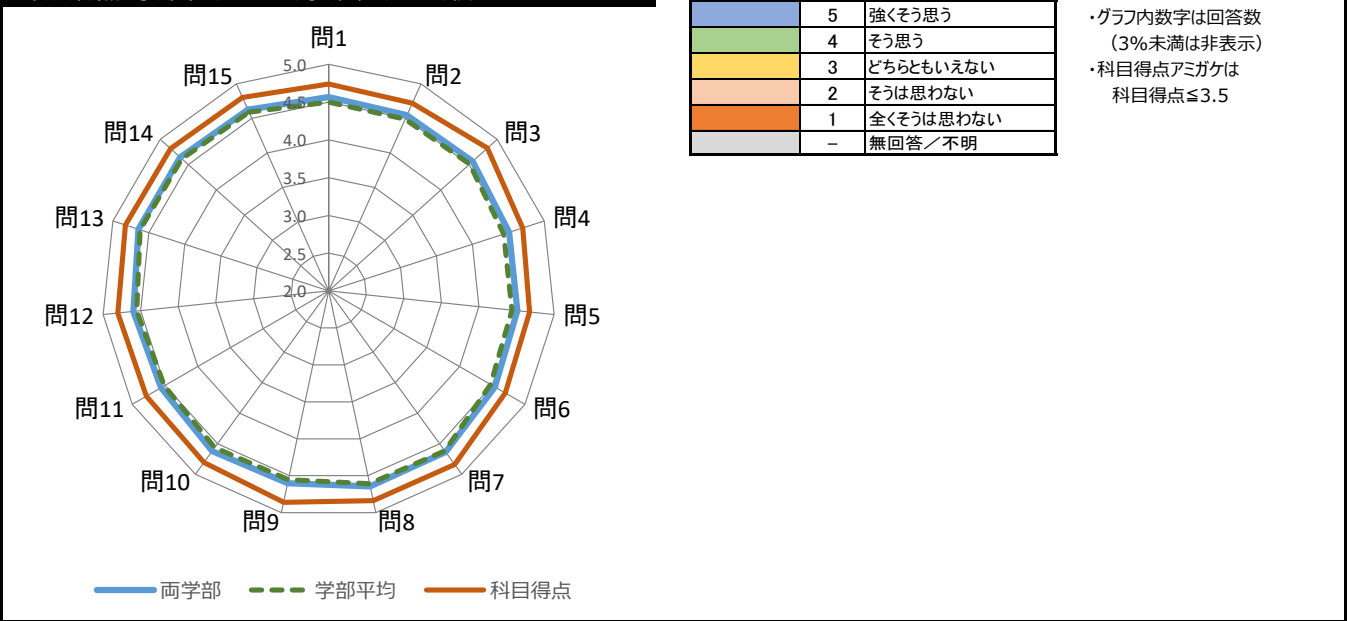
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	生命倫理 [1B0200]		履修者数	142	回答率	
教員名	筒井 一穂		回 紙	93	65.5%	65.5%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.74	4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.72	4.49	4.55
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。							4.83	4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.70	4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。							4.67	4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。							4.70	4.47	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.84	4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。							4.84	4.61	4.64
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。							4.86	4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.81	4.56	4.62
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.78	4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.80	4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。							4.83	4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.82	4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。							4.80	4.59	4.63
問1～15全問平均								4.78	4.54	4.59

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



授業改善アンケート【講義】科目別集計

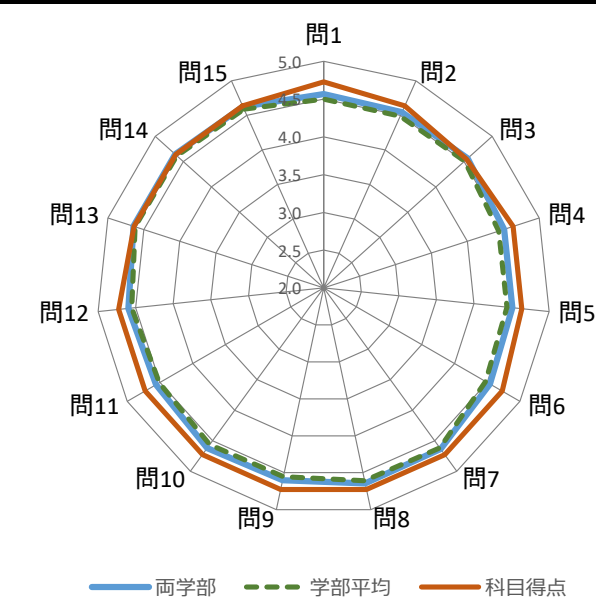
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	現代教育論	[1B0600]	履修者数	16	回答率	
教員名	渋谷 真樹		回 紙	11	68.8%	68.8%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。			8		3		4.73	4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。			7		4		4.64	4.49	4.55
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。			6		5		4.55	4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。			7		4		4.64	4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。			7		4		4.64	4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。			8		3		4.73	4.47	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。			8		3		4.73	4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。			8		3		4.73	4.61	4.64
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。			8		3		4.73	4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。			8		3		4.73	4.56	4.62
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。			8		3		4.73	4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。			8		3		4.73	4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。			7		4		4.64	4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。			7		4		4.64	4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。			7		4		4.64	4.59	4.63
問1～15全問平均								4.68	4.54	4.59

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

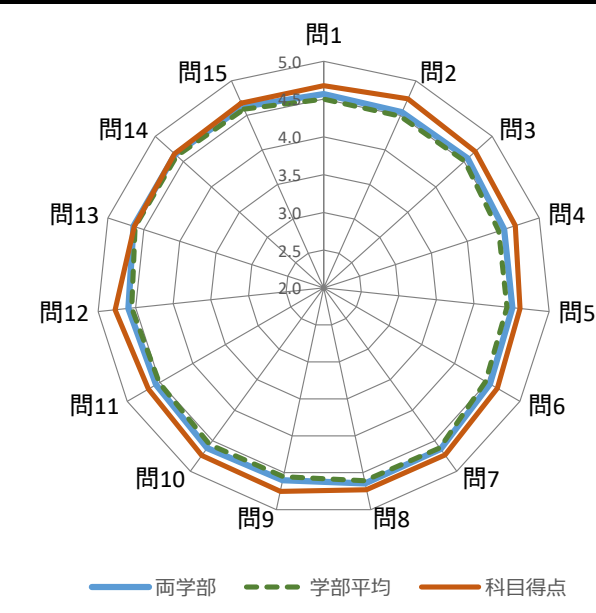
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	身体運動論 I (理論)	[1B0700]	履修者数	106	回答率		
教員名	八十島 崇		回 紙	93	87.7%	87.7%	
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0		0.0%

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	64				28		4.68	4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	69				24		4.74	4.49	4.55
3	教員の話し方 (声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	67				24		4.70	4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。	65				25	3	4.67	4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。	63				26		4.61	4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。	66				24		4.66	4.47	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	69				23		4.73	4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた (シラバス変更の説明も含む)。	69				23		4.73	4.61	4.64
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	70				23		4.75	4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。	69				24		4.74	4.56	4.62
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	64				28		4.68	4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	72				21		4.77	4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修 (事前学修・事後学修・課題など) を行った。	62				28	3	4.63	4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	63				28		4.66	4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。	64				28		4.68	4.59	4.63
問1～15全問平均								4.70	4.54	4.59

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

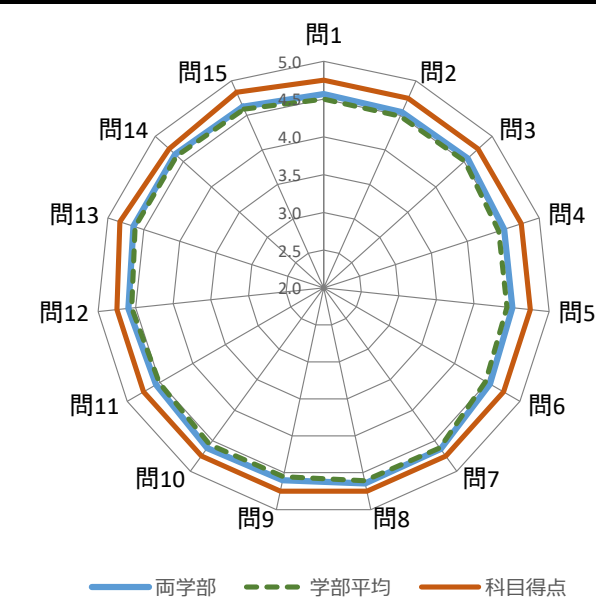
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	臨床心理学	[1B1800]	履修者数	15	回答率	
教員名	遠藤 公久		回 紙	12	80.0%	80.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。			9		3		4.75	4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。			9		3		4.75	4.49	4.55
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。			9		3		4.75	4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。			9		3		4.75	4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。			9		3		4.75	4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。			9		3		4.75	4.47	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。			9		3		4.75	4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。			9		3		4.75	4.61	4.64
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。			9		3		4.75	4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。			9		3		4.75	4.56	4.62
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。			9		3		4.75	4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。			9		3		4.75	4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。			10		2		4.83	4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。			9		3		4.75	4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。			10		2		4.83	4.59	4.63
問1~15全問平均								4.76	4.54	4.59

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

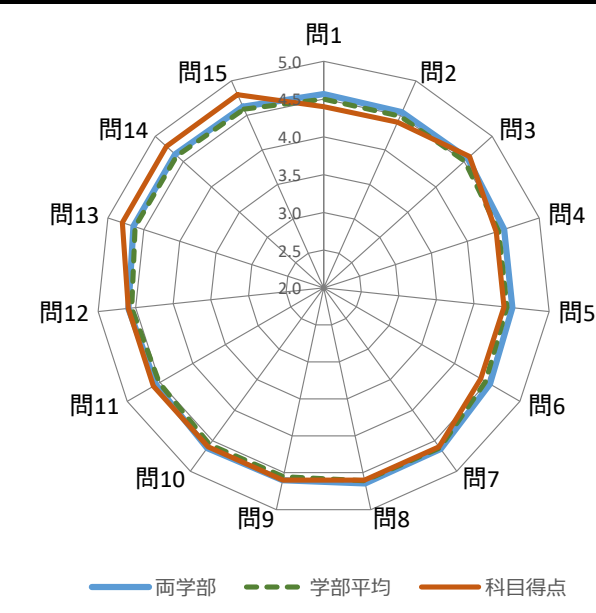
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	臨床心理学	[1B1803]	履修者数	9	回答率		
教員名	遠藤 公久		回 答 数	紙 5 WEB 0	55.6%	55.6%	
学部	看護学部	授業形態	講義		0.0%		

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	2		3				4.40	4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	2		3				4.40	4.49	4.55
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	3		2				4.60	4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。	2		3				4.40	4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。	2		3				4.40	4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。	2		3				4.40	4.47	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	3		2				4.60	4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。	3		2				4.60	4.61	4.64
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	3		2				4.60	4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。	3		2				4.60	4.56	4.62
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	3		2				4.60	4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	3		2				4.60	4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。	4		1				4.80	4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	4		1				4.80	4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。	4		1				4.80	4.59	4.63
問1~15全問平均								4.57	4.54	4.59

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

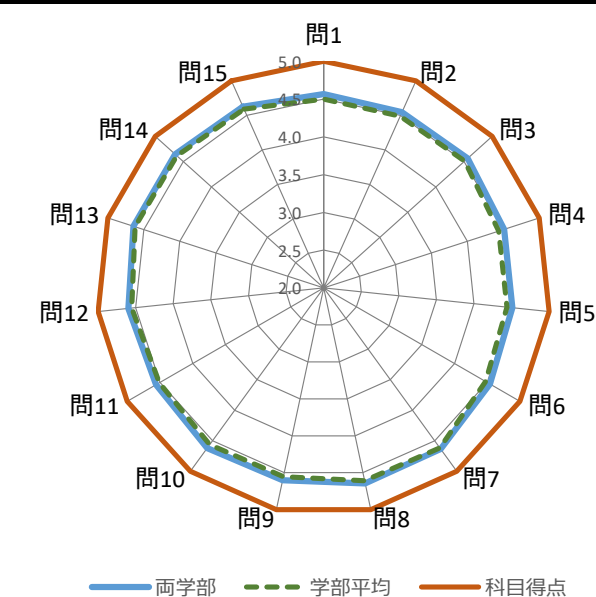
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	人間工学	[1B1900]	履修者数	2	回答率		
教員名	田部井 賢一		回 紙	2	100.0%	100.0%	
学部	看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%		

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							5.00	4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							5.00	4.49	4.55
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。							5.00	4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。							5.00	4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。							5.00	4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。							5.00	4.47	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							5.00	4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。							5.00	4.61	4.64
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。							5.00	4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。							5.00	4.56	4.62
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							5.00	4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							5.00	4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。							5.00	4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							5.00	4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。							5.00	4.59	4.63
問1～15全問平均								5.00	4.54	4.59

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

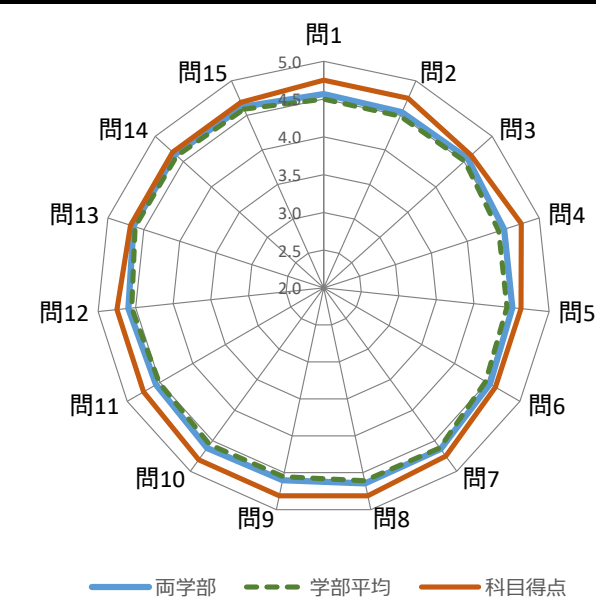
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	家族社会学	[1C0401]	履修者数	19	回答率		
教員名	宮下 阿子		回 紙	16	84.2%	84.2%	
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0		0.0%

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	12				4		4.75	4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	12				4		4.75	4.49	4.55
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	11			4	1		4.63	4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。	12				4		4.75	4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。	12			3	1		4.63	4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。	12			3	1		4.63	4.47	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	12				4		4.75	4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。	13				3		4.81	4.61	4.64
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	13				3		4.81	4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。	13				3		4.81	4.56	4.62
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	12				4		4.75	4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	12				4		4.75	4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。	11				5		4.69	4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	11				5		4.69	4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。	11				5		4.69	4.59	4.63
問1~15全問平均								4.73	4.54	4.59

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 $\leq$ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

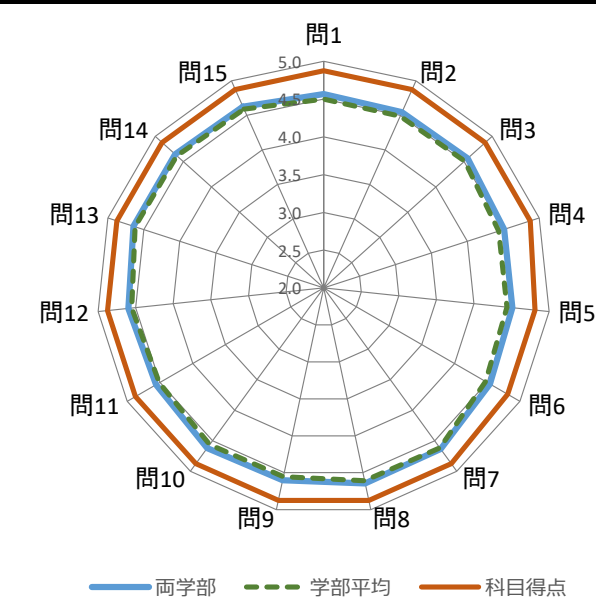
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	家族社会学	[1C0402]	履修者数	16	回答率	
教員名	宮下 阿子		回 紙	16	100.0%	100.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.88	4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.88	4.49	4.55
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。							4.88	4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.88	4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。							4.81	4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。							4.81	4.47	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.88	4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。							4.88	4.61	4.64
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。							4.88	4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.88	4.56	4.62
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.88	4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.88	4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。							4.88	4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.88	4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。							4.88	4.59	4.63
問1～15全問平均								4.87	4.54	4.59

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

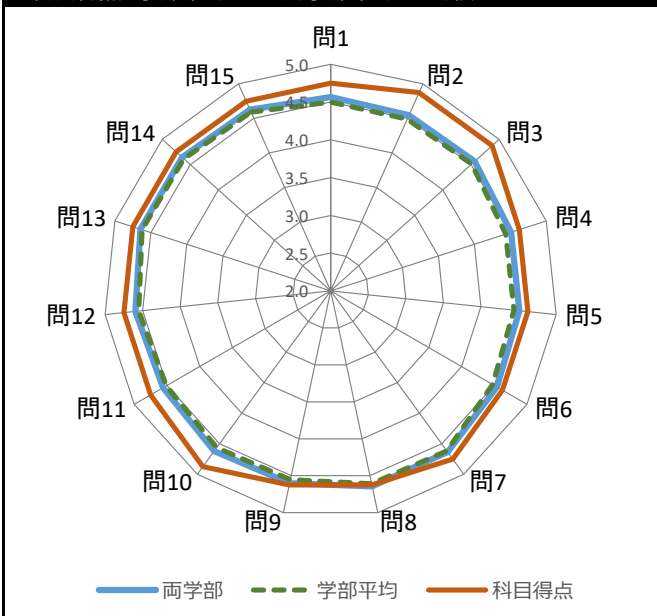
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	国際関係論		[1C0600]	履修者数	75	回答率	
教員名	角田 敦彦			回 答 数	紙	8	10.7%
学部	看護学部	授業形態	講義		WEB	0	0.0%

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。					6	2	4.75	4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。					7	1	4.88	4.49	4.55
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。					7	1	4.88	4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。					5	3	4.63	4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。					5	3	4.63	4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。					5	3	4.63	4.47	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。					6	2	4.75	4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。					5	3	4.63	4.61	4.64
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。					5	3	4.63	4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。					7	1	4.88	4.56	4.62
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。					6	2	4.75	4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。					6	2	4.75	4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。					6	2	4.75	4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。					6	2	4.75	4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。					6	2	4.75	4.59	4.63
問1～15全問平均								4.73	4.54	4.59

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

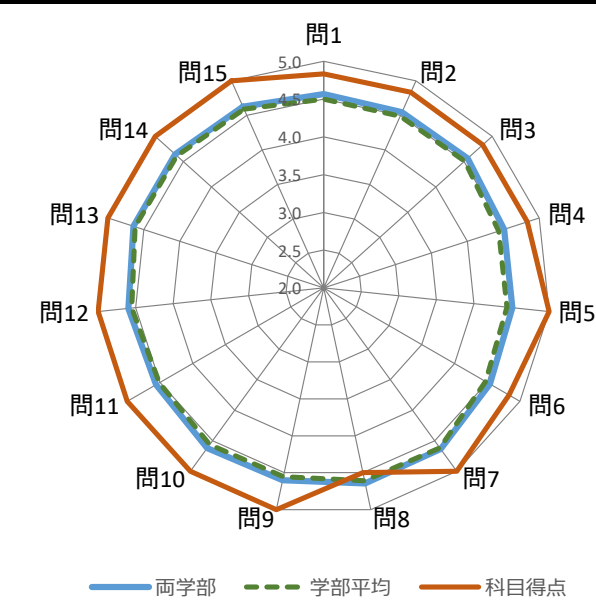
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	医療と文化	[1C0800]	履修者数	7	回答率		
教員名	鈴木 勝己		回 紙	6	85.7%	85.7%	
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0		0.0%

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。					5	1	4.83	4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。					5	1	4.83	4.49	4.55
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。					5	1	4.83	4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。					5	1	4.83	4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。					6		5.00	4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。					5	1	4.83	4.47	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。					6		5.00	4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。					4	1	4.50	4.61	4.64
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。					6		5.00	4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。					6		5.00	4.56	4.62
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。					6		5.00	4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。					6		5.00	4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。					6		5.00	4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。					6		5.00	4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。					6		5.00	4.59	4.63
問1～15全問平均								4.91	4.54	4.59

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

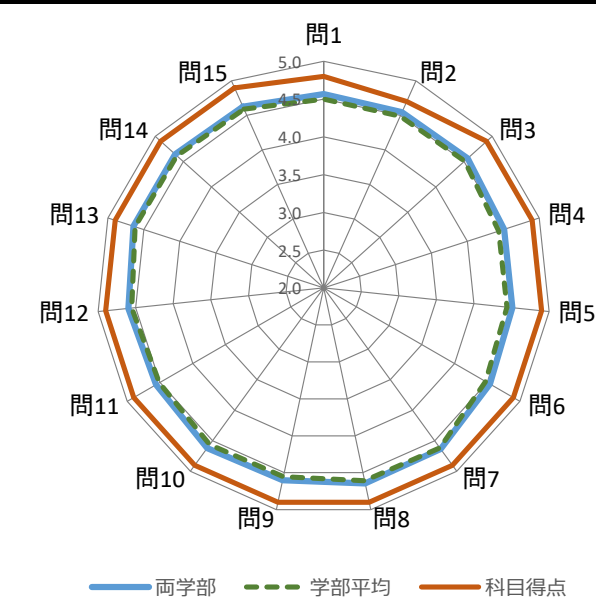
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	現代社会論	[1C1300]	履修者数	12	回答率		
教員名	鷹田 佳典		回 紙	10	83.3%	83.3%	
学部	看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%		

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。					8	2	4.80	4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。				7		3	4.70	4.49	4.55
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。					9	1	4.90	4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。					9	1	4.90	4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。					9	1	4.90	4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。					9	1	4.90	4.47	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。					9	1	4.90	4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。					9	1	4.90	4.61	4.64
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。					9	1	4.90	4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。					9	1	4.90	4.56	4.62
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。					9	1	4.90	4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。					9	1	4.90	4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。					9	1	4.90	4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。					9	1	4.90	4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。					9	1	4.90	4.59	4.63
問1~15全問平均								4.88	4.54	4.59

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

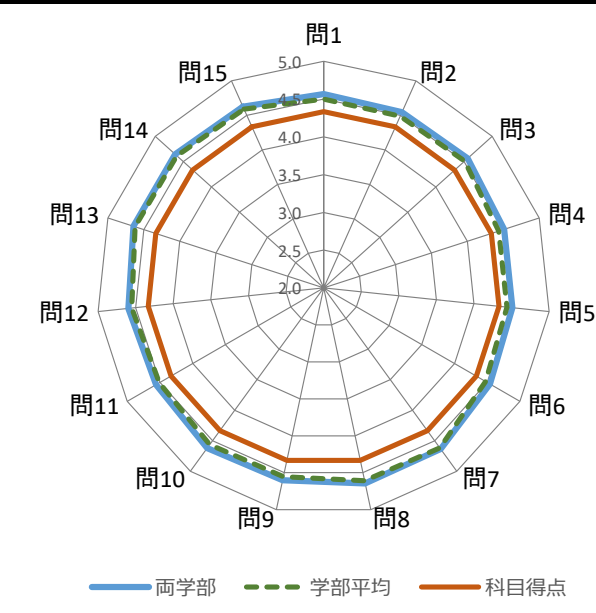
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	異文化論	[1C1401]	履修者数	3	回答率		
教員名	黒崎 岳大		回 答 数	紙	3	100.0%	100.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	1	2					4.33	4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	1	2					4.33	4.49	4.55
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	1	2					4.33	4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。	1	2					4.33	4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。	1	2					4.33	4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。	1	2					4.33	4.47	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	1	2					4.33	4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。	1	2					4.33	4.61	4.64
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	1	2					4.33	4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。	1	2					4.33	4.56	4.62
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	1	2					4.33	4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	1	2					4.33	4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。	1	2					4.33	4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	1	2					4.33	4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。	1	2					4.33	4.59	4.63
問1~15全問平均								4.33	4.54	4.59

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

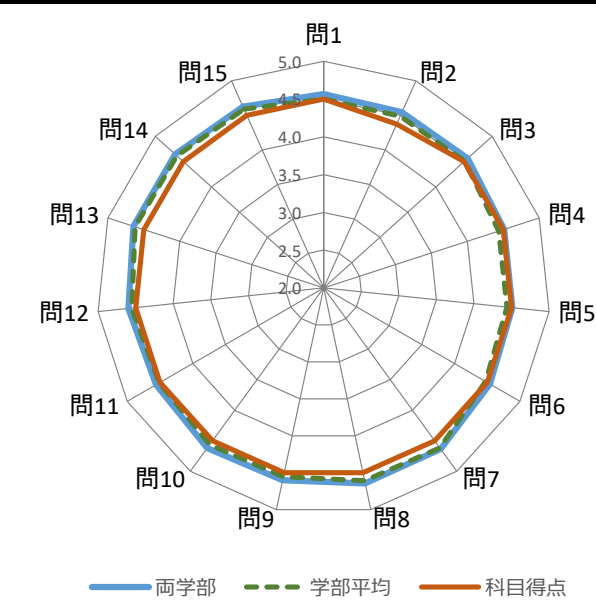
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	異文化論	[1C1402]	履修者数	10	回答率	
教員名	黒崎 岳大		回 答 数	紙 8 WEB 0	80.0%	80.0%
学部	看護学部	授業形態	講義		0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	4					4	4.50	4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	3			5			4.38	4.49	4.55
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	4				4		4.50	4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。	4				4		4.50	4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。	4				4		4.50	4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。	4				4		4.50	4.47	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	4				4		4.50	4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。	4				4		4.50	4.61	4.64
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	4				4		4.50	4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。	4				4		4.50	4.56	4.62
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	4				4		4.50	4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	4				4		4.50	4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。	4				4		4.50	4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	4				4		4.50	4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。	4				4		4.50	4.59	4.63
問1～15全問平均								4.49	4.54	4.59

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

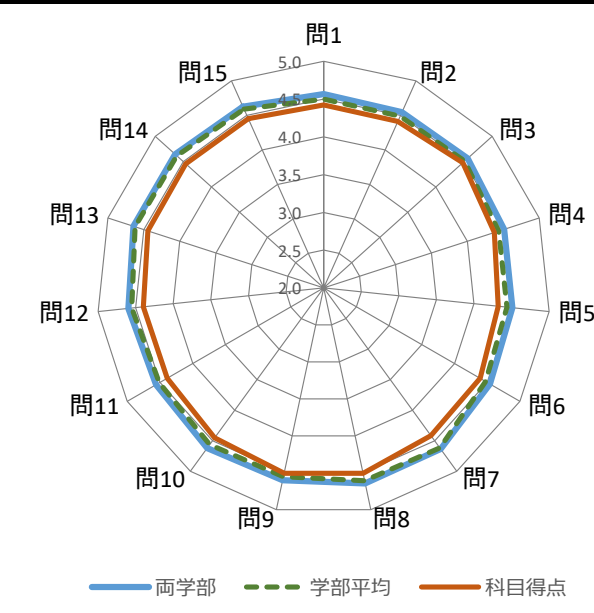
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	基礎統計学			[1D1100]	履修者数	150	回答率		
教員名	桐木 紳				回答数	紙	128	85.3%	85.3%
学部	看護学部	授業形態	講義			WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	70	46	9				4.42	4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	70	45	10				4.41	4.49	4.55
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	77	40	7				4.48	4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。	71	42	9	4			4.38	4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。	66	43	12	5			4.32	4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。	69	44	12				4.39	4.47	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	71	46	7				4.41	4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。	79	38	9				4.51	4.61	4.64
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	80	35	12				4.51	4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。	78	37	8				4.45	4.56	4.62
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	72	39	14				4.39	4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	71	41	13				4.40	4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。	73	43	9				4.45	4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	71	46	10				4.45	4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。	71	46	10				4.45	4.59	4.63
問1～15全問平均								4.43	4.54	4.59

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 $\leq$ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

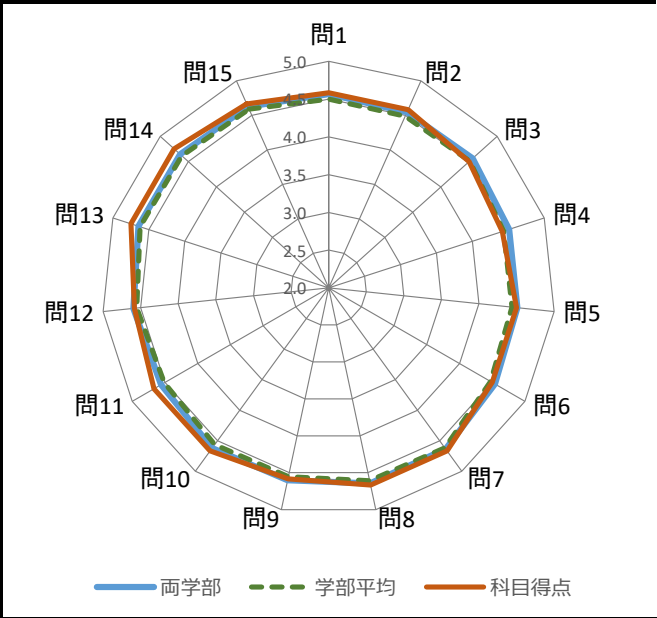
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	生物学 [1D1200]		履修者数	12	回答率	
教員名	新井 健太		回 紙	12	100.0%	100.0%
学部	看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.58	4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.58	4.49	4.55
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。							4.50	4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.42	4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。							4.50	4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。							4.50	4.47	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.67	4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。							4.67	4.61	4.64
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。							4.58	4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.67	4.56	4.62
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.67	4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.58	4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。							4.75	4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.75	4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。							4.67	4.59	4.63
問1～15全問平均								4.61	4.54	4.59

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

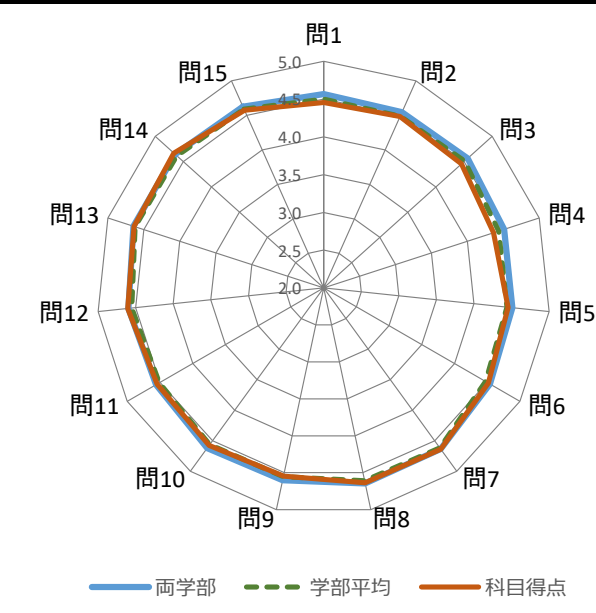
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	情報科学	[1E0200]	履修者数	52	回答率		
教員名	佐久間 貴士		回 紙	33	63.5%	63.5%	
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0		0.0%

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	16	16	1				4.45	4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	18	13	2				4.48	4.49	4.55
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	18	12	3				4.45	4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。	18	10	4	1			4.36	4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。	17	14	2				4.45	4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。	18	14	1				4.52	4.47	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	21	12					4.64	4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。	21	12					4.64	4.61	4.64
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	19	13	1				4.55	4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。	20	12	1				4.58	4.56	4.62
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	20	11	2				4.55	4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	20	13					4.61	4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。	22	10	1				4.64	4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	23	9	1				4.67	4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。	22	9	1	1			4.58	4.59	4.63
問1~15全問平均								4.54	4.54	4.59

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
・科目得点アミガケは
科目得点 $\leq$ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

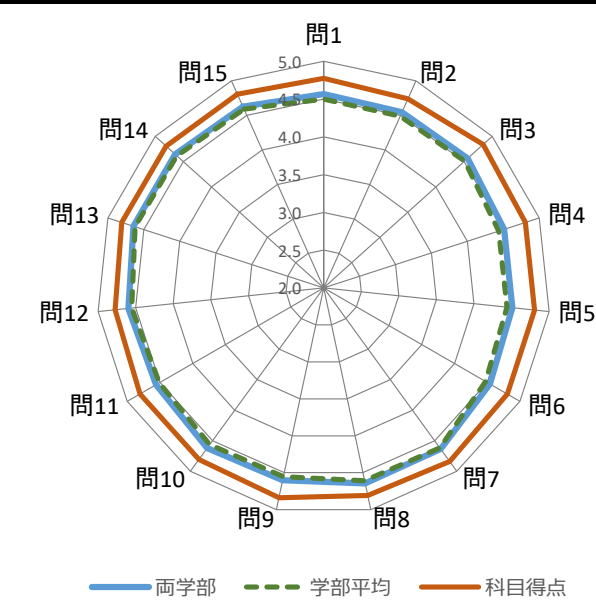
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	英語R1ー2	[1F0301]	履修者数	39	回答率		
教員名	遠藤 花子		回 紙	31	79.5%	79.5%	
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0		0.0%

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。					26	3 2	4.77	4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。					25	4 2	4.74	4.49	4.55
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。					28	1 2	4.84	4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。					27	2 2	4.81	4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。					27	2 2	4.81	4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。					27	2 2	4.81	4.47	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。					28	1 2	4.84	4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。					27	2 2	4.81	4.61	4.64
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。					28	1 2	4.84	4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。					27	2 2	4.81	4.56	4.62
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。					27	2 2	4.81	4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。					26	3 2	4.77	4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。					27	2 2	4.81	4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。					27	2 2	4.81	4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。					27	2 2	4.81	4.59	4.63
問1~15全問平均								4.80	4.54	4.59

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 $\leq$ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

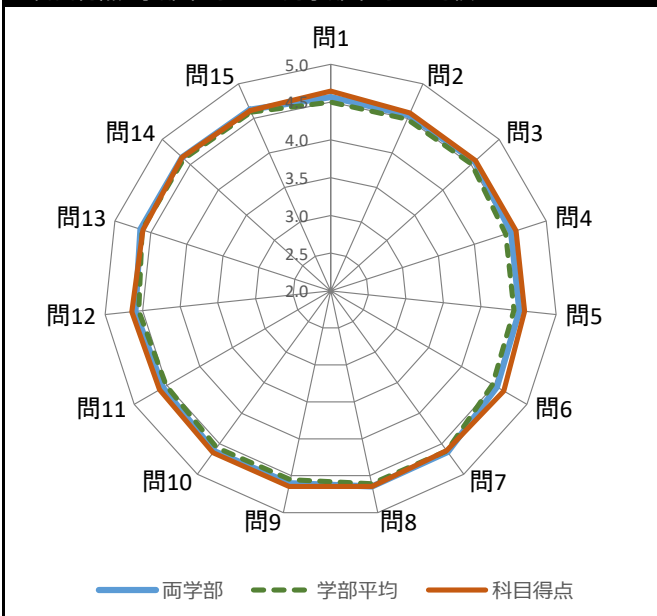
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	英語R1ー2		[1F0302]	履修者数	41	回答率	
教員名	川崎 修一			回 紙	31	75.6%	75.6%
学部	看護学部	授業形態	講義	答 数	WEB	0	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。					21	9	4.65	4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。					19	11	4.58	4.49	4.55
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。					19	11	4.58	4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。					19	11	4.58	4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。					19	11	4.58	4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。					21	9	4.65	4.47	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。					20	10	4.61	4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。					21	9	4.65	4.61	4.64
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。					21	9	4.65	4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。					21	9	4.65	4.56	4.62
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。					20	10	4.61	4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。					21	9	4.65	4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。					20	10	4.61	4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。					21	9	4.65	4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。					20	10	4.61	4.59	4.63
問1~15全問平均								4.62	4.54	4.59

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

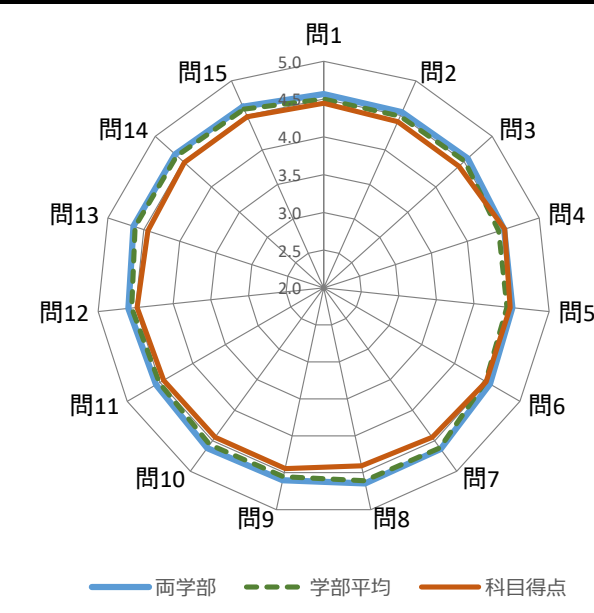
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	英語R1ー2		[1F0303]	履修者数	36	回答率	
教員名	遠藤 花子			回 紙	27	75.0%	75.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	答 数	WEB	0	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	12				15		4.44	4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	11				16		4.41	4.49	4.55
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	11				16		4.41	4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。	14				13		4.52	4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。	13				14		4.48	4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。	13				14		4.48	4.47	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	12				15		4.44	4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。	11				16		4.41	4.61	4.64
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	12				15		4.44	4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。	12				15		4.44	4.56	4.62
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	12				15		4.44	4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	13				14		4.48	4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。	12				15		4.44	4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	13				14		4.48	4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。	13				14		4.48	4.59	4.63
問1～15全問平均								4.45	4.54	4.59

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

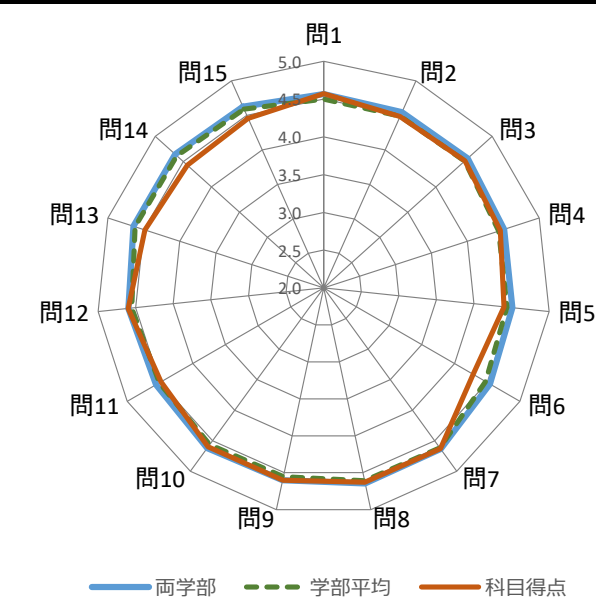
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	英語R1ー2	[1F0304]	履修者数	42	回答率		
教員名	川崎 修一		回 紙	35	83.3%	83.3%	
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0		0.0%

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	23	10					4.57	4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	21	11	2				4.49	4.49	4.55
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	21	12					4.51	4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。	21	11	2				4.46	4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。	20	12	3				4.40	4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。	17	14	3				4.29	4.47	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	23	11					4.63	4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。	23	11					4.63	4.61	4.64
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	22	12					4.60	4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。	24	9					4.60	4.56	4.62
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	21	11	2				4.49	4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	22	12					4.60	4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。	20	13					4.49	4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	20	11	3				4.43	4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。	20	12	2				4.46	4.59	4.63
問1~15全問平均								4.51	4.54	4.59

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

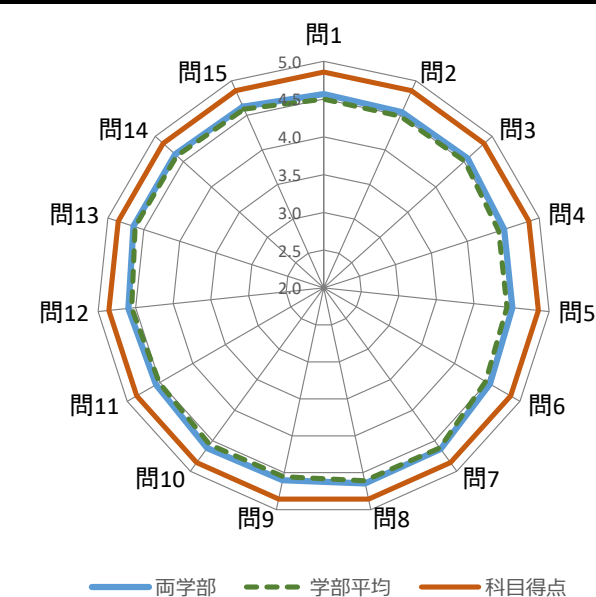
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	英語W1－2		[1F0501]	履修者数	15	回答率	
教員名	James Stokes			回	紙	14	93.3%
学部	看護学部	授業形態	講義	答数	WEB	0	0.0%
				93.3%			

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。						13	4.86	4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。						13	4.86	4.49	4.55
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。						13	4.86	4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。						13	4.86	4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。						13	4.86	4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。						13	4.86	4.47	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。						13	4.86	4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。						13	4.86	4.61	4.64
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。						13	4.86	4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。						13	4.86	4.56	4.62
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。						13	4.86	4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。						13	4.86	4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。						13	4.86	4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。						13	4.86	4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。						13	4.86	4.59	4.63
問1～15全問平均								4.86	4.54	4.59

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答／不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

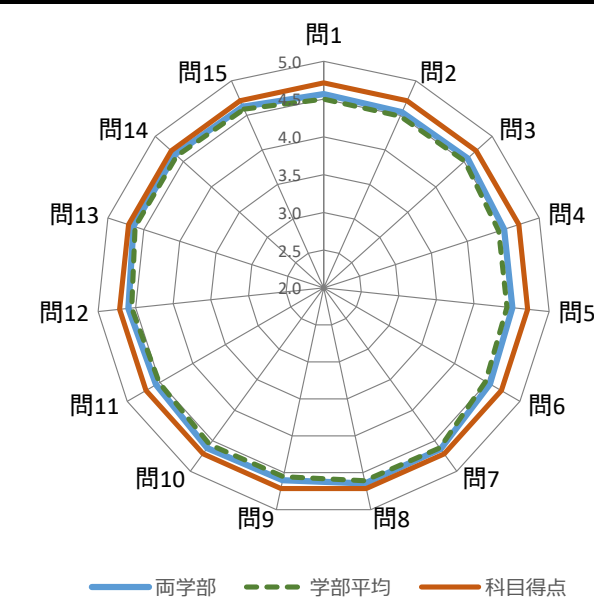
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	英語W1ー2		[1F0502]	履修者数	17	回答率	
教員名	Michelle van Bokhorst			回 答 数	紙 14	82.4%	82.4%
学部	看護学部	授業形態	講義		WEB 0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。					10	4	4.71	4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。					10	4	4.71	4.49	4.55
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。					10	4	4.71	4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。					10	4	4.71	4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。					10	4	4.71	4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。					10	4	4.71	4.47	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。					10	4	4.71	4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。					10	4	4.71	4.61	4.64
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。					10	4	4.71	4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。					10	4	4.71	4.56	4.62
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。					10	4	4.71	4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。					10	4	4.71	4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。					10	4	4.71	4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。					10	4	4.71	4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。					10	4	4.71	4.59	4.63
問1~15全問平均								4.71	4.54	4.59

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

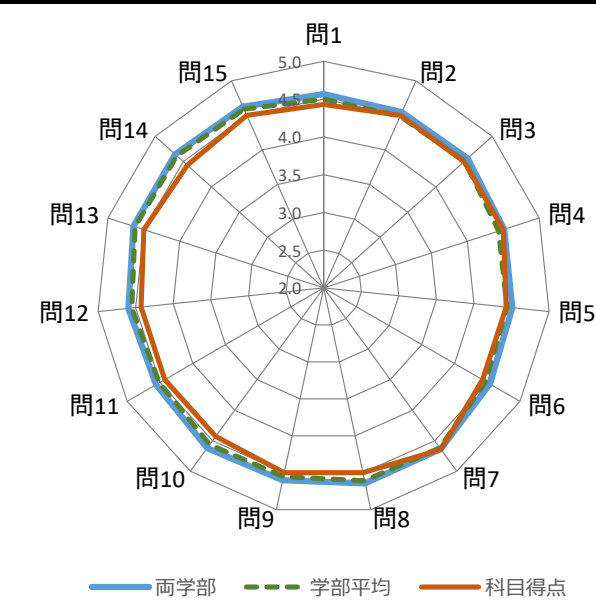
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	英語W1ー2	[1F0503]	履修者数	16	回答率		
教員名	James Stokes		回 紙	14	87.5%	87.5%	
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0		0.0%

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	7	6	1				4.43	4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	8	5	1				4.50	4.49	4.55
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	8	5	1				4.50	4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。	8	5	1				4.50	4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。	7	6	1				4.43	4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。	7	6	1				4.43	4.47	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	9	5					4.64	4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。	8	5	1				4.50	4.61	4.64
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	8	5	1				4.50	4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。	7	6	1				4.43	4.56	4.62
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	7	6	1				4.43	4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	8	4	2				4.43	4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。	8	5	1				4.50	4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	8	4	2				4.43	4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。	8	5	1				4.50	4.59	4.63
問1～15全問平均								4.48	4.54	4.59

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

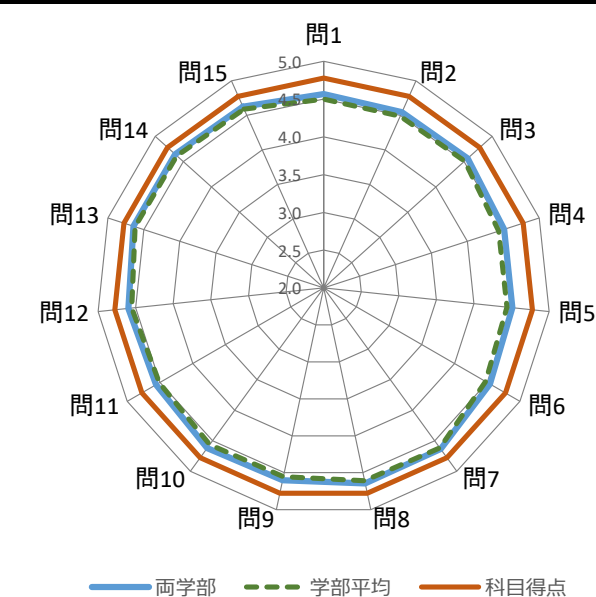
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	英語W1ー2	[1F0504]	履修者数	18	回答率	
教員名	Michelle van Bokhorst		回答数	紙	18	100.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%
					100.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。					14	4	4.78	4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。					14	4	4.78	4.49	4.55
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。					14	4	4.78	4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。					14	4	4.78	4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。					14	4	4.78	4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。					14	4	4.78	4.47	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。					14	4	4.78	4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。					14	4	4.78	4.61	4.64
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。					14	4	4.78	4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。					14	4	4.78	4.56	4.62
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。					14	4	4.78	4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。					14	4	4.78	4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。					14	4	4.78	4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。					14	4	4.78	4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。					14	4	4.78	4.59	4.63
問1～15全問平均								4.78	4.54	4.59

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

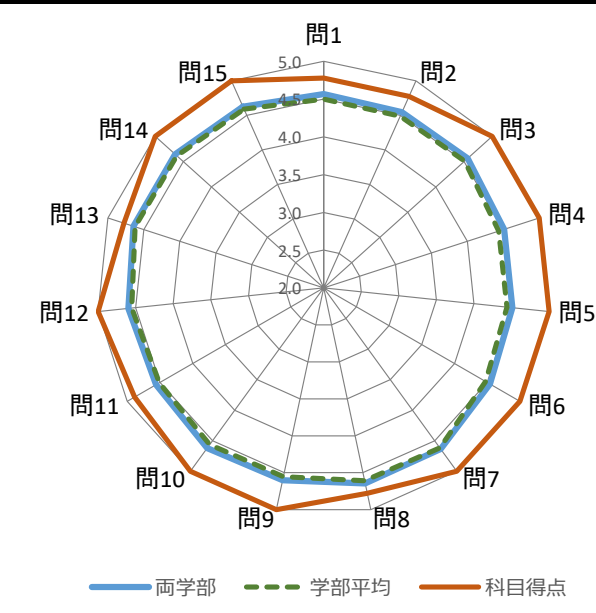
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	英語LS1-2	[1F0701]	履修者数	9	回答率	
教員名	Benjamin Tatcher		回 答 数	紙 9 WEB 0	100.0%	100.0%
学部	看護学部	授業形態	講義		0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。					7	2	4.78	4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。					8	1	4.78	4.49	4.55
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。					9		5.00	4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。					9		5.00	4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。					9		5.00	4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。					9		5.00	4.47	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。					9		5.00	4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。					8	1	4.78	4.61	4.64
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。					9		5.00	4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。					9		5.00	4.56	4.62
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。					8	1	4.89	4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。					9		5.00	4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。					7	2	4.78	4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。					9		5.00	4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。					9		5.00	4.59	4.63
問1~15全問平均								4.93	4.54	4.59

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

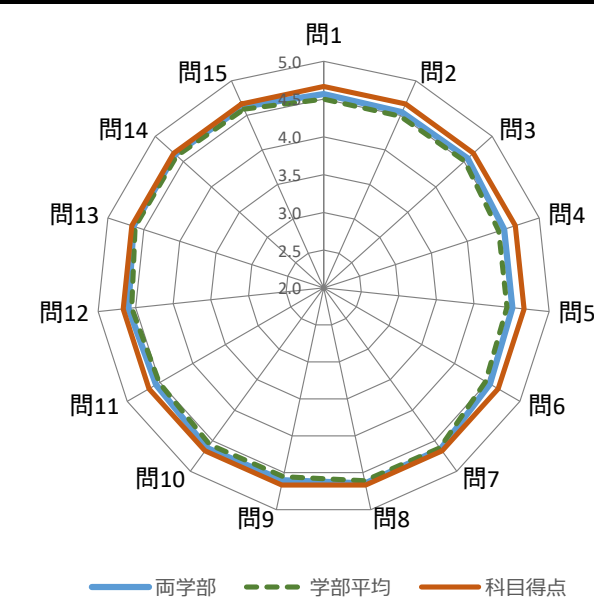
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	英語LS1-2		[1F0702]	履修者数	7	回答率	
教員名	James Stokes			回 答 数	紙 6 WEB 0	85.7%	85.7%
学部	看護学部	授業形態	講義			0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	4				2		4.67	4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	4				2		4.67	4.49	4.55
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	4				2		4.67	4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。	4				2		4.67	4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。	4				2		4.67	4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。	4				2		4.67	4.47	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	4				2		4.67	4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。	4				2		4.67	4.61	4.64
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	4				2		4.67	4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。	4				2		4.67	4.56	4.62
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	4				2		4.67	4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	4				2		4.67	4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。	4				2		4.67	4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	4				2		4.67	4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。	4				2		4.67	4.59	4.63
問1~15全問平均								4.67	4.54	4.59

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

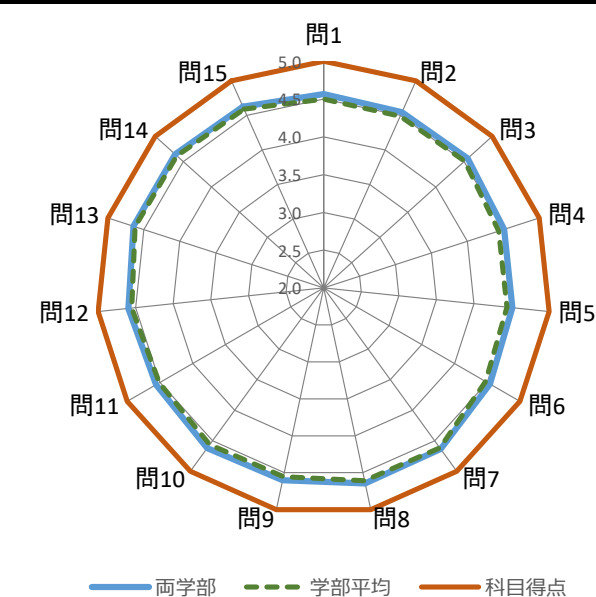
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	英語LS1-2	[1F0703]	履修者数	5	回答率	
教員名	Michelle van Bokhorst		回 答 数	紙	5	100.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%
						100.0%

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							5.00	4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							5.00	4.49	4.55
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。							5.00	4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。							5.00	4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。							5.00	4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。							5.00	4.47	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							5.00	4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。							5.00	4.61	4.64
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。							5.00	4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。							5.00	4.56	4.62
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							5.00	4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							5.00	4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。							5.00	4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							5.00	4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。							5.00	4.59	4.63
問1~15全問平均								5.00	4.54	4.59

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

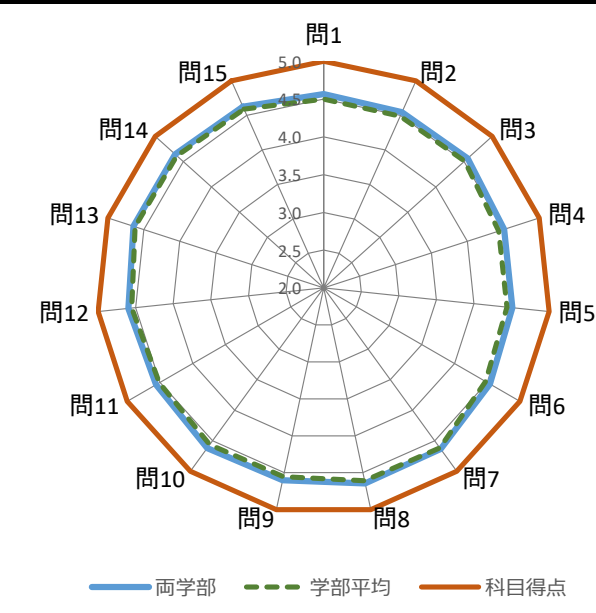
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	英語LS1-2		[1F0704]	履修者数	1	回答率	
教員名	Benjamin Tutcher			回	紙	1	100.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	答	WEB	0	0.0%
						100.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							5.00	4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							5.00	4.49	4.55
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。							5.00	4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。							5.00	4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。							5.00	4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。							5.00	4.47	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							5.00	4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。							5.00	4.61	4.64
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。							5.00	4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。							5.00	4.56	4.62
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							5.00	4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							5.00	4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。							5.00	4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							5.00	4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。							5.00	4.59	4.63
問1~15全問平均								5.00	4.54	4.59

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

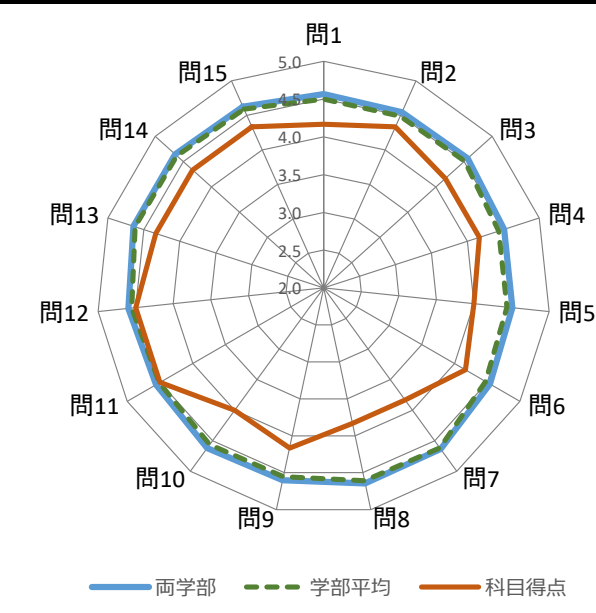
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	英語LS1-2		[1F0705]	履修者数	7	回答率	
教員名	James Stokes			回 答 数	紙 6	85.7%	85.7%
学部	看護学部	授業形態	講義		WEB 0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	1	5					4.17	4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	2	4					4.33	4.49	4.55
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	1	5					4.17	4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。	1	5					4.17	4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。	1	4	1				4.00	4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。	1	5					4.17	4.47	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	1	4	1				3.83	4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。	1	4	1				3.83	4.61	4.64
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	2	3	1				4.17	4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。	2	3	1				4.00	4.56	4.62
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	3	3					4.50	4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	3	3					4.50	4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。	2	4					4.33	4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	2	4					4.33	4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。	2	4					4.33	4.59	4.63
問1~15全問平均								4.19	4.54	4.59

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

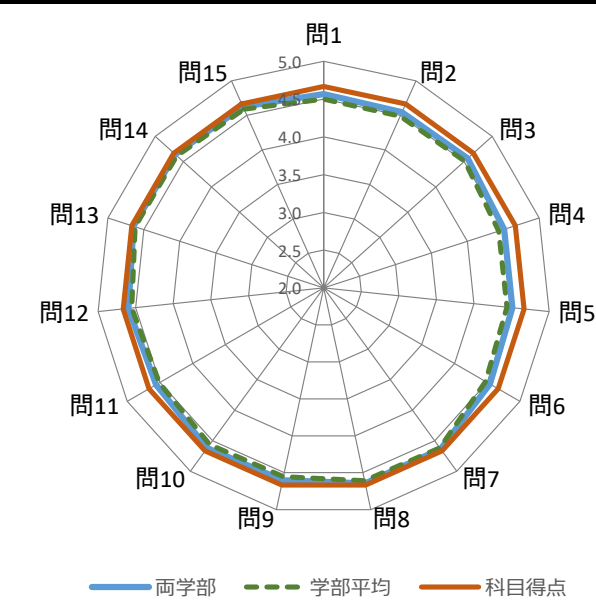
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	英語LS1-2	[1F0706]	履修者数	6	回答率	
教員名	Michelle van Bokhorst		回 紙	3	50.0%	50.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	2				1		4.67	4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	2				1		4.67	4.49	4.55
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	2				1		4.67	4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。	2				1		4.67	4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。	2				1		4.67	4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。	2				1		4.67	4.47	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	2				1		4.67	4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。	2				1		4.67	4.61	4.64
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	2				1		4.67	4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。	2				1		4.67	4.56	4.62
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	2				1		4.67	4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	2				1		4.67	4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。	2				1		4.67	4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	2				1		4.67	4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。	2				1		4.67	4.59	4.63
問1~15全問平均								4.67	4.54	4.59

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

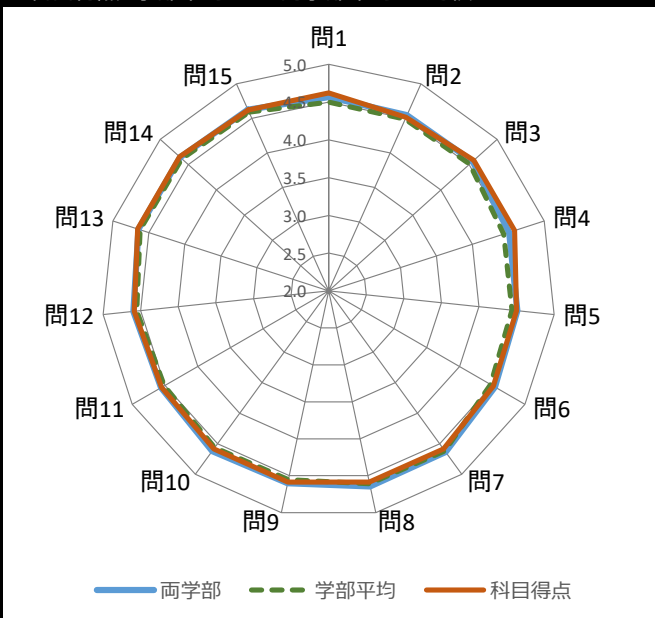
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	英語R2-2		[1F0901]	履修者数	46	回答率	
教員名	斎 孝則			回 紙	29	63.0%	63.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	答 数	WEB 0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	19	9	1				4.62	4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	16	12	1				4.52	4.49	4.55
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	18	10	1				4.59	4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。	18	10	1				4.59	4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。	16	10	2	1			4.50	4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。	17	10	2				4.52	4.47	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	18	10	1				4.59	4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。	18	10	1				4.59	4.61	4.64
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	18	10	1				4.59	4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。	18	10	1				4.59	4.56	4.62
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	17	11	1				4.55	4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	18	10	1				4.59	4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。	20	8	1				4.66	4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	20	8	1				4.66	4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。	19	9	1				4.62	4.59	4.63
問1~15全問平均								4.58	4.54	4.59

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

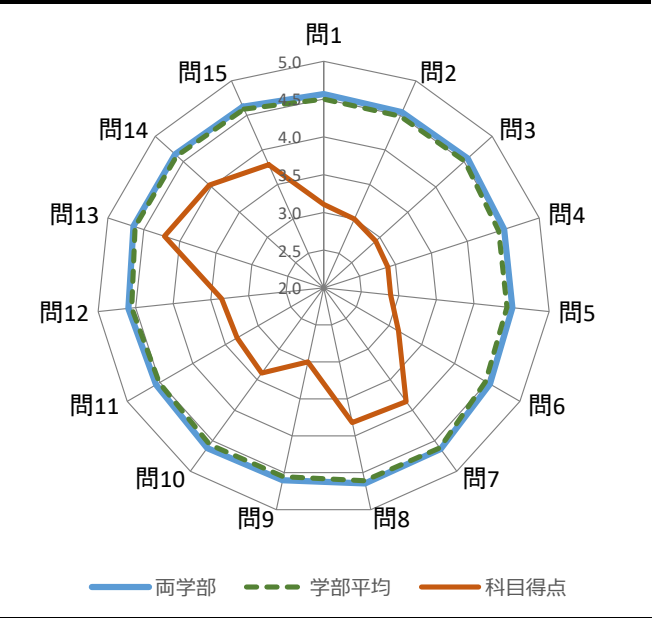
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	英語R2-2		[1F0902]	履修者数	44	回答率	
教員名	久木田 直江			回 紙	28	63.6%	63.6%
学部	看護学部	授業形態	講義	答 数	WEB	0	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	3	8	9	5	3		3.11	4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	3	7	8	7	3		3.00	4.49	4.55
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	3	8	6	6	5		2.93	4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。	3	8	5	7	5		2.89	4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。	3	6	8	7	4		2.89	4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。	4	9	6	5	4		3.14	4.47	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	10	11	3	1	3		3.86	4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。	8	12	5	1	2		3.82	4.61	4.64
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	4	7	6	7	4		3.00	4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。	5	10	7	3	3		3.39	4.56	4.62
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	6	8	7	3	4		3.32	4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	8	6	6	4	4		3.36	4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。	14	9	3	1	1		4.21	4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	11	11	3	2	1		4.04	4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。	11	6	7	2	2		3.79	4.59	4.63
問1~15全問平均								3.38	4.54	4.59

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

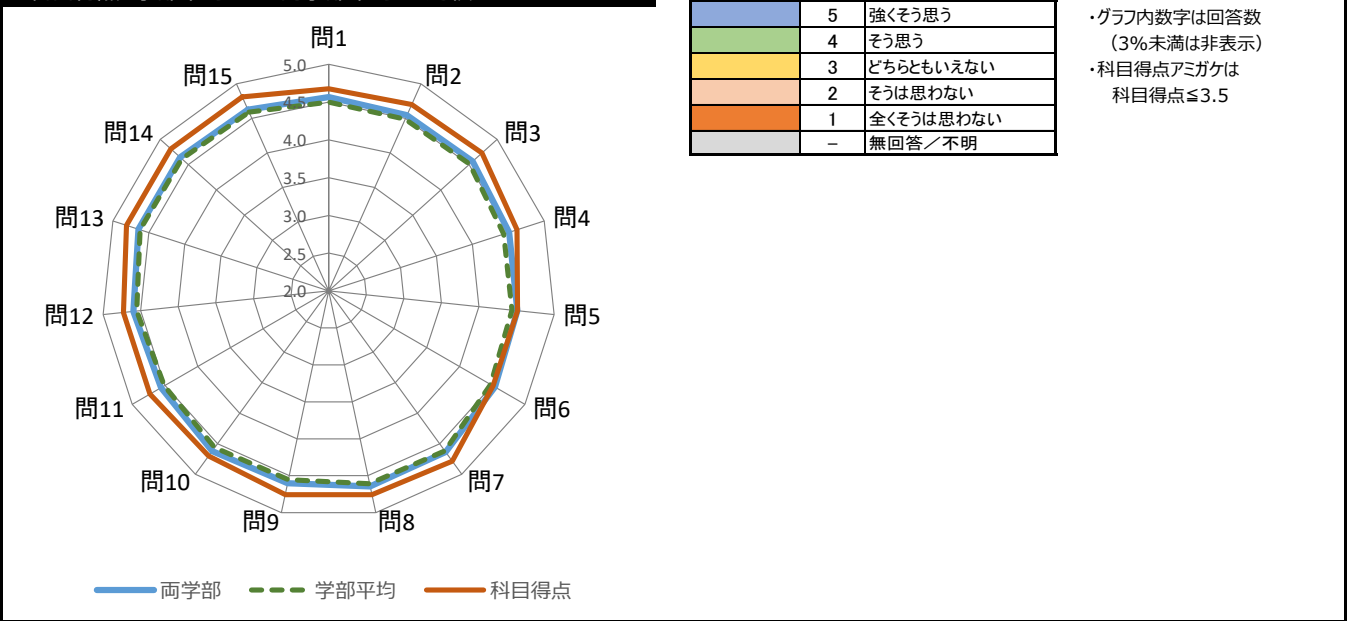
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	英語R2-2		[1F0903]	履修者数	39	回答率	
教員名	斎 孝則			回 紙	37	94.9%	94.9%
学部	看護学部	授業形態	講義	答 数	WEB	0	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	2512						4.68	4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	2611						4.70	4.49	4.55
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	2710						4.73	4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。	2511						4.62	4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。	23112						4.51	4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。	23122						4.51	4.47	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	298						4.78	4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。	289						4.76	4.61	4.64
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	289						4.76	4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。	288						4.70	4.56	4.62
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	2710						4.73	4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	2710						4.73	4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。	307						4.81	4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	307						4.81	4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。	307						4.81	4.59	4.63
問1～15全問平均								4.71	4.54	4.59

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



授業改善アンケート【講義】科目別集計

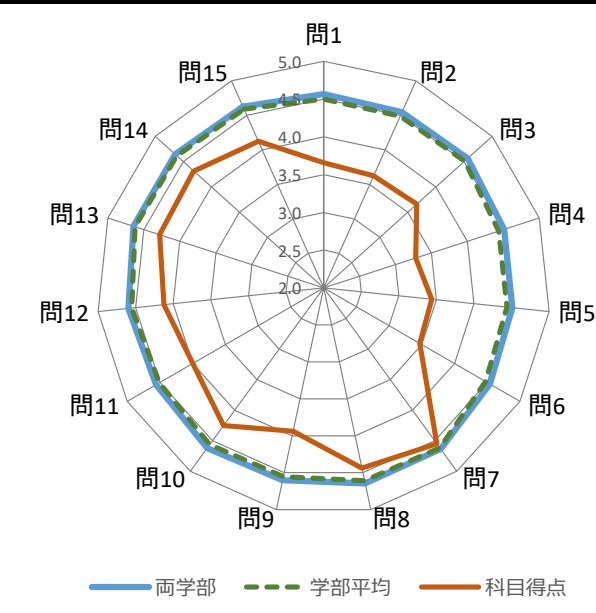
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	英語R2-2	[1F0904]	履修者数	38	回答率	
教員名	久木田 直江		回 答 数	紙 32 WEB 0	84.2%	84.2%
学部	看護学部	授業形態	講義		0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	13	7	5	2	5		3.66	4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	13	7	4	3	5		3.63	4.49	4.55
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	13	7	4	4	4		3.66	4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。	10	7	3	6	6		3.28	4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。	11	9	1	5	6		3.44	4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。	12	7	2	6	5		3.47	4.47	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	21	8	1	1	1		4.55	4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。	20	8	3	1			4.44	4.61	4.64
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	14	9	4	3	2		3.94	4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。	18	7	5	1	1		4.25	4.56	4.62
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	16	8	3	2	3		4.00	4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	16	7	7	1	1		4.13	4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。	17	9	4	2			4.28	4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	18	9	3	1	1		4.31	4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。	17	7	4	3	1		4.13	4.59	4.63
問1~15全問平均								3.94	4.54	4.59

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

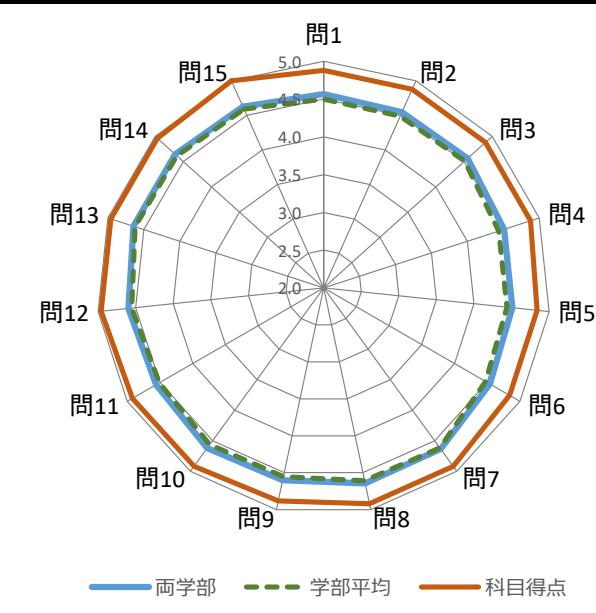
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	英語W2ー2	[1F1100]	履修者数	27	回答率		
教員名	遠藤 花子		回 答 数	紙 25 WEB 0	92.6%	92.6%	
学部	看護学部	授業形態	講義		0.0%		

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	22						3	4.88	4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	22						3	4.88	4.49	4.55
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	22						3	4.88	4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。	22						3	4.88	4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。	22						2 1	4.84	4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。	22						2 1	4.84	4.47	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	23						2	4.92	4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。	23						2	4.92	4.61	4.64
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	22						3	4.88	4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。	22						2 1	4.92	4.56	4.62
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	23						2	4.92	4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	24						1	4.96	4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。	24						1	4.96	4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	24						1	4.96	4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。	24						1	5.00	4.59	4.63
問1～15全問平均								4.91	4.54	4.59	

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

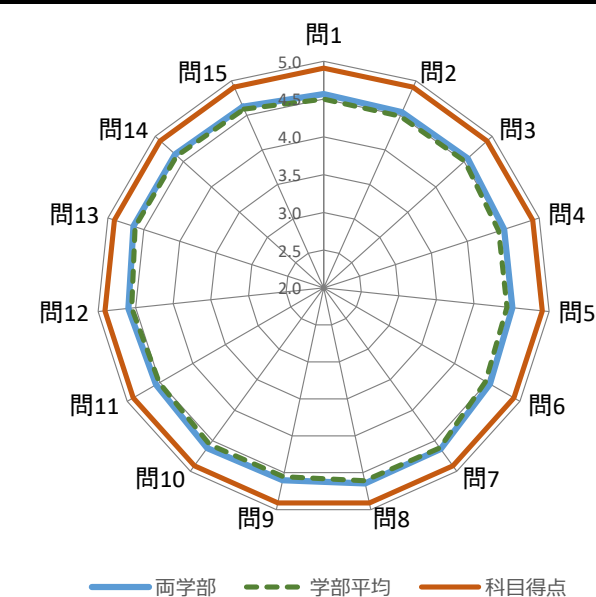
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	英語W2-2	[1F1103]	履修者数	14	回答率	
教員名	遠藤 花子		回 答 数	紙 11 WEB 0	78.6%	78.6%
学部	看護学部	授業形態	講義		0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。						10	4.91	4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。						10	4.91	4.49	4.55
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。						10	4.91	4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。						10	4.91	4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。						10	4.91	4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。						10	4.91	4.47	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。						10	4.91	4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。						10	4.91	4.61	4.64
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。						10	4.91	4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。						10	4.91	4.56	4.62
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。						10	4.91	4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。						10	4.91	4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。						10	4.91	4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。						10	4.91	4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。						10	4.91	4.59	4.63
問1~15全問平均								4.91	4.54	4.59

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

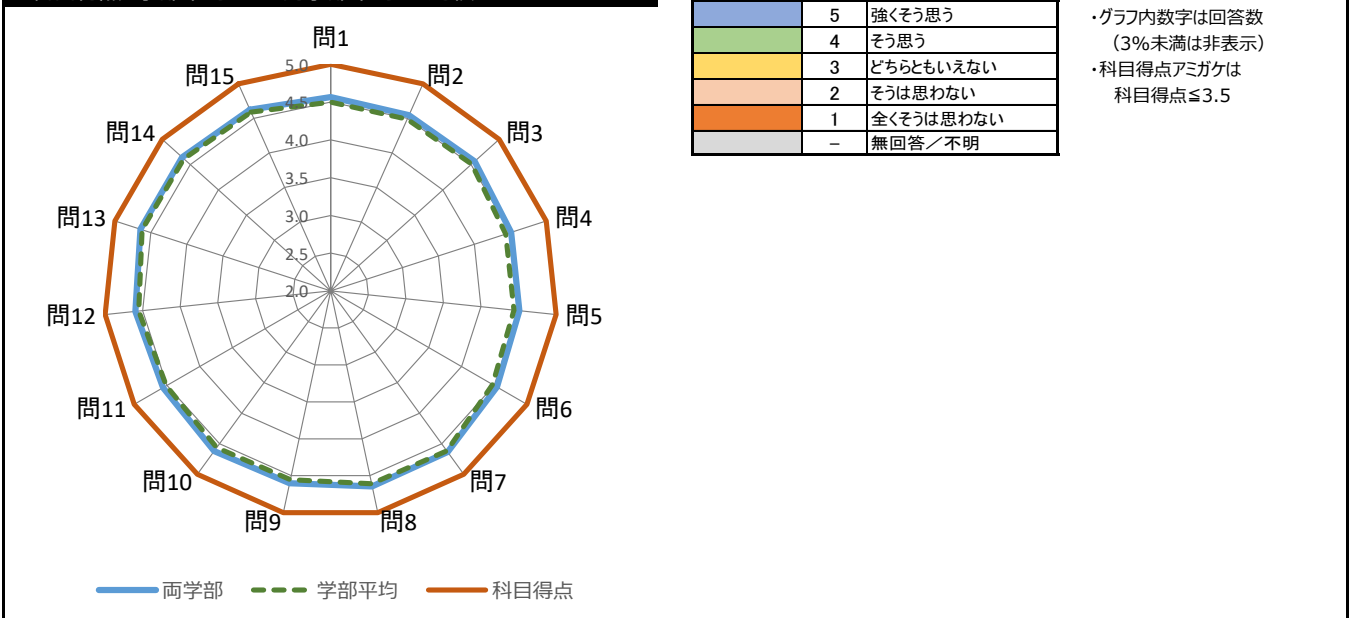
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	英語文献を読むⅡ		[1F1500]	履修者数	4	回答率	
教員名	遠藤 花子			回	紙	4	100.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	答	WEB	0	0.0%
						100.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							5.00	4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							5.00	4.49	4.55
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。							5.00	4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。							5.00	4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。							5.00	4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。							5.00	4.47	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							5.00	4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。							5.00	4.61	4.64
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。							5.00	4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。							5.00	4.56	4.62
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							5.00	4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							5.00	4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。							5.00	4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							5.00	4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。							5.00	4.59	4.63
問1～15全問平均								5.00	4.54	4.59

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



授業改善アンケート【講義】科目別集計

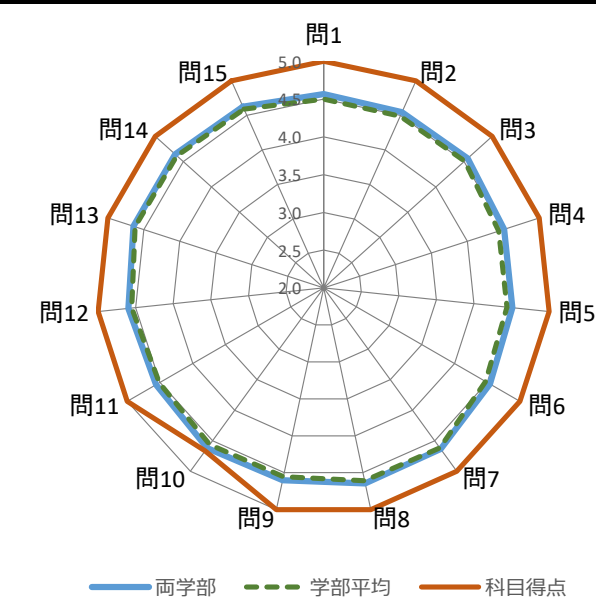
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	語学研修 [1F2800]		履修者数	13	回答率	
教員名	遠藤 花子		回 紙	6	46.2%	46.2%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	6						5.00	4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	6						5.00	4.49	4.55
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	6						5.00	4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。	6						5.00	4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。	6						5.00	4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。	6						5.00	4.47	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	6						5.00	4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。	6						5.00	4.61	4.64
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	6						5.00	4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。	5					1	4.67	4.56	4.62
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	6						5.00	4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	6						5.00	4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。	6						5.00	4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	6						5.00	4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。	6						5.00	4.59	4.63
問1～15全問平均								4.98	4.54	4.59

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

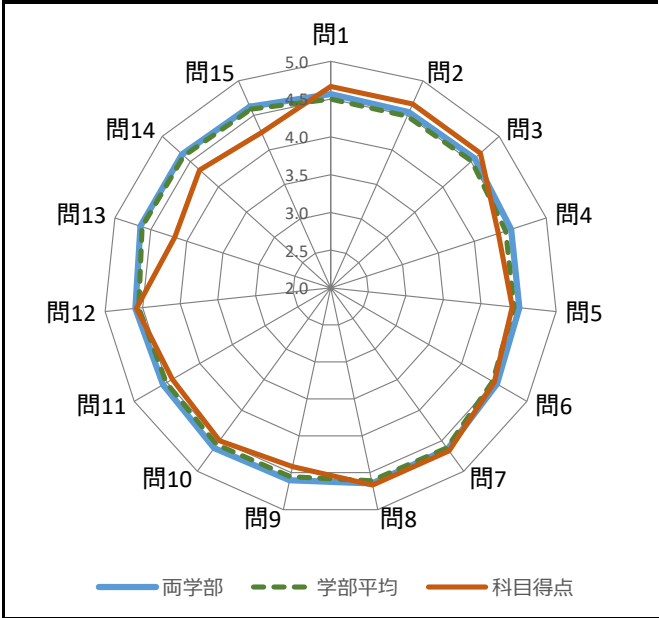
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	フランス語		[1F3001]	履修者数	13	回答率	
教員名	木元 麻里			回	紙	12	92.3%
学部	看護学部	授業形態	講義	答	WEB	0	0.0%

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.67	4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.67	4.49	4.55
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。							4.67	4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.33	4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。							4.42	4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。							4.50	4.47	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.67	4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。							4.67	4.61	4.64
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。							4.42	4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.50	4.56	4.62
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.42	4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.58	4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。							4.17	4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.33	4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。							4.25	4.59	4.63
問1～15全問平均								4.48	4.54	4.59

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

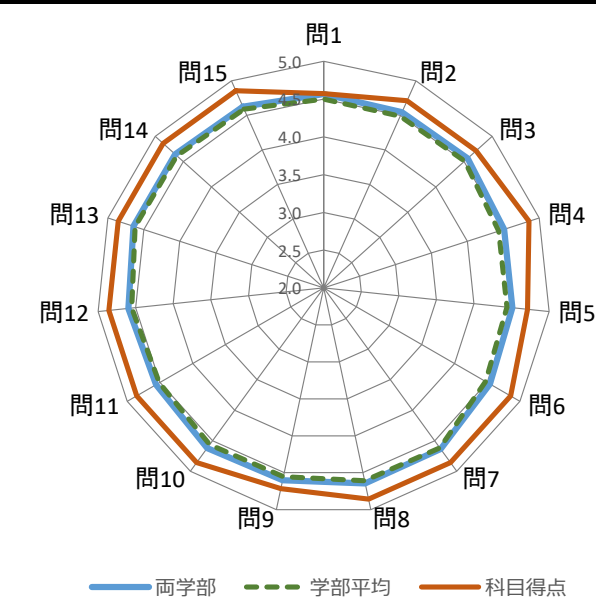
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	フランス語		[1F3002]	履修者数	7	回答率	
教員名	木元 麻里			回 紙	7	100.0%	100.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	答 数	WEB	0	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	5	1	1				4.57	4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	5	2					4.71	4.49	4.55
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	6	1					4.71	4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。	6	1					4.86	4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。	6	1					4.71	4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。	6	1					4.86	4.47	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	6	1					4.86	4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。	6	1					4.86	4.61	4.64
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	6	1					4.71	4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。	6	1					4.86	4.56	4.62
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	6	1					4.86	4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	6	1					4.86	4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。	6	1					4.86	4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	6	1					4.86	4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。	6	1					4.86	4.59	4.63
問1~15全問平均								4.80	4.54	4.59

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

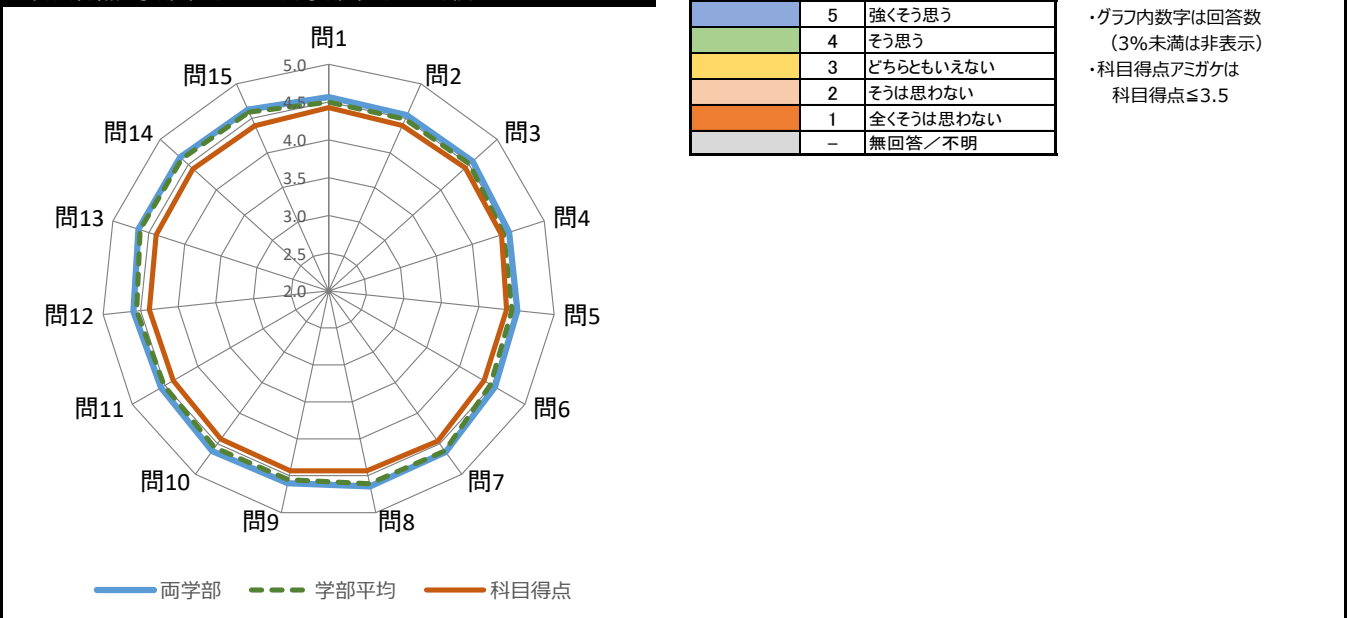
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	人体の構造と機能Ⅲ		[1H0300]	履修者数	160	回答率	
教員名	大崎 敬子			回	紙	136	85.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	答数	WEB	0	0.0%

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	61			72			4.43	4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	59			72	5		4.40	4.49	4.55
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	62			71			4.43	4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。	60			71	5		4.40	4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。	60			68	6		4.37	4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。	59			70	6		4.38	4.47	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	65			68			4.46	4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。	64			68			4.43	4.61	4.64
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	64			67	5		4.43	4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。	64			66	6		4.43	4.56	4.62
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	57			74			4.38	4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	58			72			4.39	4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。	59			71	5		4.40	4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	63			65	7		4.41	4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。	58			71	5		4.40	4.59	4.63
問1～15全問平均								4.41	4.54	4.59

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



授業改善アンケート【講義】科目別集計

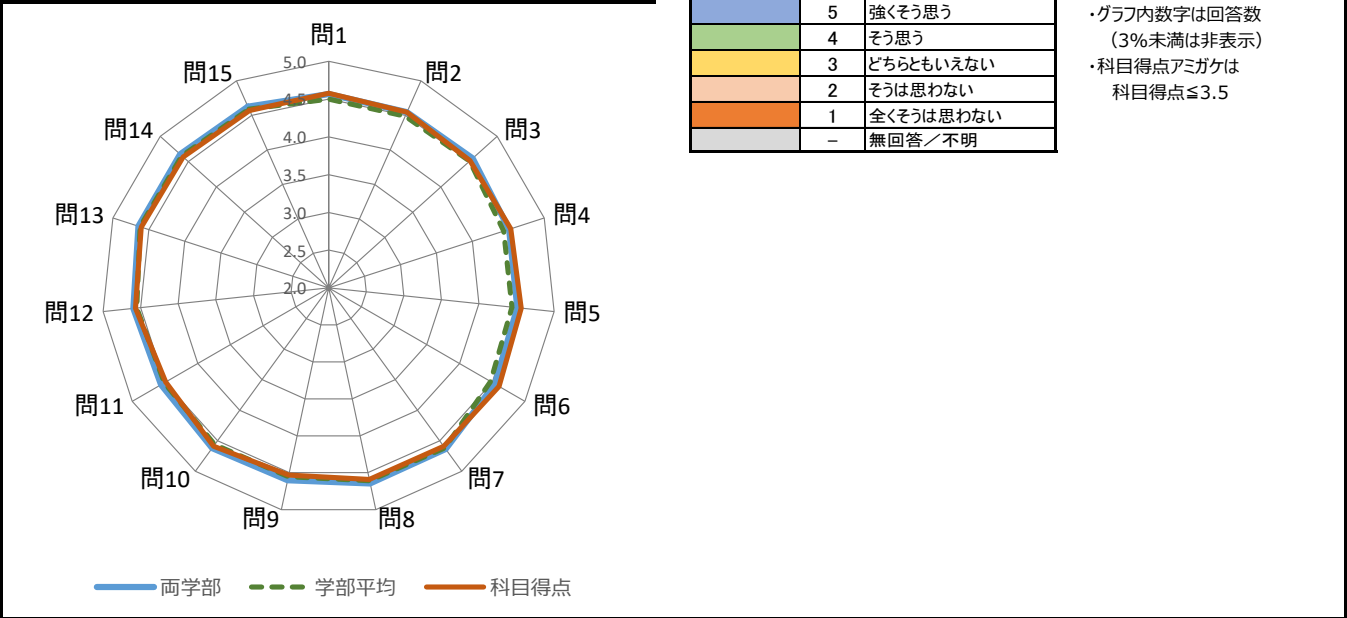
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	疾病の成り立ちと回復の促進 I		[1H0400]	履修者数	164	回答率	
教員名	井上 明宏			回 紙	137	83.5%	83.5%
学部	看護学部	授業形態	講義	答 数	WEB 0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.58	4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.55	4.49	4.55
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。							4.52	4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.53	4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。							4.56	4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。							4.61	4.47	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.59	4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。							4.59	4.61	4.64
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。							4.53	4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.59	4.56	4.62
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.49	4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.57	4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。							4.61	4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.59	4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。							4.57	4.59	4.63
問1～15全問平均								4.57	4.54	4.59

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



授業改善アンケート【講義】科目別集計

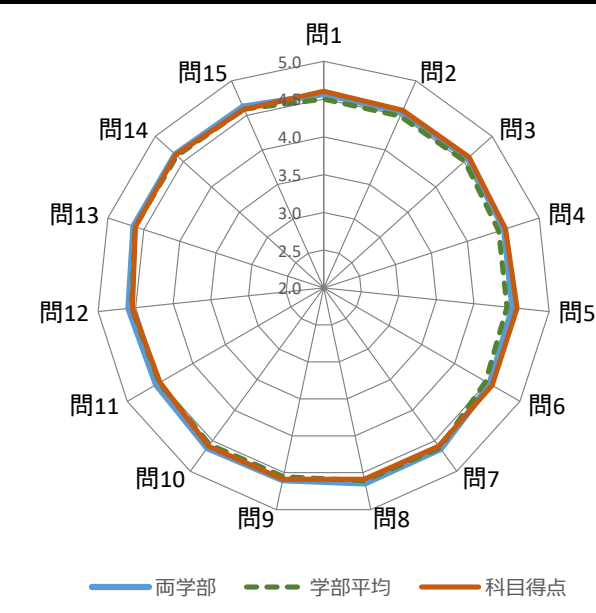
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅱ	[1H0501]	履修者数	82	回答率		
教員名	井上 明宏		回 紙	68	82.9%	82.9%	
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0		0.0%

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	42				25		4.60	4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	40				27		4.57	4.49	4.55
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	41				26		4.59	4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。	37				30		4.53	4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。	40				27		4.57	4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。	40				27		4.57	4.47	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	41				26		4.59	4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。	41				26		4.59	4.61	4.64
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	41				26		4.59	4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。	42				24		4.59	4.56	4.62
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	38				27		4.50	4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	41				24		4.54	4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。	44				22		4.62	4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	45				21		4.63	4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。	42				24		4.59	4.59	4.63
問1～15全問平均								4.58	4.54	4.59

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

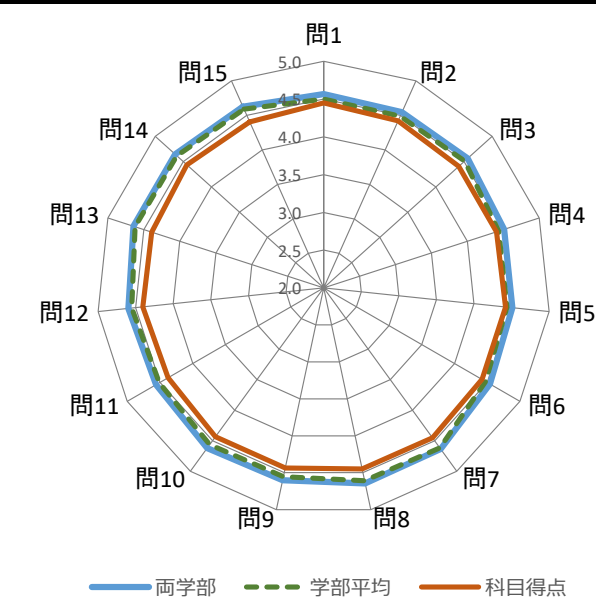
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅱ	[1H0502]	履修者数	80	回答率		
教員名	井上 明宏		回 紙	69	86.3%	86.3%	
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0		0.0%

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	32			36			4.45	4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	30			38			4.42	4.49	4.55
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	30			37			4.41	4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。	31			36			4.41	4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。	32			35			4.42	4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。	30			38			4.42	4.47	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	32			36			4.45	4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。	32			36			4.45	4.61	4.64
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	31			37			4.43	4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。	32			35			4.43	4.56	4.62
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	29			37	3		4.38	4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	29			39			4.41	4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。	30			37			4.39	4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	33			34			4.43	4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。	31			35	3		4.41	4.59	4.63
問1～15全問平均								4.42	4.54	4.59

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 $\leq$ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

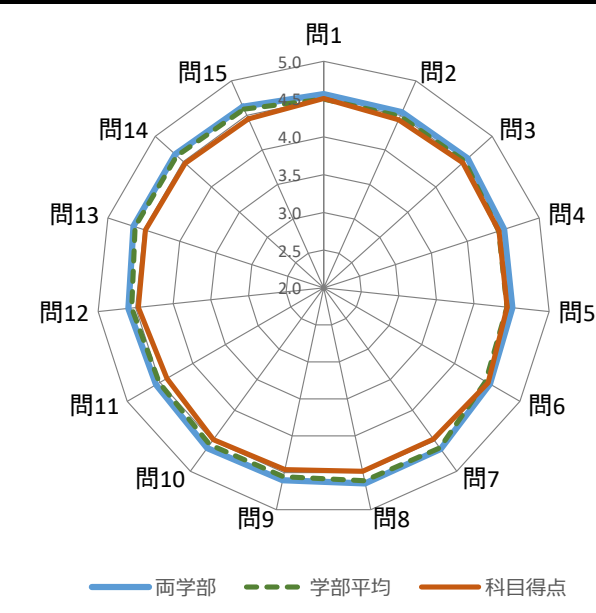
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅲ	[1H0600]	履修者数	164	回答率	
教員名	井上 明宏		回 紙	129	78.7%	78.7%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	66			61			4.51	4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	59			66			4.44	4.49	4.55
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	63			63			4.48	4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。	60			65			4.44	4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。	62			63			4.44	4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。	67			61			4.51	4.47	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	65			60		4	4.47	4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。	65			61			4.48	4.61	4.64
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	63			62		4	4.46	4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。	65			62			4.48	4.56	4.62
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	61			60		6	4.40	4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	62			65			4.47	4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。	69			54		5	4.48	4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	68			54		6	4.47	4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。	64			60		4	4.45	4.59	4.63
問1～15全問平均								4.46	4.54	4.59

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

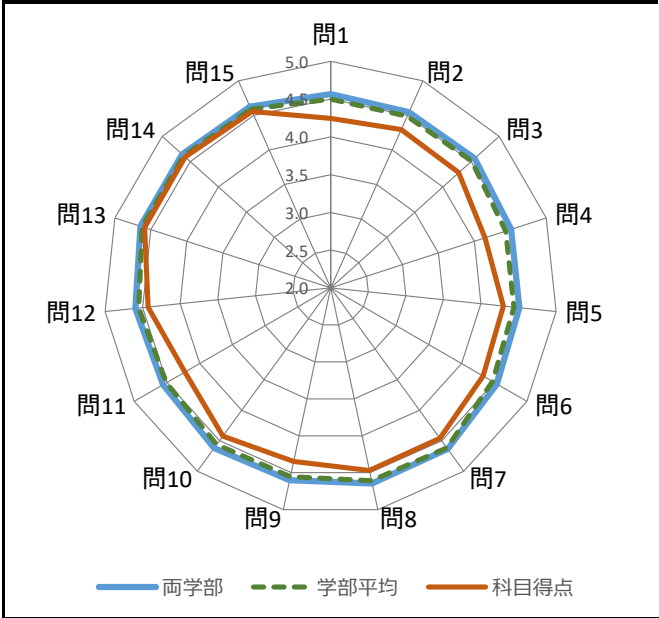
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅳ		[1H0700]	履修者数	156	回答率	
教員名	井上 明宏			回 紙	115	73.7%	73.7%
学部	看護学部	授業形態	講義	答 数	WEB 0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	44	57	12				4.24	4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	46	59	8				4.30	4.49	4.55
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	45	59	7				4.28	4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。	38	61	12				4.15	4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。	48	55	8				4.30	4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。	50	55	8				4.33	4.47	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	60	49	5				4.46	4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。	60	50	4				4.47	4.61	4.64
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	54	50	8				4.35	4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。	55	55	4				4.43	4.56	4.62
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	48	52	9	5			4.23	4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	56	53					4.43	4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。	70	42					4.59	4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	70	43					4.59	4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。	68	44					4.56	4.59	4.63
問1～15全問平均								4.38	4.54	4.59

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

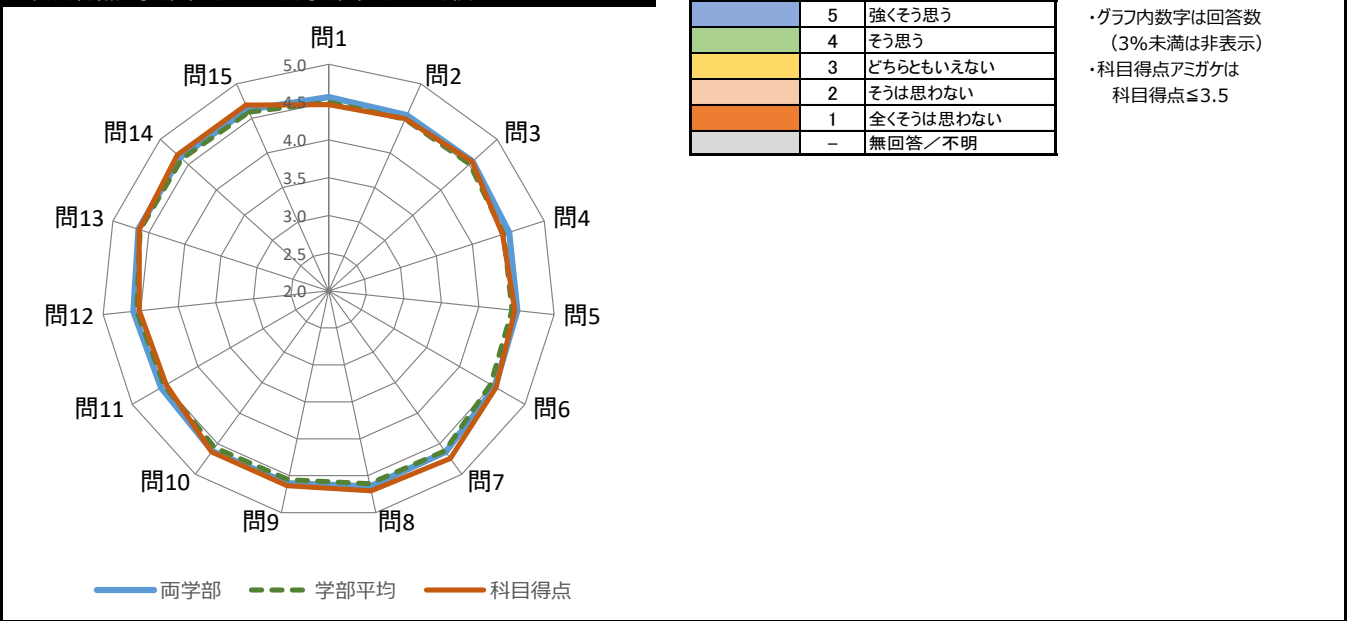
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	疾病の成り立ちと回復の促進 V		[1H0800]	履修者数	130	回答率	
教員名	井上 明宏			回 答 数	紙 88	67.7%	67.7%
学部	看護学部	授業形態	講義		WEB 0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	48	34	5				4.47	4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	48	34	5				4.49	4.49	4.55
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	55	28	4				4.56	4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。	46	35	5				4.42	4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。	50	30	8				4.48	4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。	53	31	4				4.56	4.47	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	66	21					4.74	4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。	66	18	4				4.70	4.61	4.64
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	60	24	4				4.64	4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。	57	28					4.63	4.56	4.62
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	50	30	6				4.48	4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	54	24	9				4.52	4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。	61	22	5				4.64	4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	64	21	3				4.69	4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。	64	21	3				4.69	4.59	4.63
問1～15全問平均								4.58	4.54	4.59

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



授業改善アンケート【講義】科目別集計

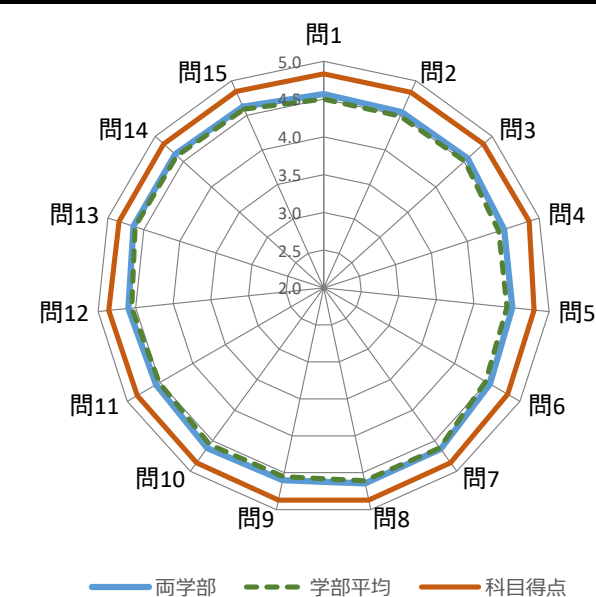
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	栄養学	[1H1300]	履修者数	128	回答率	
教員名	塩原 由香		回 紙	85	66.4%	66.4%
学部	看護学部	授業形態	数 WEB	0	0.0%	
		講義				

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。					70	14	4.83	4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。					71	14	4.84	4.49	4.55
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。					72	13	4.85	4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。					73	12	4.86	4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。					69	15	4.80	4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。					69	16	4.81	4.47	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。					73	12	4.86	4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。					74	11	4.87	4.61	4.64
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。					74	11	4.87	4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。					73	12	4.86	4.56	4.62
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。					72	13	4.85	4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。					73	12	4.86	4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。					72	13	4.85	4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。					72	13	4.85	4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。					72	13	4.85	4.59	4.63
問1~15全問平均								4.85	4.54	4.59

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

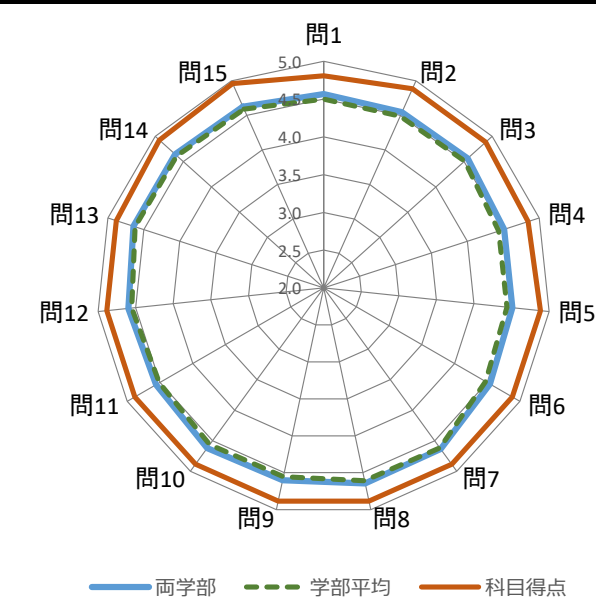
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	ラボラトリー・プラクティス [1H1400]		履修者数	32	回答率	
教員名	壹岐 聖子		回 紙	26	81.3%	81.3%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。					21	5	4.81	4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。					23	3	4.88	4.49	4.55
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。					23	3	4.88	4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。					22	4	4.85	4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。					23	3	4.88	4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。					23	3	4.88	4.47	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。					23	3	4.88	4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。					23	3	4.88	4.61	4.64
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。					23	3	4.88	4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。					23	3	4.88	4.56	4.62
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。					23	3	4.88	4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。					23	3	4.88	4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。					23	3	4.88	4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。					24	2	4.92	4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。					24	11	4.96	4.59	4.63
問1～15全問平均								4.88	4.54	4.59

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 $\leq$ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

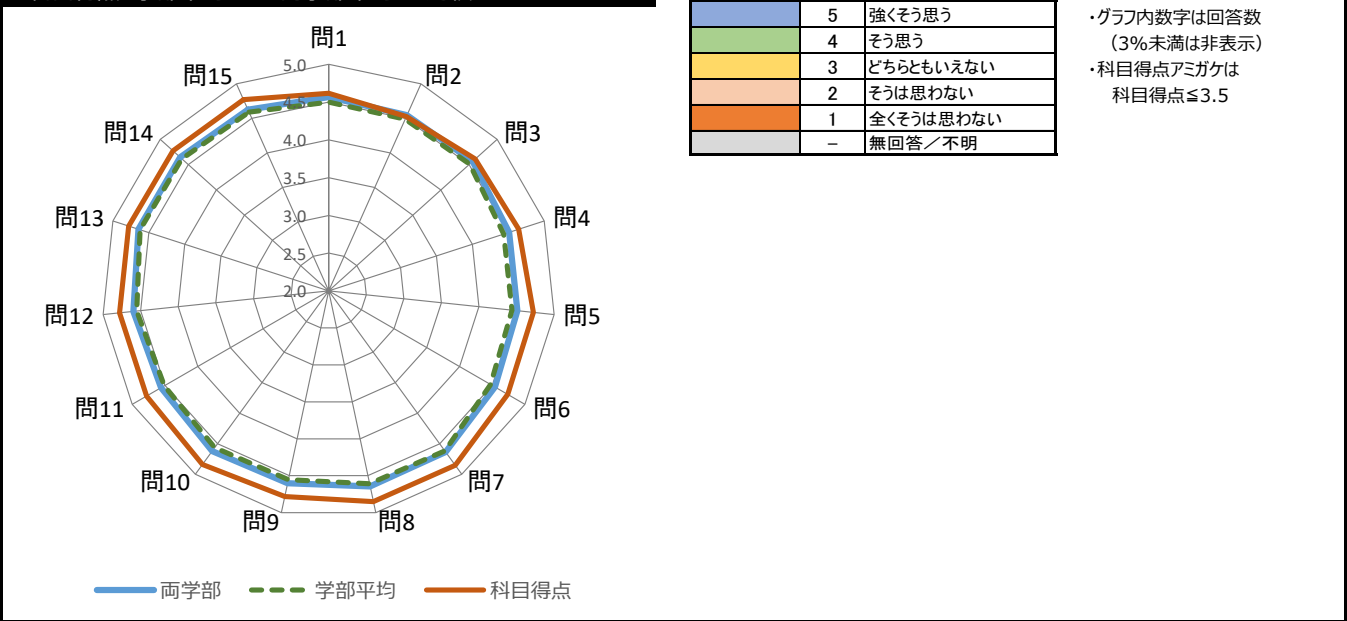
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	薬理学		[1H1500]	履修者数	128	回答率	
教員名	吉見 猛			回 紙	87	68.0%	68.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	答 数	WEB 0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。								4.62	4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。								4.53	4.49	4.55
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。								4.61	4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。								4.64	4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。								4.72	4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。								4.74	4.47	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。								4.85	4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。								4.85	4.61	4.64
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。								4.78	4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。								4.84	4.56	4.62
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。								4.78	4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。								4.78	4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。								4.78	4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。								4.77	4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。								4.77	4.59	4.63
問1～15全問平均								4.74	4.54	4.59	

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



授業改善アンケート【講義】科目別集計

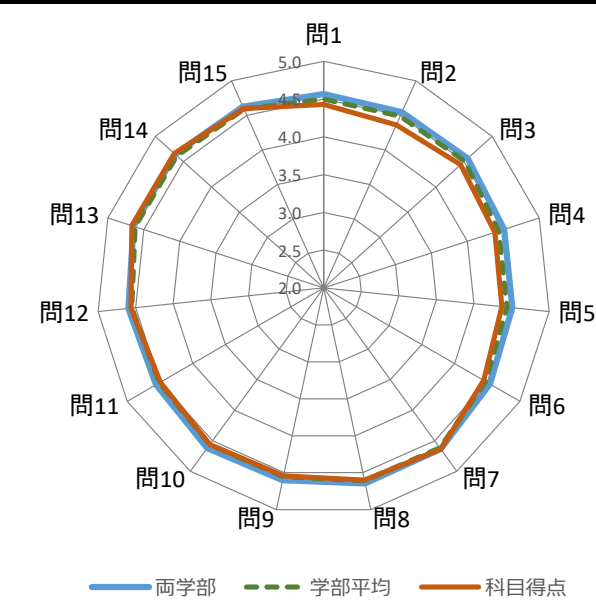
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	精神保健看護学・理論	[1L0300]	履修者数	169	回答率	
教員名	鷹野 朋実		回 紙	105	62.1%	62.1%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	55	42	6				4.43	4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	50	46	7				4.36	4.49	4.55
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	52	48	4				4.44	4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。	52	46					4.38	4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。	52	41	11				4.37	4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。	54	45	5				4.45	4.47	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	70	33					4.64	4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。	65	38					4.60	4.61	4.64
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	61	41					4.54	4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。	62	40					4.56	4.56	4.62
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	57	45					4.50	4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	61	42					4.56	4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。	71	33					4.67	4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	69	36					4.66	4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。	69	33					4.60	4.59	4.63
問1～15全問平均								4.52	4.54	4.59

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

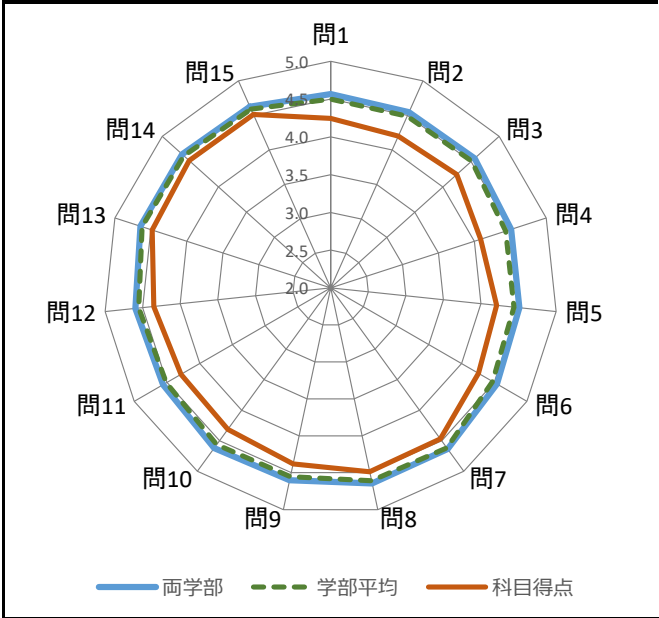
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	精神病態学 [1L0510]		履修者数	153	回答率	
教員名	中野谷 貴子		回 紙	115	75.2%	75.2%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	44	57	12				4.24	4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	44	55	12				4.20	4.49	4.55
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	44	57	12				4.24	4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。	42	49	17	6			4.09	4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。	46	52	13				4.21	4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。	45	57	11				4.26	4.47	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	62	46	6				4.47	4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。	62	47	6				4.49	4.61	4.64
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	58	46	8				4.38	4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。	52	51	10				4.31	4.56	4.62
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	51	49	12				4.29	4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	52	51	10				4.35	4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。	65	39	10				4.48	4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	67	39	8				4.52	4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。	64	43	6				4.51	4.59	4.63
問1～15全問平均								4.34	4.54	4.59

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

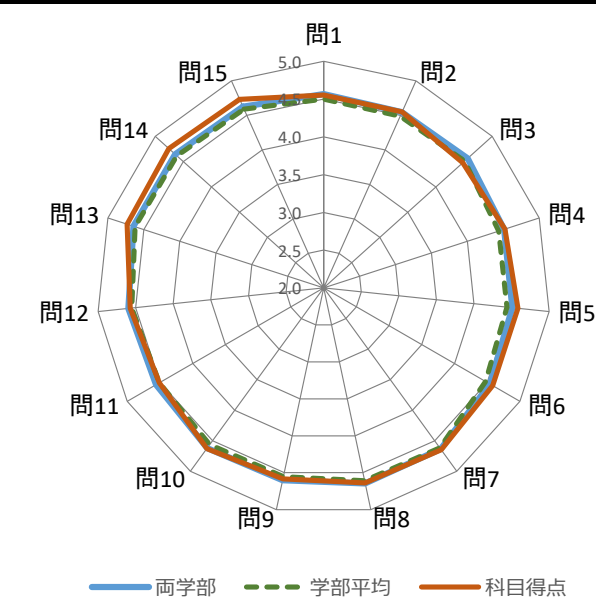
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	成育期看護学Ⅰ②	[1M1100]	履修者数	153	回答率	
教員名	新田 真弓		回 紙	94	61.4%	61.4%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	56				36		4.55	4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	58				34		4.55	4.49	4.55
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	55				34		4.48	4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。	54				37		4.52	4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。	58				35		4.59	4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。	58				35		4.59	4.47	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	64				29		4.65	4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。	63				30		4.64	4.61	4.64
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	61				31		4.59	4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。	63				29		4.63	4.56	4.62
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	57				33		4.51	4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	59				33		4.57	4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。	69				25		4.73	4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	71				23		4.76	4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。	69				25		4.73	4.59	4.63
問1～15全問平均								4.61	4.54	4.59

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 $\leq$ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

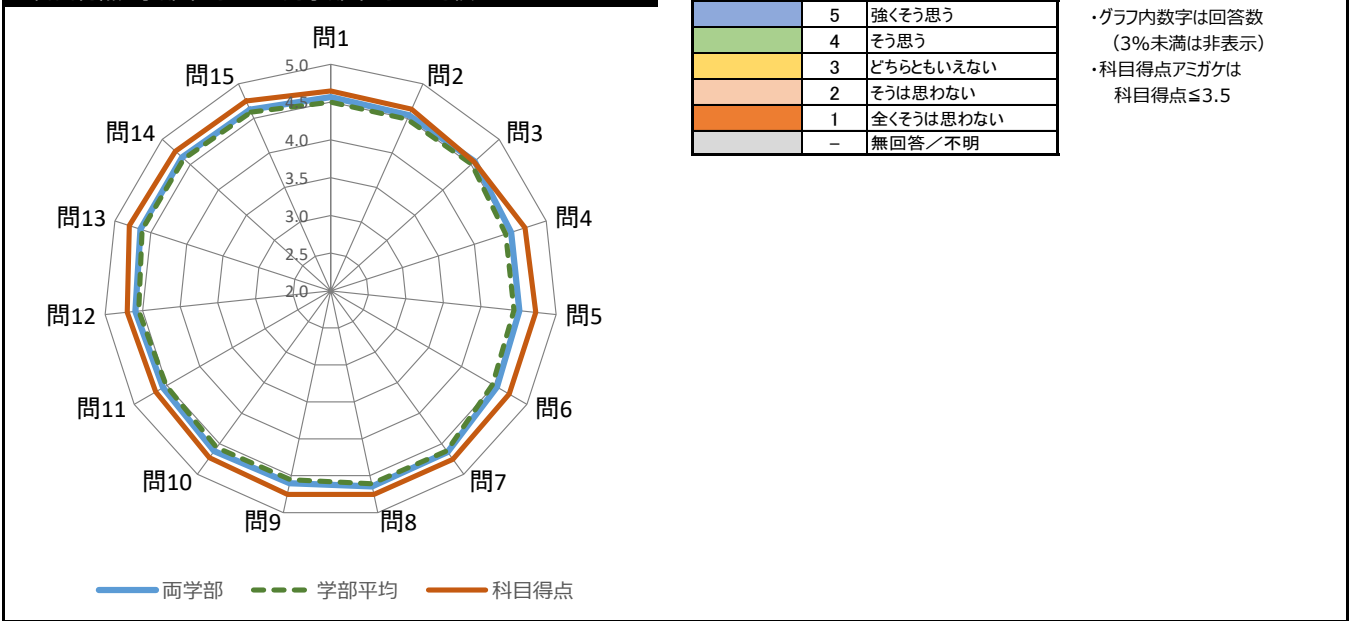
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	成育期看護学Ⅱ②		[1M1400]	履修者数	153	回答率	
教員名	山内 朋子			回 答 数	紙 85	55.6%	55.6%
学部	看護学部	授業形態	講義		WEB 0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	5727						4.65	4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	5529						4.64	4.49	4.55
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	56244						4.55	4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。	6025						4.71	4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。	6223						4.73	4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。	6223						4.73	4.47	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	6421						4.75	4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。	6421						4.75	4.61	4.64
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	6421						4.75	4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。	6223						4.73	4.56	4.62
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	5924						4.67	4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	6123						4.71	4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。	6817						4.80	4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	6520						4.76	4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。	6519						4.75	4.59	4.63
問1～15全問平均								4.71	4.54	4.59

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



授業改善アンケート【講義】科目別集計

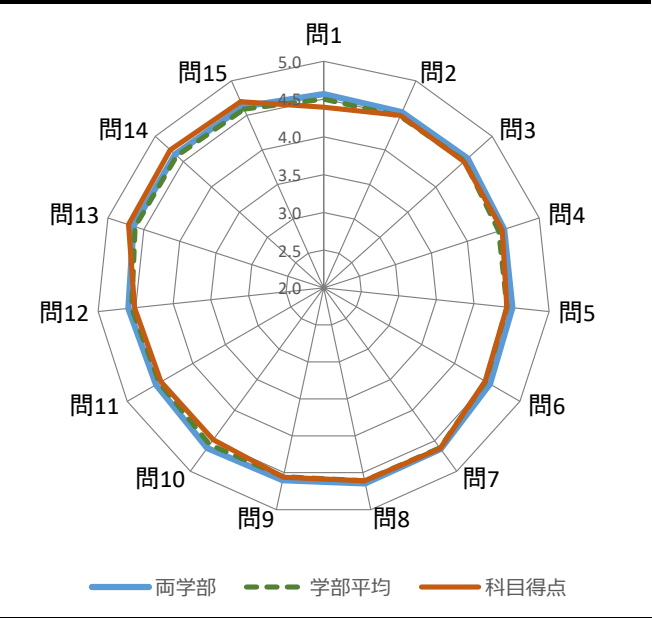
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	成熟期看護学Ⅱ②		[1M2200]	履修者数	153	回答率	
教員名	清田 明美			回 紙	64	41.8%	41.8%
学部	看護学部	授業形態	講義	答 数	WEB 0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	35	24	2	2			4.39	4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	37	24	2				4.50	4.49	4.55
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	36	26					4.50	4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。	36	25	2				4.48	4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。	35	25	2	1			4.44	4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。	36	24	3				4.47	4.47	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	42	20	2				4.63	4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。	41	21	2				4.61	4.61	4.64
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	40	22					4.56	4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。	38	22	2	1			4.48	4.56	4.62
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	37	23	2	2			4.48	4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	37	24	2				4.52	4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。	46	16					4.71	4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	46	17					4.73	4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。	44	19					4.70	4.59	4.63
問1～15全問平均								4.55	4.54	4.59

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
・科目得点アミガケは
科目得点 $\leq$ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

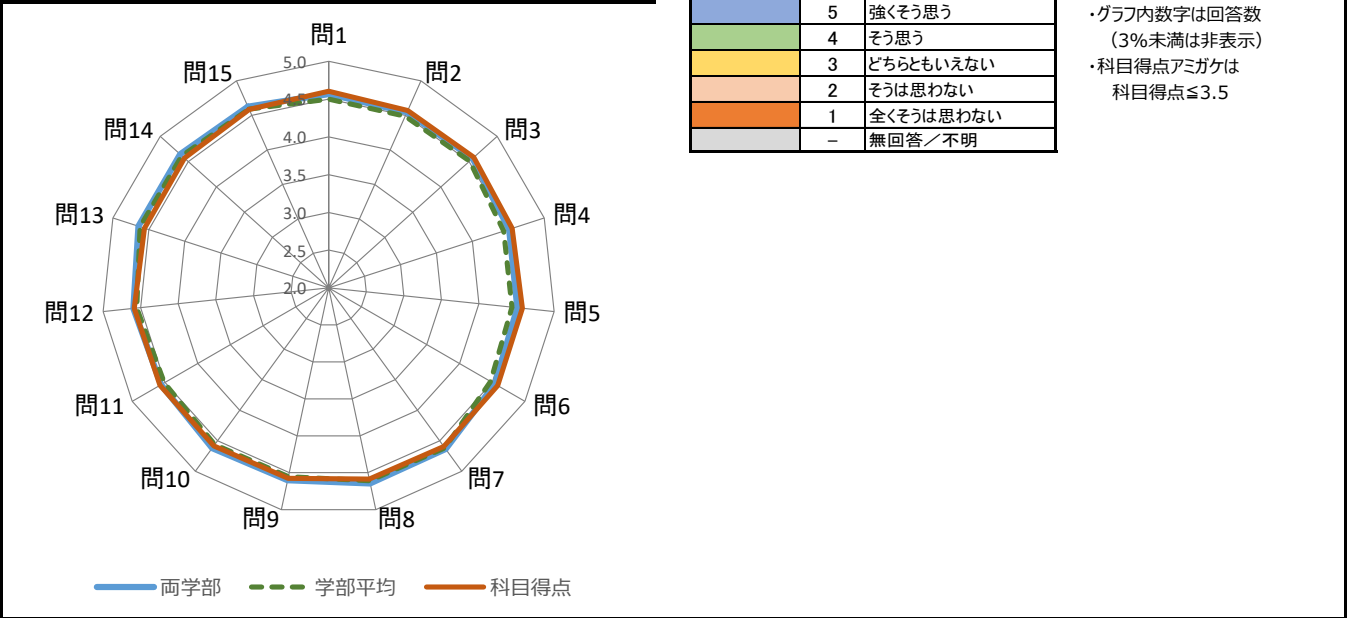
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	地域看護学	[100100]	履修者数	175	回答率	
教員名	石田 千絵		回 答 数	紙 117 WEB 0	66.9%	66.9%
学部	看護学部	授業形態	講義		0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。				70		46	4.60	4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。				66		50	4.57	4.49	4.55
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。				68		48	4.59	4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。				65		50	4.55	4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。				68		47	4.58	4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。				68		46	4.58	4.47	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。				69		47	4.59	4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。				68		48	4.59	4.61	4.64
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。				67		49	4.58	4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。				68		48	4.59	4.56	4.62
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。				67		49	4.58	4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。				68		48	4.59	4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。				66		49	4.56	4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。				66		50	4.57	4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。				68		48	4.59	4.59	4.63
問1～15全問平均								4.58	4.54	4.59

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



授業改善アンケート【講義】科目別集計

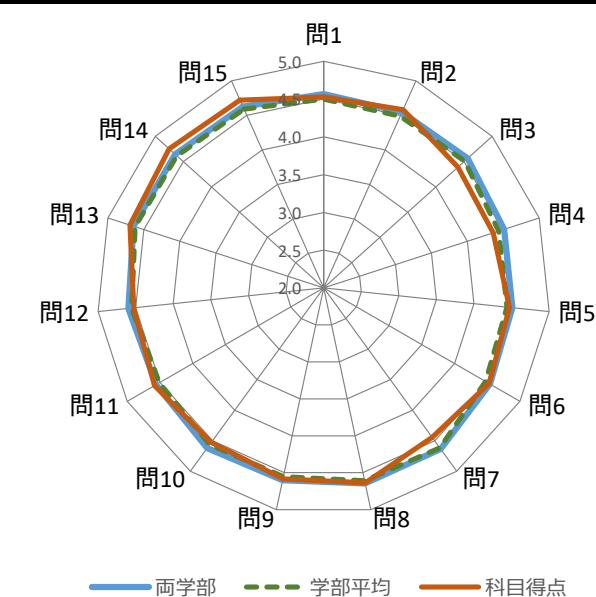
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	公衆衛生看護活動論	[100200]	履修者数	40	回答率	
教員名	吉川 悦子		回 答 数	紙 36 WEB 0	90.0%	90.0%
学部	看護学部	授業形態	講義		0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	20	15					4.53	4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	22	13					4.58	4.49	4.55
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	20	12	3				4.39	4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。	20	11	4				4.36	4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。	22	10	3				4.47	4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。	22	11	3				4.53	4.47	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	22	10	3				4.44	4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。	24	11					4.64	4.61	4.64
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	22	13					4.58	4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。	21	13	2				4.53	4.56	4.62
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	22	13					4.58	4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	21	13	2				4.53	4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。	27	7	2				4.69	4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	28	7					4.75	4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。	27	8					4.72	4.59	4.63
問1～15全問平均								4.56	4.54	4.59

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

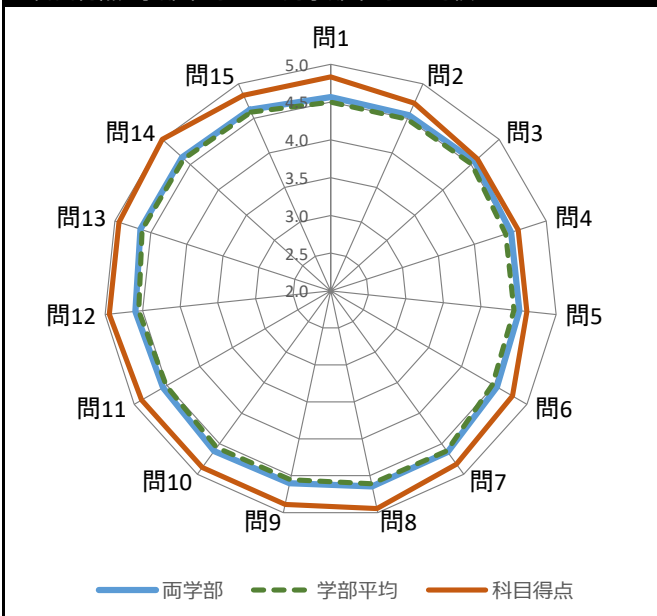
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	保健福祉行政論		[100300]	履修者数	20	回答率	
教員名	一杉 かおる			回	紙	18	90.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	答	WEB	0	0.0%
				数			90.0%

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.83	4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.72	4.49	4.55
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。							4.61	4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.61	4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。							4.61	4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。							4.78	4.47	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.83	4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。							4.94	4.61	4.64
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。							4.89	4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.89	4.56	4.62
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.89	4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.94	4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。							4.94	4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							5.00	4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。							4.83	4.59	4.63
問1~15全問平均								4.82	4.54	4.59

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

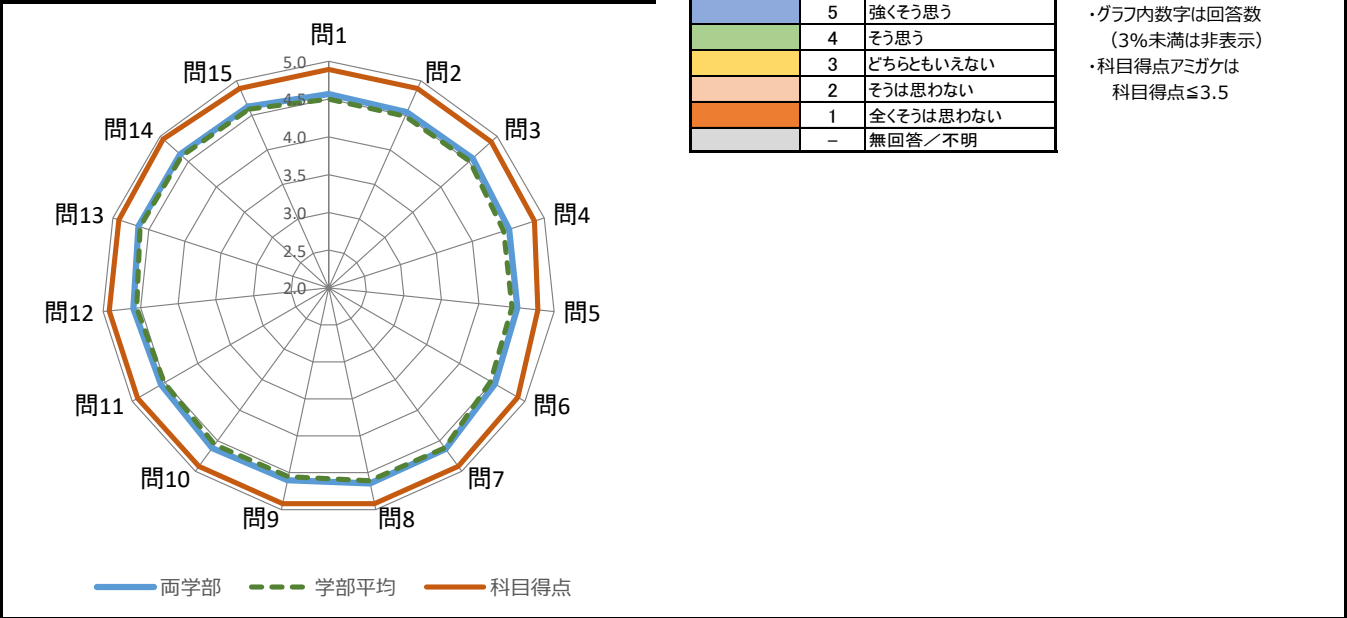
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	疫学		[100400]	履修者数	42	回答率	
教員名	佐藤 潤			回 紙	37	88.1%	88.1%
学部	看護学部	授業形態	講義	答 数	WEB 0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							334	4.89	4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							334	4.89	4.49	4.55
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。							334	4.89	4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。							325	4.86	4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。							306	4.78	4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。							334	4.89	4.47	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							343	4.92	4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。							343	4.92	4.61	4.64
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。							343	4.92	4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。							343	4.92	4.56	4.62
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							343	4.92	4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							343	4.92	4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。							343	4.92	4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							352	4.95	4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。							334	4.89	4.59	4.63
問1～15全問平均								4.90	4.54	4.59	

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



授業改善アンケート【講義】科目別集計

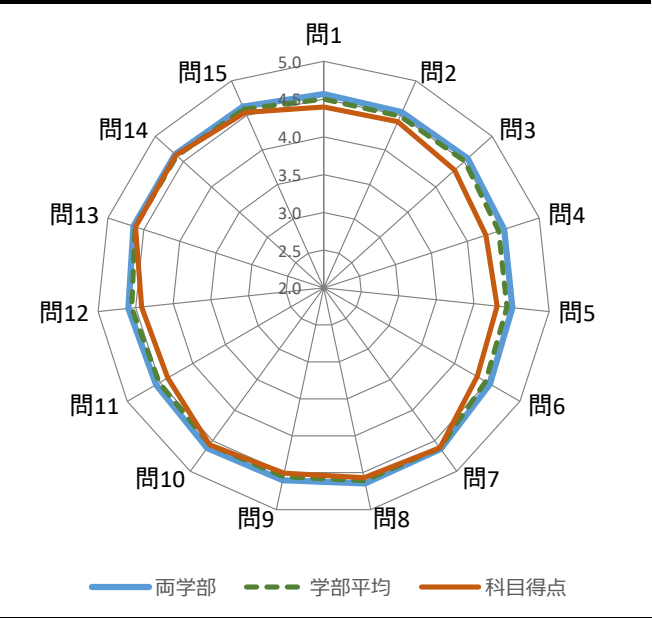
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	在宅看護学概論Ⅱ		[101100]	履修者数	165	回答率	
教員名	石田 千絵			回	紙	81	49.1%
学部	看護学部	授業形態	講義	答	WEB	0	0.0%
						49.1%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	37		41				4.40	4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	37		42				4.41	4.49	4.55
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	40		32	5	4		4.33	4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。	33		38	8			4.26	4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。	34		40	5			4.31	4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。	36		39	4			4.35	4.47	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	50		31				4.62	4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。	46		35				4.57	4.61	4.64
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	43		36				4.51	4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。	47		33				4.57	4.56	4.62
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	40		36	4			4.38	4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	40		36	4			4.42	4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。	53		26				4.62	4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	53		27				4.63	4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。	48		30				4.54	4.59	4.63
問1～15全問平均								4.46	4.54	4.59

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

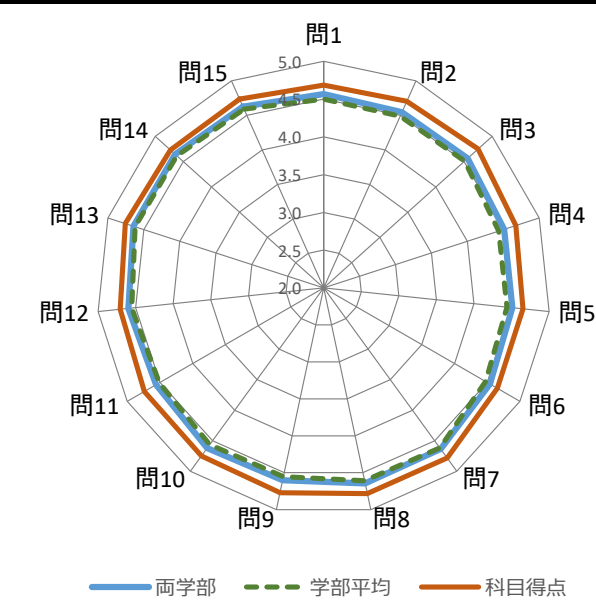
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	看護管理学 I [1P0100]		履修者数	143	回答率	
教員名	安部 陽子		回 紙	92	64.3%	64.3%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	67				22		4.68	4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	67				23		4.71	4.49	4.55
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	70				21		4.75	4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。	67				21	3	4.67	4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。	64				24	4	4.65	4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。	65				22	5	4.65	4.47	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	73				18		4.78	4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。	73				18		4.78	4.61	4.64
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	72				19		4.77	4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。	71				19		4.75	4.56	4.62
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	70				20		4.74	4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	68				21	3	4.71	4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。	72				18		4.76	4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	69				21		4.73	4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。	69				20		4.74	4.59	4.63
問1~15全問平均								4.73	4.54	4.59

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

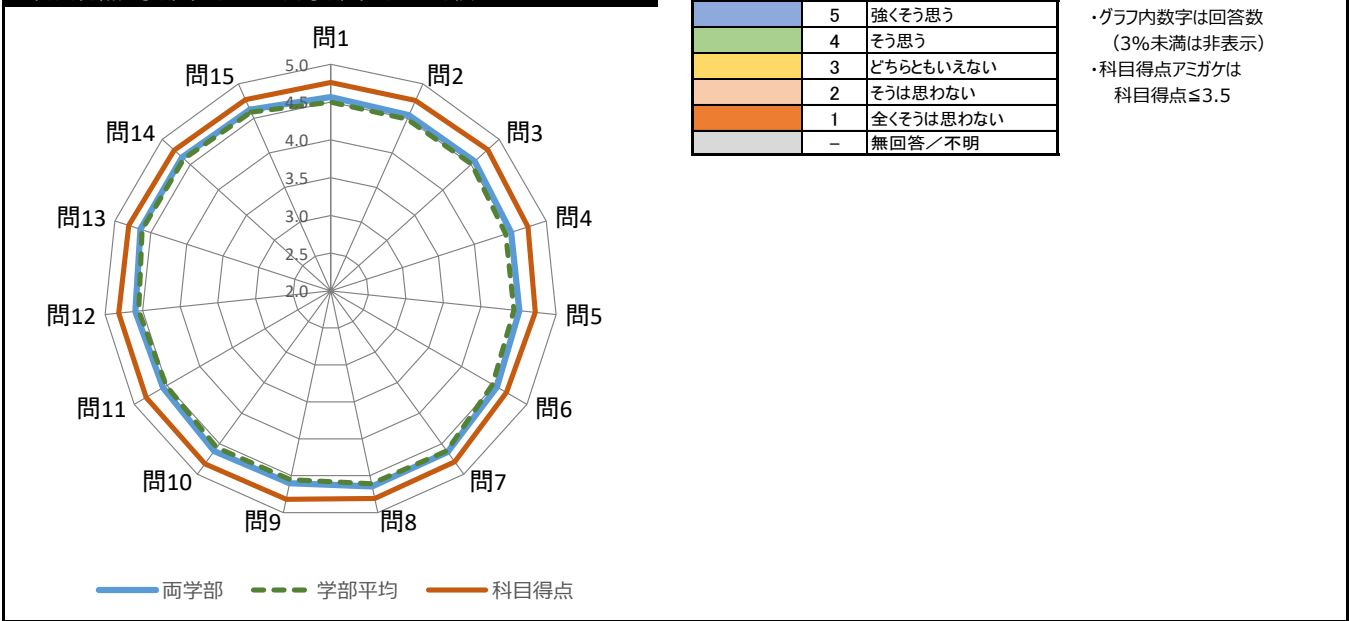
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	看護教育学 I		[1P0300]	履修者数	143	回答率	
教員名	佐々木 幾美			回	紙	83	58.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	答数	WEB	0	0.0%
						58.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	<								

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



授業改善アンケート【講義】科目別集計

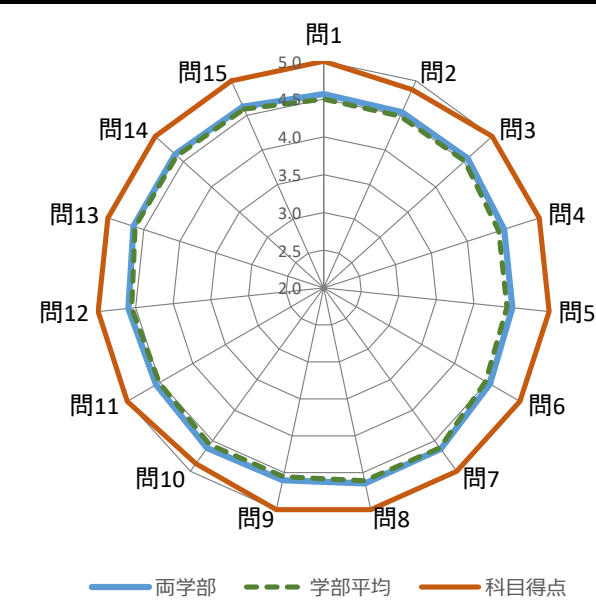
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	看護教育学Ⅱ		[1P0400]	履修者数	9	回答率	
教員名	西田 朋子			回 紙	8	88.9%	88.9%
学部	看護学部	授業形態	講義	答 数	WEB	0	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	8						5.00	4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	7					1	4.88	4.49	4.55
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	8						5.00	4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。	8						5.00	4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。	8						5.00	4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。	8						5.00	4.47	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	8						5.00	4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。	8						5.00	4.61	4.64
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	8						5.00	4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。	7					1	4.88	4.56	4.62
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	8						5.00	4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	8						5.00	4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。	8						5.00	4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	8						5.00	4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。	8						5.00	4.59	4.63
問1～15全問平均								4.98	4.54	4.59

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

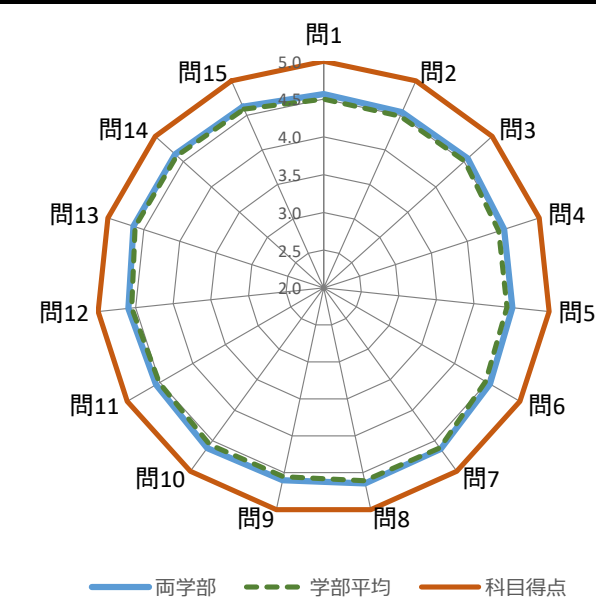
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	国際看護学Ⅱ		[1R0200]	履修者数	8	回答率	
教員名	野口 眞貴子			回	紙	8	100.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	答	WEB	0	0.0%
						100.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	8						5.00	4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	8						5.00	4.49	4.55
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	8						5.00	4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。	8						5.00	4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。	8						5.00	4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。	8						5.00	4.47	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	8						5.00	4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。	8						5.00	4.61	4.64
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	8						5.00	4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。	8						5.00	4.56	4.62
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	8						5.00	4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	8						5.00	4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。	8						5.00	4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	8						5.00	4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。	8						5.00	4.59	4.63
問1～15全問平均								5.00	4.54	4.59

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

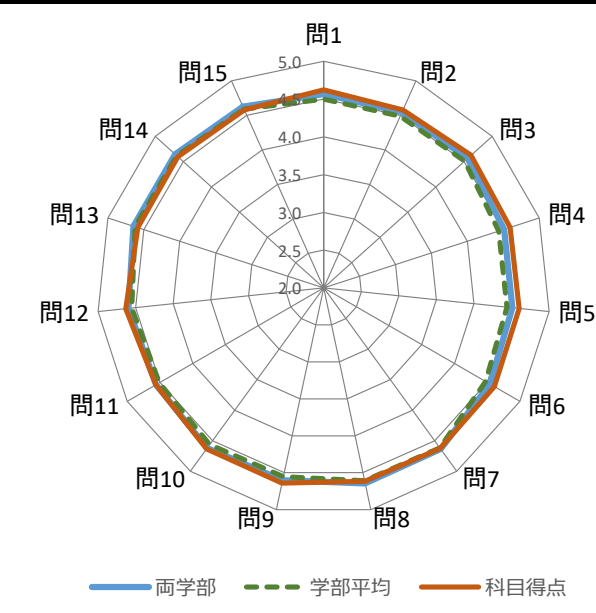
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	災害看護学 I	[1R1100]	履修者数	171	回答率		
教員名	織方 愛		回 紙	128	74.9%	74.9%	
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0		0.0%

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	81				44		4.62	4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	78				46	4	4.58	4.49	4.55
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	81				46		4.63	4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。	78				48		4.59	4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。	79				47		4.60	4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。	81				44		4.61	4.47	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	82				44		4.63	4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。	81				45		4.62	4.61	4.64
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	84				42		4.64	4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。	83				43		4.63	4.56	4.62
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	77				47		4.56	4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	82				45		4.63	4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。	78				47		4.59	4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	77				50		4.59	4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。	78				46	4	4.58	4.59	4.63
問1～15全問平均								4.61	4.54	4.59

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

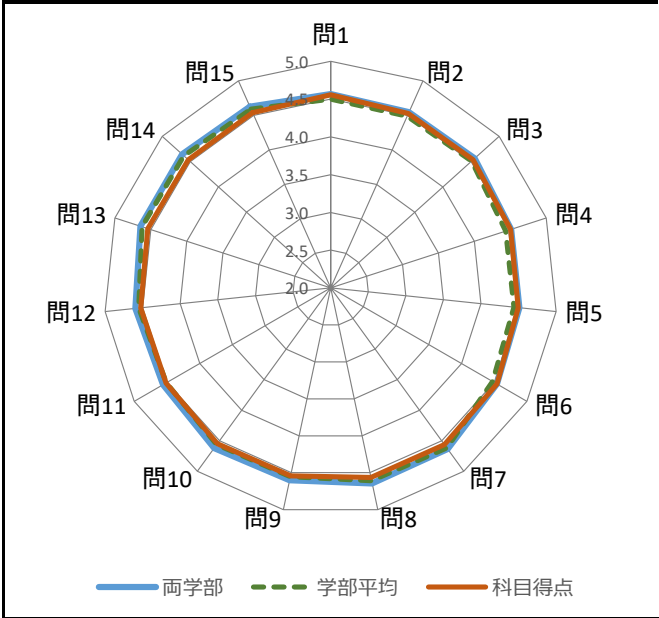
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	国際看護学		[1R1300]	履修者数	159	回答率	
教員名	野口 眞貴子			回 紙	133	83.6%	83.6%
学部	看護学部	授業形態	講義	答 数	WEB 0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.56	4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.53	4.49	4.55
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。							4.53	4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.50	4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。							4.50	4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。							4.54	4.47	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.56	4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。							4.56	4.61	4.64
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。							4.54	4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.55	4.56	4.62
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.52	4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.53	4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。							4.54	4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.53	4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。							4.54	4.59	4.63
問1～15全問平均								4.54	4.54	4.59

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

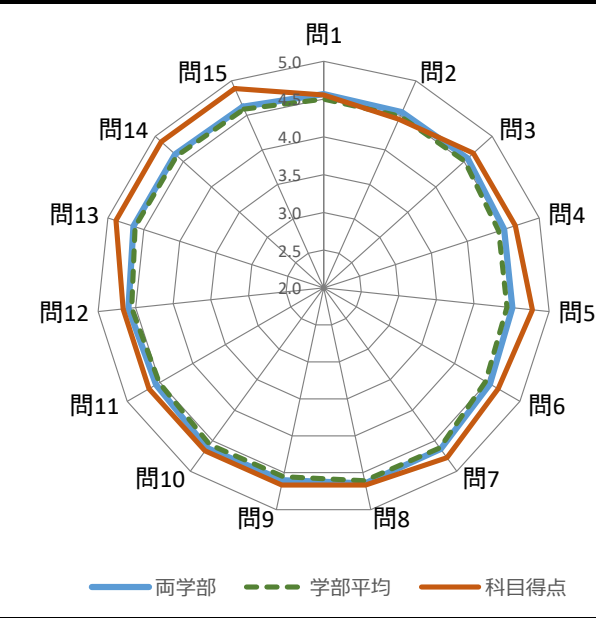
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	国際看護協働論		[1R1400]	履修者数	14	回答率	
教員名	野口 眞貴子			回	紙	9	64.3%
学部	看護学部	授業形態	講義	答	WEB	0	0.0%
						64.3%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.56	4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.44	4.49	4.55
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。							4.67	4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.67	4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。							4.78	4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。							4.67	4.47	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.78	4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。							4.67	4.61	4.64
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。							4.67	4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.67	4.56	4.62
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.67	4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.67	4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。							4.89	4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.89	4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。							4.89	4.59	4.63
問1~15全問平均								4.70	4.54	4.59

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

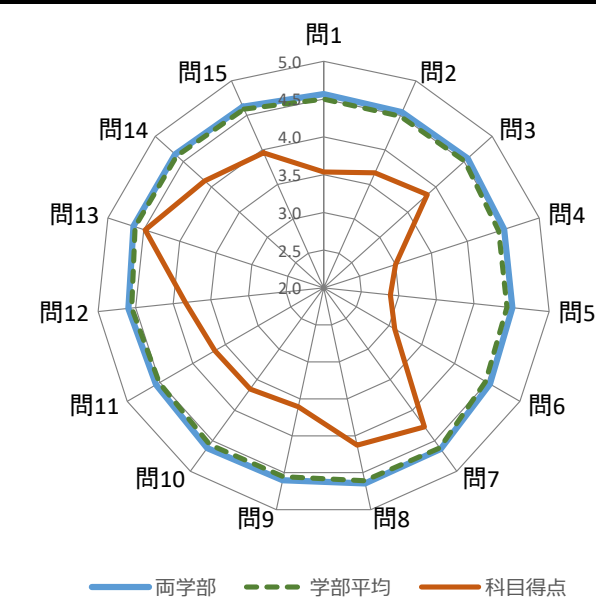
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	研究方法論 I	[1T0110]	履修者数	153	回答率	
教員名	田中 孝美		回 紙	118	77.1%	77.1%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	27	42	25	15	9		3.53	4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	28	46	27	11	6		3.67	4.49	4.55
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	30	50	26	8			3.84	4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。	22	20	29	28	18		3.00	4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。	20	23	22	30	23		2.89	4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。	21	29	27	21	20		3.08	4.47	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	54	51	8	4			4.27	4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。	46	48	19				4.13	4.61	4.64
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	35	35	21	18	8		3.61	4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。	31	41	28	10	8		3.65	4.56	4.62
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	30	44	26	10	8		3.66	4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	41	39	23	8	7		3.84	4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。	70	39	6				4.48	4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	51	39	22				4.12	4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。	50	29	28	6	5		3.96	4.59	4.63
問1～15全問平均								3.72	4.54	4.59

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

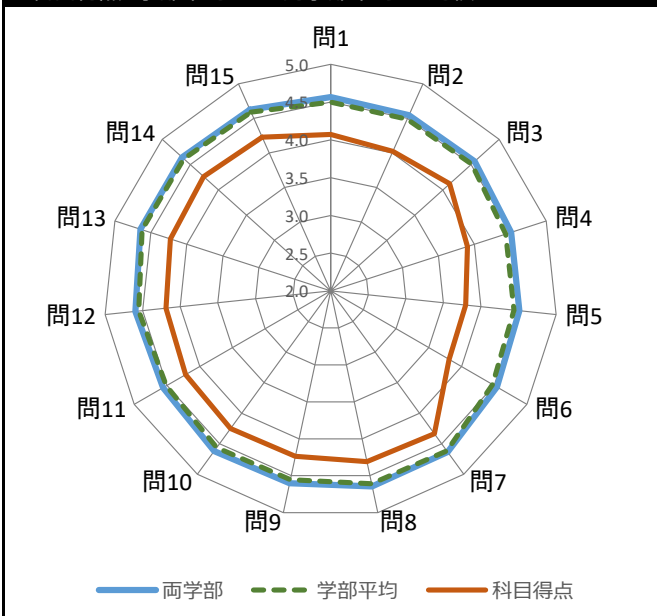
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	研究方法論Ⅱ		[1T0200]	履修者数	143	回答率	
教員名	江本 リナ			回 紙	84	58.7%	58.7%
学部	看護学部	授業形態	講義	答 数	WEB 0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	35	28	15	4			4.07	4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	33	28	17	4			4.02	4.49	4.55
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	34	33	11	3			4.12	4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。	31	28	13	7	4		3.90	4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。	31	25	14	5	8		3.80	4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。	32	24	16	4	8		3.81	4.47	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	47	24	10	3			4.33	4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。	45	24	13				4.31	4.61	4.64
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	41	28	11				4.24	4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。	41	29	10				4.25	4.56	4.62
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	37	33	11				4.21	4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	38	28	16				4.19	4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。	38	32	10	3			4.23	4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	41	30	9				4.26	4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。	38	32	11				4.23	4.59	4.63
問1~15全問平均								4.13	4.54	4.59

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

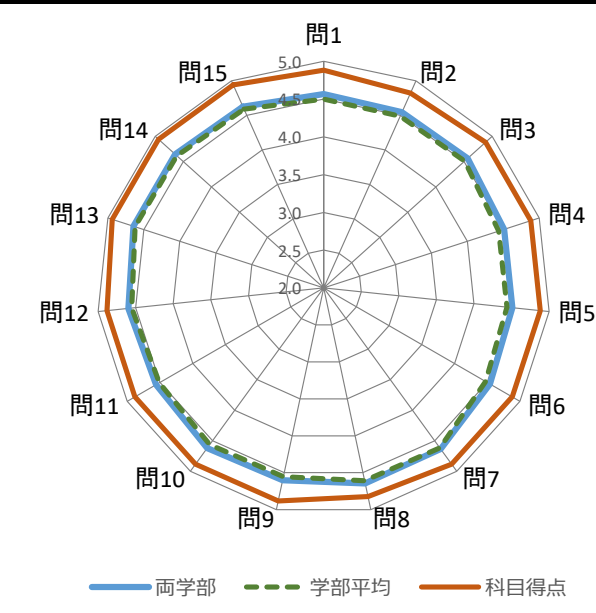
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	公衆衛生看護活動展開論		[1U0100]	履修者数	20	回答率	
教員名	吉川 悦子			回 紙	17	85.0%	85.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	答 数	WEB 0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。						2	4.88	4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。						1 1	4.82	4.49	4.55
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。						2	4.88	4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。						2	4.88	4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。						2	4.88	4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。						2	4.88	4.47	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。						2	4.88	4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。						1 1	4.82	4.61	4.64
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。						2	4.88	4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。						2	4.88	4.56	4.62
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。						2	4.88	4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。						2	4.88	4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。						1	4.94	4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。						1	4.94	4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。						1	4.94	4.59	4.63
問1～15全問平均								4.89	4.54	4.59

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

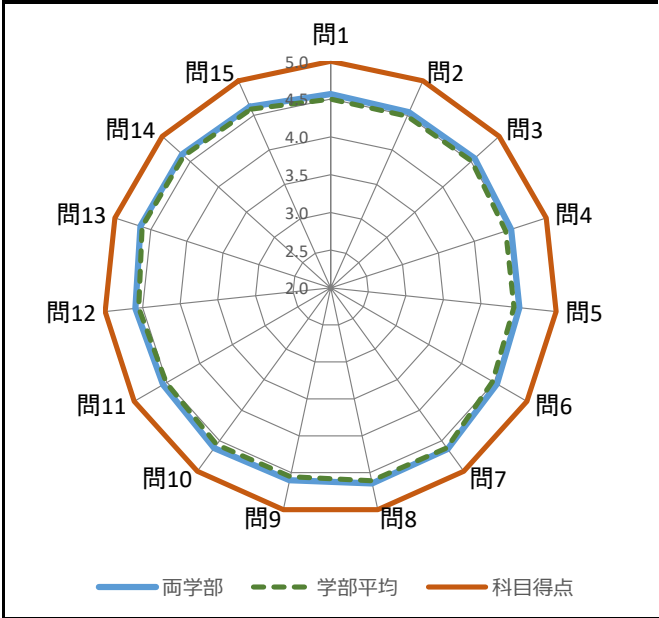
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	公衆衛生看護方法論 [1U0700]		履修者数	20	回答率	
教員名	佐藤 太地		回 紙	15	75.0%	75.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							5.00	4.50	4.57
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							5.00	4.49	4.55
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。							5.00	4.51	4.56
4	授業の内容はわかりやすかった。							5.00	4.44	4.51
5	授業の内容に、興味関心が増した。							5.00	4.44	4.51
6	この授業は自分にとって有意義であった。							5.00	4.47	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							5.00	4.62	4.64
8	シラバスまたは講義予定表に沿った授業が行われていた(シラバス変更の説明も含む)。							5.00	4.61	4.64
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。							5.00	4.55	4.60
10	教員の熱意が伝わってきた。							5.00	4.56	4.62
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							5.00	4.51	4.56
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							5.00	4.55	4.60
13	私はこの授業に関連する授業時間外の学修(事前学修・事後学修・課題など)を行った。							5.00	4.62	4.65
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							5.00	4.61	4.64
15	私は授業のねらい・目標を達成することができた。							5.00	4.59	4.63
問1～15全問平均								5.00	4.54	4.59

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

科目コード	科目名	教員名	コメント（1000文字以内）
1B0600	現代教育論	渋谷真樹	総じて良好な回答で嬉しいです。「物事を多面的にとらえることができた」「とても有意義でした」「お互いの意見が知れてよかった」などの自由記述に、励まされました。聖心女子大学グローバルプラザでの課外学習も好評でしたので、今後も続けていきたいと思います。
1B0700	身体運動論Ⅰ（理論）	八十島 崇	授業改善アンケートへのご回答ありがとうございました。 いただいた回答を次年度に活かし、授業内容に興味関心が増すように、かつ有意義なものとなるように、授業を展開できればと考えております。
1B1800	臨床心理学	遠藤 公久	高い評価ありがとうございます。おもしろかったとのコメントもいただき、励みになります。
1B1803	臨床心理学	遠藤 公久	コメントがないのが残念ですが、高い評価ありがとうございます。私の都合もあり、受講の学生さんにはご迷惑をおかけしました。申し訳ありませんでした。ただ、今年度からはこの授業はなくなりました。
1B1900	人間工学	田部井 賢一	15の評価項目において、総じて高い評価を得られたことを嬉しく思います。現状に満足することなく、今年度も受講生の反応を見ながら講義内容をブラッシュアップし、さらに満足度の高い授業を目指してまいります。
1C0401	家族社会学	宮下 阿子	授業改善アンケートへのご協力ありがとうございます。今後も肯定的な評価をいただいたところを維持しながら、受講生が関心を持って取り組める授業を目指し、改善に努めたいと思います。
1C0402	家族社会学	宮下 阿子	授業改善アンケートへのご協力ありがとうございます。今後も肯定的な評価をいただいたところを維持しながら、受講生が関心を持って取り組める授業を目指し、改善に努めたいと思います。
1C0600	国際関係論	角田 敦彦	回答者が少なかったことは残念でしたが、評価を拝見すると内容的には難しいものであったと思いますが、興味を持ち意欲的に取り組んでくれたことが伝わりました。また、事前・事後学習についても意欲的に取り組んだ様子がうかがえ、授業の充実に協力していただいたことに感謝します。
1C1300	現代社会論	鷹田 佳典	高い評価を得られてよかったです。労働とジェンダーをテーマに現代社会のありようについて考えましたが、受講者の皆さんが積極的に授業に取り組み、毎回、活発な議論ができたように思います。2回行ったグループ発表も、授業では取り上げることができなかったトピックがいろいろ紹介されていて、私もとても勉強になりました。
1D1100	基礎統計学	桐木 紳	授業で政治的、個人的な思想を言った覚えは無いのですが、マスコミ、政府、政党等が統計を使って民衆をコントロールしようとする場合があるという話が正しく理解されなかったのかもしいと思います。もしくはマスコミや政府の関係者が近親にいるのかもしれません。いずれにせよ、学生のレベルに合わせていきたいと思います。
1D1200	生物学	新井 健太	アンケートへのご協力ありがとうございました。この科目はまだ若く、少しずつ受講生にフィッティングしてきました。今回は回答数12、回答率100%でしたので、参考にできる情報量かと思えます。全体的にはポジティブな評価でした。授業のスピードが少し速かった、というご意見がありました。この点は微調整を加えて様子を見たいと思います。また、エピソードトークの配置が適切だった、内容が面白かった、というご意見がありました。この部分は残す方向で構成します。
1E0200	情報科学	佐久間 貴士	本授業に関する授業改善アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。全体として、授業の進行や説明、学生への対応などについて高い評価をいただき、大変嬉しく受け止めています。特に「質問しやすい雰囲気」や「教員の対応」に関する評価が高く、安心して学べる環境づくりが一定程度実現できていたことが確認できました。一方で、自由記述からは、学生の理解度に差がある中で内容が難しく感じられたことや、既習を前提とした説明が負担になっていたこと、課題量が多いと感じる学生がいることなどの課題も明らかになりました。今後は、受講者の背景知識の違いをより意識し、基礎的な内容の補足や段階的な説明の工夫を取り入れていきます。また、課題については学習効果を維持しつつ、量や内容のバランスを再検討していきます。引き続き、学生一人ひとりが理解を深められる授業を目指して改善を重ねていきます。貴重なご意見をありがとうございました。
1F0301	英語 R 1 - 2	遠藤 花子	アンケートにお答えいただき、ありがとうございました。 概ねご満足して頂けたようで良かったです。板書（スライドの使い方）にもう少し注意を払おうと思います。

1F0302	英語 R 1 - 2	川崎修一	過分な評価をありがとうございます。 これを励みにより良い授業を目指します。 また、頂いたコメントを参考に授業改善に努めます。
1F0303	英語 R 1 - 2	遠藤 花子	アンケートにお答えいただき、ありがとうございました。授業を受けて充実感が得られるよう、もう少し工夫してみたいと思います。
1F0304	英語 R 1 - 2	川崎修一	過分な評価をありがとうございます。 これを励みにより良い授業を目指します。 また、頂いたコメントを参考に授業改善に努めます。
1F0701	英語 L S 1 - 2	Benjamin Tutcher	Thank you for your comments regarding the class, I was happy to tread them and will take them into consideration when conducting future courses.
1F0704	英語 L S 1 - 2	Benjamin Tutcher	Thank you for your comments regarding the class, I was happy to tread them and will take them into consideration when conducting future courses.
1F0901	英語 R 2 - 2	斎 孝則	全体的に見て、平均的な得点だったようで、ひとまず安心しました。また、最後の3問は学生に自分自身の授業への取り組みを問う問題だったけれど、そこが高い得点なのは良いと思いました。 授業の良い点として、小テスト対策のヒントや授業ノートが勉強しやすかった点を挙げてくれていたのは、嬉しく思いました。 改善点では挙手性より順番で、テストは紙で、などは参考にさせていただきます。 英文のレベルが少し高かった点は考慮しますが、全文訳をつけたりしたので、それで了解して下さい。
1F0902	英語 R 2 - 2	久木田 直江	アンケートにお答えいただきありがとうございます。 英語読解においても、内容においてもレベルの高い教材で授業をし、真摯に予習・復習をされる方々の姿が印象に残ります。試験においても優れた答案があると同時にこのレベルについていくのが困難な方々もいました。この回答を今後の授業の参考にいたします。
1F0903	英語 R 2 - 2	斎 孝則	意外なことに大半の質問に対する本科目の得点は、平均を上回っていました。思うに、学生自身が自分の学びを評価する最後の3問に対する高かったことが大きな要因だと思います。 今後とも、学生が「この授業は自分に有意義であった」と思える授業を心がけていきたい。
1F0904	英語 R 2 - 2	久木田 直江	アンケートにお答えいただきありがとうございます。 英語読解においても、内容においてもレベルの高い教材で授業をし、真摯に予習・復習をされる方々の姿が印象に残ります。試験では優れた答案が多々ありました。 これからもたくさんの英語文献に挑戦していただきたいです。みなさまの回答を今後の授業の参考にいたします。
1F1100	英語 W 2 - 2	遠藤 花子	アンケートにお答えいただき、ありがとうございました。概ねご満足して頂けたようで良かったです。これからも頑張ってください。
1F1103	英語 W 2 - 2	遠藤 花子	アンケートにお答えいただき、ありがとうございました。 概ねご満足して頂けたようで良かったです。これからも工夫しながら授業を進めていけるようにしたいと思います。
1F1500	英語文献を読むⅡ	遠藤 花子	アンケートにお答えいただき、ありがとうございました。 授業にご満足して頂けたようで良かったです。これからも工夫しながら授業を進めていけるようにしたいと思います。 みなさんと活発な意見交換ができて楽しかったです。
1F2800	語学研修	遠藤 花子	アンケートにお答えいただき、ありがとうございました。 楽しい研修となったようで良かったです。皆さんの経験を後輩にもお伝え頂きたいと思います。
1F3001	フランス語	木元 麻里	概ね良い評価をいただけたことに安堵するとともに、来年度に向けての課題も見えてきて、アンケートに感謝しています。特に授業内容の分かりやすさ、フランス語への興味の引き出し方、授業の分量・進度の調整については、皆さんの進み具合に合わせて適宜行っていきたいと思います。こうした改善によって、授業外の学修にも意欲を持ってもらえるようになればと期待しています。また、個別の感想も嬉しく読みました。その中で、自己紹介の発表をしてみたかったという意見もあり、今後はそうした個々の発表にも時間を割けるような授業構成を考えていきます。

1F3002	フランス語	木元 麻里	概ね良い評価をいただいて安堵しています。個別の回答も嬉しく読みました。皆さんのコメントを踏まえて、授業内容の分かりやすさやパワーポイントの使い方、音声の聞き取りやすさについて、さらに改善していきたいと思います。授業の分量や進度も、年度ごとに柔軟に調整しながら、授業外の学修にも意欲を持ってもらえるような授業にしていきたいと思います。
1H0400	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰ	井上明宏	オムニバス形式ですが、各担当講師それぞれの個性的な授業におおむね好評価をいただき、ありがとうございます。医師の外部講師によってわかりやすい人とそうでない人がいたとこのことで、フィードバックします。一方で、専門医の話はわかりやすく興味深かったというコメントもいただき、ありがとうございます。席によってスクリーンの見やすさが変わるのは大教室の場合やむを得ないかと思いますが、201教室は2026年度から設備が改善されています。
1H0501	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅱ	井上明宏	オムニバス形式ですが、実際の現場で臨床に携わる各担当講師それぞれの個性的な授業におおむね好評価をいただき、ありがとうございます。ペワワーク演習は、実際に自分で手を動かし考えてアウトプットする経験が理解に役立ったというコメントをいただきました。大学としてはアクティブラーニングを推進していますので、よかったと思います。
1H0502	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅱ	井上明宏	オムニバス形式ですが、実際の現場で臨床に携わる各担当講師それぞれの個性的な授業におおむね好評価をいただき、ありがとうございます。ペワワーク演習は、実際に自分で手を動かし考えてアウトプットする経験が理解に役立ったというコメントをいただきました。大学としてはアクティブラーニングを推進していますので、よかったと思います。
1H0600	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅲ	井上明宏	臨床現場での話、臨床医師の経験談、手術動画などが好評のようなので、今後も講師の先生にお伝えしておきます。各診療科の紹介があると嬉しいという希望がありましたので、次年度以降は、講師の先生にお伝えしておきます。
1H0700	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅳ	井上明宏	実際の疾患の画像や手術映像などが好評でした。オムニバス形式ということで、各専門の先生の話の聞いたことを評価していただきました。資料の文字が小さくて見難いというコメントがありましたので、改善に留意したいと思います。ただ、授業内容上、そこまで注意深く見る必要のないものもありますので、ポイントをつかむように意識してってください。
1H0800	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅴ	井上明宏	2年ぶりの専門医師の講義でしたが、現場経験を積んできた中で授業を受けたということで、満足度の高いコメントをいただきました。数か月後には臨床現場に出ることになる4年生に向けて意識された講義であることが評価されてよかったと思います。国試対策を意識していただいた先生もいらして、そこも有意義だったという感想があり、よかったです。
1H1300	栄養学	塩原 由香	9割以上の方が主体的な授業への取り組み、授業の理解、物事を深く捉えることについて「強くそう思う・そう思う」と回答されていました。しっかりと授業や個人レポートにも取り組んでいただけたと感じています。また、レポートの参考資料について教えていただきたいという意見がありましたので、授業内でも補足説明していきたいと思います。
1H1400	ラボラトリー・プラクティス	壹岐 聖子	令和7年度は32名と例年より多くの学生が履修し、実習中も積極的な質問が多く見られました。臨床検査の現場に関心をもって取り組んでいただき、教員として大変うれしく思います。アンケートでいただいたご意見も今後の授業改善に活かし、より実践的で理解しやすい講義・実習を目指していきます。
1H1500	薬理学	吉見 猛	毎年のことですが、授業の進み具合が早いとのコメントをいただきました。薬理学で学んでほしい範囲は広く、8回の講義では重要なポイントを教えるだけでも時間が足りないと思っています。そこで、今年度はさらにポイントを絞って講義をしようと考えています。また、ポイントを絞りすぎて薬理学の楽しさを伝えられなくなってしまうことは避けたいので十分配慮して講義をしたいと考えています。
1L0300	精神保健看護学・理論	鷹野朋実	授業改善アンケートへの回答をありがとうございました。資料のPDFデータへの書き込みができない点については、基本的に対面での授業中にパソコン等ではなくて考えながら手で書くという学習を大切にしたいという意図からです。一方で、資料は紙媒体での配布を希望される意見もいただきました。次年度以降は、書き込みが不要な紙媒体の授業資料を配布し、受講される皆さんはご自身で自由にパソコンに記述していただくスタイルがとれるようにしていきたいと思います。

1L0510	精神病態学	中野谷 貴子	貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。 いただいたご意見をもとに、次回の授業でさらなる改善を目指したいと思います。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。
1M1100	成育期看護学Ⅰ②	新田真弓	コメントありがとうございます。アクティブラーニングは、楽しんで学ぶ経験となったようで何よりでした。 授業の進め方、パワーポイントの活用方法については、見直してより分かりやすくなるように工夫していきます。
1M1400	成育期看護学Ⅱ②	山内 朋子	良い評価をいただきありがとうございます。コメントいただいた授業資料形式や成績評価方法について、学修効果等を踏まえて検討します。 皆さんからいただいたコメントを次年度に活かし、より良い授業にしていきます。
1M2200	成熟期看護学Ⅱ②	清田 明美	アンケートへの回答をありがとうございました。 みなさんが授業や課題に意欲的・積極的に取り組み、授業目的を達成されたと感じていることが大変よくわかり、うれしく思います。 みなさんからいただいたご意見について、以下のように検討していきたいとします。 各回の授業で進めるアセスメントについて、皆さんが頑張っており取り組んでいたことは提出されたアセスメントシートからもよくわかりました。その分、配点が少ないというご意見をいただきましたので、今後、領域内で検討していきたいとします。 授業資料についてはGlexaからダウンロードして授業に臨んでいただく形式をとっていますが、紙面で学びたい方の印刷時間を確保するために、資料は各講義の1週間前にはアップロードしています。各自ご判断いただき授業に臨んでいただければと思います。一部、穴埋め形式のpdf資料があり、書き込みができないのご意見をいただきました。資料作成にあたり、画面上でも理解が進むような工夫を検討していきたいとします。 また、一部の学生から、教員の説明により不快な思いをされたとの記載がありました。内容について領域内で共有し、今後の改善に努めてまいりたいと思います。 定期試験の前日まで授業が入っていたことについては、大学全体の時間割の検討となります。みなさんが定期試験で実力が発揮できるよう、教務係と話し合いながら調整していきたいとします。 今後も、学生が老年看護学の重要な知見を理解しながら、興味・関心をもって学べるような授業を工夫していきたいとします。
1O0100	地域看護学	石田 千絵	とても良く学んでくださったことが良くわかりました。 2年次以降は地域関連科目でもより詳細を学んでいただくことになります。一緒に学んでいけますこと楽しみにしております。
1O0200	公衆衛生看護活動論	吉川 悦子	アンケートご回答ありがとうございます。授業に真摯に取り組んでいただいていることが伝わる結果でした。 いただいた意見については、次年度の改善に取り入れてまいります。
1O0400	疫学	佐藤 潤	大学全体の平均と比較しても全体的に好意的な評価を受けたものと推察している。 一方で、「授業の内容に、興味関心が増した」の項目については、大学全体の平均よりも好意的に評価されているものの、当該科目としては他の項目と比して"強くそう思う"の回答割合がわずかに低かった。保健師課程を希望する学生が選択する科目という特性を鑑みると、次年度は事前課題や講義内において学生の興味・関心を惹起できるような工夫を取り入れる必要があるかと考える。
1O1100	在宅看護学概論Ⅱ	石田 千絵	皆様が意欲的・積極的に授業に取り組まれたことや、授業内容をしっかりと理解されていたこともわかりました。3年次・4年次の演習や実習にも学びを活かしていただけますと幸いです。
1P0100	看護管理学Ⅰ	安部・小川	授業改善アンケートに回答いただきありがとうございます。 資料やクイズの回答の提示方法を検討します。
1P0300	看護教育学Ⅰ	佐々木 幾美・西田 朋子	授業改善アンケートに回答くださり、ありがとうございます。58%の方にご回答をいただきました。自由記載はなかったのですが、科目平均得点からはよい評価をいただきましたと考えております。学生さん自身も意欲的・積極的に取り組まれたと自己評価されていることがわかりました。次年度も同様に進めていきたいと考えております。

1P0400	看護教育学Ⅱ	西田 朋子	履修をしていただき有難うございました。 アンケート結果もとてもよく、皆さんが意欲的に取り組んでくださったことが伝わってきました。 制度の話でもありわかりづらい点もあったかもしれませんが、「具体例を提示してくださったので理解が深まった」という意見もいただき、皆さんに伝わったことを嬉しく思います。 これからもわかりやすい授業を心がけていきます。
1R0200	国際看護学Ⅱ	野口眞貴子	カリキュラム改正により、時間割が変則的ななかでも、主体的に学修いただきました。
1R1100	災害看護学Ⅰ	織方 愛	災害看護学Ⅰのフィードバックをありがとうございました。75%の方がかいたくんだり、ほぼ100%の方が4か5に付けて下さっており、高い満足度が得られたこと嬉しく思います。 この科目は災害の概要を学び、2年次、3年次の選択科目（災害看護活動論Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ）、そして4年次の災害看護学Ⅱ、看護学総合実習（災害）に繋げる科目です。教員から災害現場における実践の話もしましたのでイメージもしやすくなったかなと思います。 改善したほうが良いと思った点について、「4分割の資料が見にくかった」とのご意見でした。こちらは印刷したい学生向けに4分割にしてみました。4分割と、全画面の資料と、2種類同じ資料をアップロードしていたのでそちらをご覧いただければよかったですと思いました。今後は全画面のみにしますね。 各回のリフレクションペーパーでも、学びを丁寧に振り返っており、さらに自身で調べたこと等も記載くださり、我々教員も学びになりました。ありがとうございました。選択科目（災害看護活動論Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ）の受講もお待ちしております。織方
1R1300	国際看護学	野口眞貴子	学生間での話し合いの時間をもっと必要とのご意見をいただきましたので、事業案に取り入れます。
1R1400	国際看護協働論	野口眞貴子	カリキュラム改正により、時間割が不規則となりました。そのため、グループ学習や最終レポートなどの時期が遅くなったことへのご意見をいただきました。次年度以降は、時間割構成が改善されます。
1T0110	研究方法論Ⅰ	田中 孝美	授業改善アンケートへのご協力とご意見をありがとうございました。 皆さんが各授業とレポート課題に取り組んでくださったこと、より分かりやすい授業と課題の提示、成績評価の配分について多くの貴重な意見をいただきました。 改善に向けて検討し、皆さんにとってよりよい科目になるようにしていきます。
1T0200	研究方法論Ⅱ	江本 リナ 他	授業評価アンケート結果より、みなさんが熱心に取り組まれたことがよく分かりました。 オフィスアワーが良かったという意見がある一方、研究計画書の完成形が分からないなかでコメントをいただいてもよく分からなかったという意見もありました。 模索しながら取り組まれたことが分かり、新カリにおいて理解しやすい具体例を取り入れたいと思います。 4年次で卒業研究に取り組むときに、この科目の意義に気づいていただけると幸いです。
1U0100	公衆衛生看護活動展開論	吉川 悦子	アンケートへの回答をありがとうございます。保健指導や保健だよりの作成など、公衆衛生看護活動の実践を想定した課題にしっかりと取り組んでいただき、そのような授業形態が良い評価につながったと考えております。 いただいた意見については、改善に向けて検討し、皆さんにとってよりよい科目になるようにしてまいります。

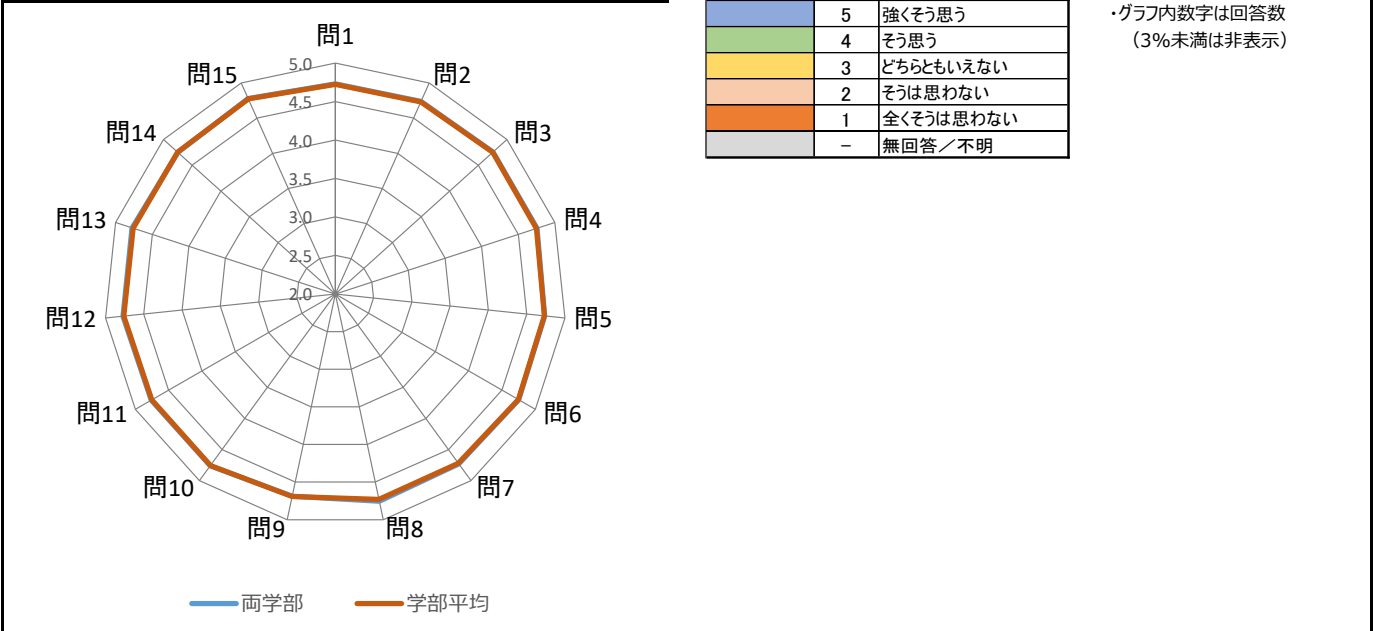
1U0700	公衆衛生看護方法論	佐藤 太地	履修生の皆さん、授業アンケートへのご協力ありがとうございました。 今回のアンケートでは自由記述欄への記載はありませんでしたが、全体の集計として、皆さんからおおむね大変良い評価をいただくことができました。担当教員として安堵するとともに、大変嬉しく思っています。 このような充実した授業・演習を作り上げることができたのは、何よりも皆さんが主体的かつ積極的に授業に取り組んでくれた結果だと感じています。特に、毎回の授業・演習に対する「事前準備」をしっかりと行い、学習後の「自己の振り返り」に真摯に向き合う姿勢が非常に印象的でした。皆さんのこうした高いモチベーションと前向きな学習態度が、クラス全体の学びの質を大きく引き上げてくれたと確信しています。 公衆衛生看護の実践においては、自ら情報を集めて状況をアセスメントし、実践後に振り返りを行って次の支援に活かすというプロセスが欠かせません。皆さんがこの授業で発揮してくれた主体性は、将来、地域や現場で活躍するための確かな基盤となります。 これからも、この素晴らしい姿勢を大切にしながら、さらなる学びを深めていってください。皆さんの積極的なご参加に心から感謝します。
--------	-----------	-------	--

学部名	看護学部	履修者数		回答率	
		回答数	紙	71.9%	71.9%
			WEB	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	学部平均	両学部
1	使用した教材(テキスト・配布資料・映像・事例・モデル等)は授業の理解に役立った。			459		152		4.72	4.73
2	教員によるデモンストレーション／ファシリテーション(進行)は適切だった。			468		140		4.73	4.74
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方等)は適切だった。			478		133		4.75	4.76
4	取り組む内容とその説明には一貫性が見られていた。			478		130		4.75	4.75
5	授業を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。			471		137		4.73	4.74
6	理論的な知識に加え、実践的レベルで授業内の課題に取り組むことができた。			472		138		4.75	4.75
7	学生への指示や配慮は適切だった。			469		135		4.72	4.73
8	グループ等の人数は適切だった。			473		133		4.73	4.75
9	時間配分は適切だった。			458		140		4.69	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。			479		131		4.75	4.76
11	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況であった。			475		136		4.75	4.76
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。			484		129		4.76	4.77
13	私は事前学修をして授業に臨んだ。			489		120		4.76	4.77
14	私は授業後に授業内容を復習した(オフィスアワーを含む)。			485		122		4.75	4.75
15	私は知識や能力を向上させるように取り組むことができた。			490		121		4.77	4.78
問1～15全問平均								4.74	4.75

■質問別得点



授業改善アンケート【演習】科目別集計

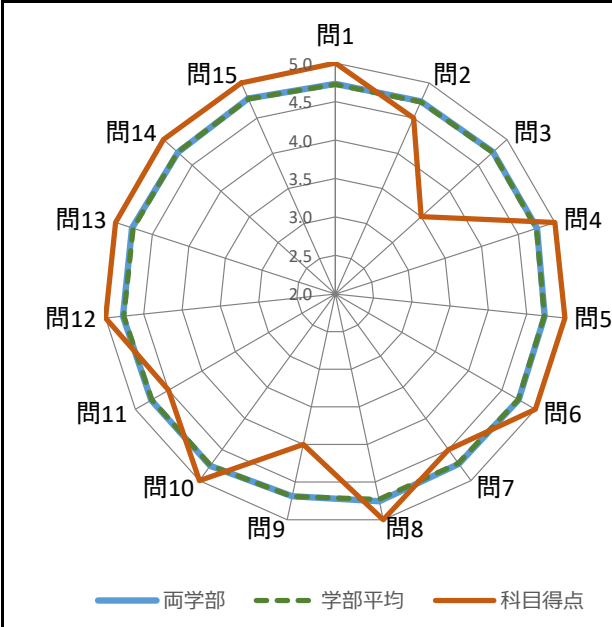
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	赤十字国際活動論演習		[1A0300]	履修者数	21	回答率	
教員名	角田 敦彦			紙	2	9.5%	9.5%
学部	看護学部	授業形態	演習	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	使用した教材(テキスト・配布資料・映像・事例・モデル等)は授業の理解に役立った。	2						5.00	4.72	4.73
2	教員によるデモンストレーション／ファシリテーション(進行)は適切だった。	1		1				4.50	4.73	4.74
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方等)は適切だった。	1		1				3.50	4.75	4.76
4	取り組む内容とその説明には一貫性が見られていた。	2						5.00	4.75	4.75
5	授業を通して、より興味をもち、深く学びたいと感ずることができた。	2						5.00	4.73	4.74
6	理論的な知識に加え、実践的レベルで授業内の課題に取り組むことができた。	1		1				5.00	4.75	4.75
7	学生への指示や配慮は適切だった。	1		1				4.50	4.72	4.73
8	グループ等の人数は適切だった。	2						5.00	4.73	4.75
9	時間配分は適切だった。	1		1				4.00	4.69	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	1		1				5.00	4.75	4.76
11	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況であった。	1		1				4.50	4.75	4.76
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	2						5.00	4.76	4.77
13	私は事前学修をして授業に臨んだ。	2						5.00	4.76	4.77
14	私は授業後に授業内容を復習した(オフィスアワーを含む)。	2						5.00	4.75	4.75
15	私は知識や能力を向上させるように取り組むことができた。	2						5.00	4.77	4.78
問1～15全問平均								4.73	4.74	4.75

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答／不明

<質問別回答内訳と得点>

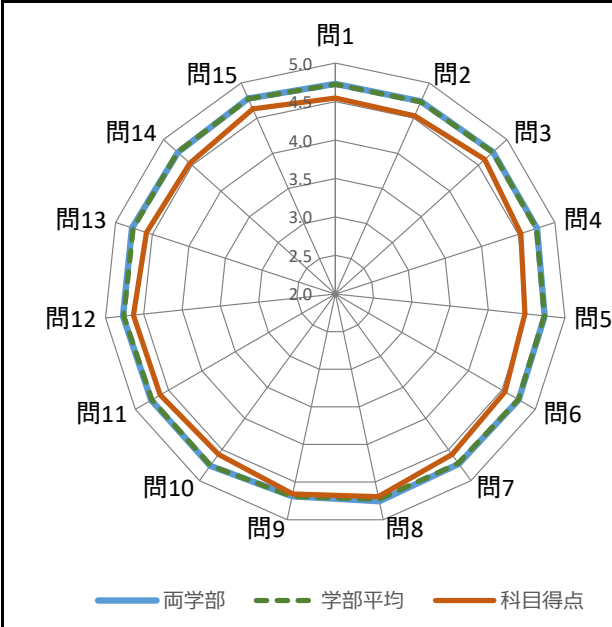
- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 $\leq$ 3.5

科目名	看護学概論Ⅱ		[110200]	履修者数	162	回答率	
教員名	川原 由佳里			紙	88	54.3%	54.3%
学部	看護学部	授業形態	演習	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	使用した教材(テキスト・配布資料・映像・事例・モデル等)は授業の理解に役立った。							4.55	4.72	4.73
2	教員によるデモンストレーション／ファシリテーション(進行)は適切だった。							4.53	4.73	4.74
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方等)は適切だった。							4.61	4.75	4.76
4	取り組む内容とその説明には一貫性が見られていた。							4.53	4.75	4.75
5	授業を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。							4.48	4.73	4.74
6	理論的な知識に加え、実践的レベルで授業内の課題に取り組むことができた。							4.55	4.75	4.75
7	学生への指示や配慮は適切だった。							4.58	4.72	4.73
8	グループ等の人数は適切だった。							4.69	4.73	4.75
9	時間配分は適切だった。							4.66	4.69	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.58	4.75	4.76
11	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況であった。							4.63	4.75	4.76
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.64	4.76	4.77
13	私は事前学修をして授業に臨んだ。							4.58	4.76	4.77
14	私は授業後に授業内容を復習した(オフィスアワーを含む)。							4.54	4.75	4.75
15	私は知識や能力を向上させるように取り組むことができた。							4.63	4.77	4.78
問1～15全問平均								4.58	4.74	4.75

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

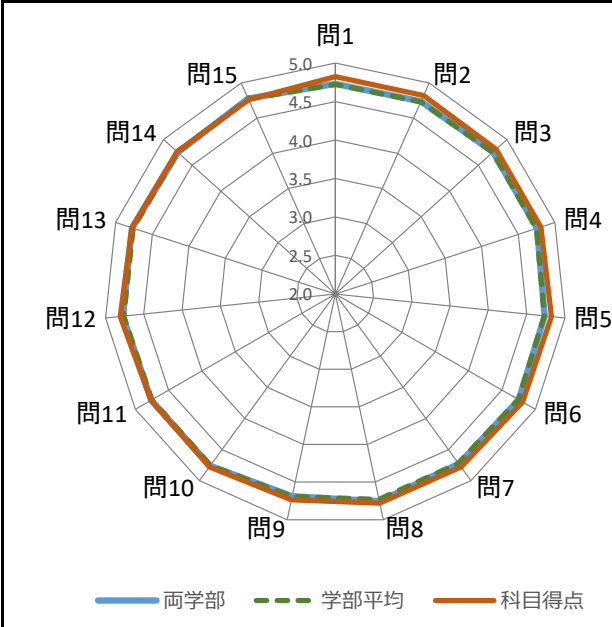
- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 $\leq$ 3.5

科目名	基盤臨床看護論Ⅱ①		[1J0801]	履修者数	80	回答率	
教員名	鬼頭 幸子			紙	68	85.0%	85.0%
学部	看護学部	授業形態	演習	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	使用した教材(テキスト・配布資料・映像・事例・モデル等)は授業の理解に役立った。									

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【演習】科目別集計

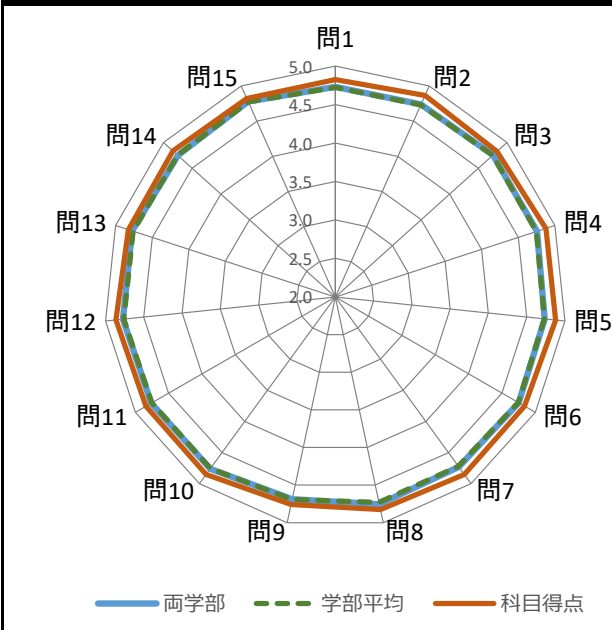
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	基盤臨床看護論Ⅱ①	[1J0802]	履修者数	78	回答率	
教員名	鬼頭 幸子		紙	74	94.9%	94.9%
学部	看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	使用した教材(テキスト・配布資料・映像・事例・モデル等)は授業の理解に役立った。					61	13	4.82	4.72	4.73
2	教員によるデモンストレーション／ファシリテーション(進行)は適切だった。					64	10	4.86	4.73	4.74
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方等)は適切だった。					61	13	4.82	4.75	4.76
4	取り組む内容とその説明には一貫性が見られていた。					65	9	4.88	4.75	4.75
5	授業を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。					65	9	4.88	4.73	4.74
6	理論的な知識に加え、実践的レベルで授業内の課題に取り組むことができた。					63	10	4.84	4.75	4.75
7	学生への指示や配慮は適切だった。					63	11	4.85	4.72	4.73
8	グループ等の人数は適切だった。					62	11	4.82	4.73	4.75
9	時間配分は適切だった。					57	16	4.76	4.69	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。					63	11	4.85	4.75	4.76
11	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況であった。					62	12	4.84	4.75	4.76
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。					64	10	4.86	4.76	4.77
13	私は事前学修をして授業に臨んだ。					61	13	4.82	4.76	4.77
14	私は授業後に授業内容を復習した(オフィスアワーを含む)。					62	12	4.84	4.75	4.75
15	私は知識や能力を向上させるように取り組むことができた。					61	13	4.82	4.77	4.78
問1～15全問平均								4.84	4.74	4.75

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答／不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 $\leq$ 3.5

授業改善アンケート【演習】科目別集計

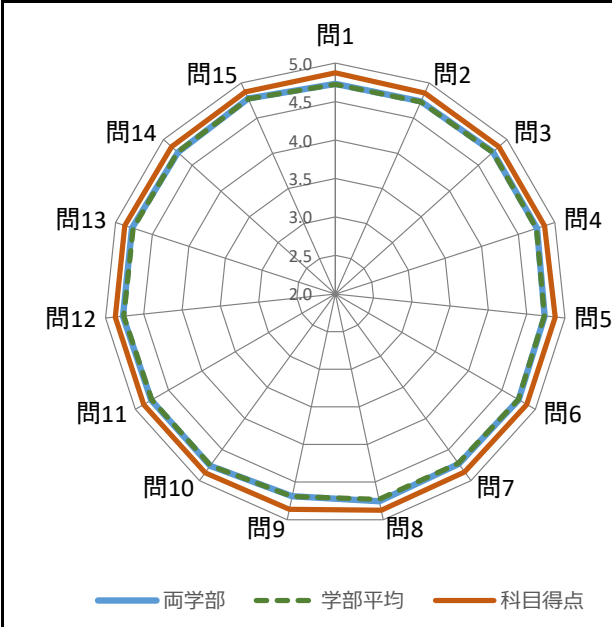
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	基盤臨床看護論Ⅲ②	[1J1101]	履修者数	80	回答率		
教員名	遠山 義人		回答数	紙 71	88.8%	88.8%	
学部	看護学部	授業形態	演習	WEB 0	0.0%		

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	使用した教材(テキスト・配布資料・映像・事例・モデル等)は授業の理解に役立った。					63	7	4.87	4.72	4.73
2	教員によるデモンストレーション／ファシリテーション(進行)は適切だった。					62	8	4.86	4.73	4.74
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方等)は適切だった。					62	8	4.86	4.75	4.76
4	取り組む内容とその説明には一貫性が見られていた。					62	8	4.86	4.75	4.75
5	授業を通して、より興味をもち、深く学びたいと感ずることができた。					63	7	4.87	4.73	4.74
6	理論的な知識に加え、実践的レベルで授業内の課題に取り組むことができた。					63	7	4.87	4.75	4.75
7	学生への指示や配慮は適切だった。					62	8	4.86	4.72	4.73
8	グループ等の人数は適切だった。					63	7	4.87	4.73	4.75
9	時間配分は適切だった。					62	8	4.86	4.69	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。					63	7	4.87	4.75	4.76
11	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況であった。					63	7	4.87	4.75	4.76
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。					63	7	4.87	4.76	4.77
13	私は事前学修をして授業に臨んだ。					63	7	4.87	4.76	4.77
14	私は授業後に授業内容を復習した(オフィスアワーを含む)。					62	8	4.86	4.75	4.75
15	私は知識や能力を向上させるように取り組むことができた。					63	7	4.87	4.77	4.78
問1～15全問平均								4.87	4.74	4.75

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答／不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 $\leq$ 3.5

授業改善アンケート【演習】科目別集計

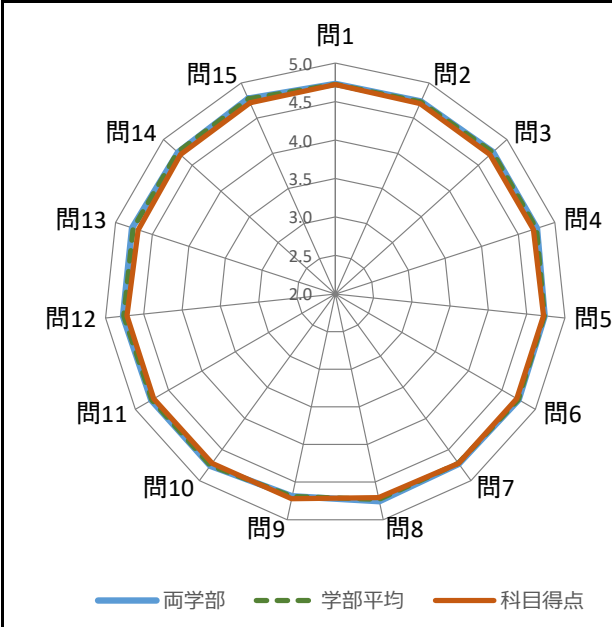
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	基盤臨床看護論Ⅲ②	[1J1102]	履修者数	78	回答率		
教員名	遠山 義人		回答数	紙 68	87.2%	87.2%	
学部	看護学部	授業形態	演習	WEB 0	0.0%		

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	使用した教材(テキスト・配布資料・映像・事例・モデル等)は授業の理解に役立った。			49		19		4.72	4.72	4.73
2	教員によるデモンストレーション／ファシリテーション(進行)は適切だった。			48		20		4.71	4.73	4.74
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方等)は適切だった。			48		20		4.71	4.75	4.76
4	取り組む内容とその説明には一貫性が見られていた。			48		20		4.71	4.75	4.75
5	授業を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。			49		19		4.72	4.73	4.74
6	理論的な知識に加え、実践的レベルで授業内の課題に取り組むことができた。			49		19		4.72	4.75	4.75
7	学生への指示や配慮は適切だった。			49		19		4.72	4.72	4.73
8	グループ等の人数は適切だった。			48		20		4.71	4.73	4.75
9	時間配分は適切だった。			49		19		4.72	4.69	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。			49		19		4.72	4.75	4.76
11	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況であった。			49		19		4.72	4.75	4.76
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。			49		19		4.72	4.76	4.77
13	私は事前学修をして授業に臨んだ。			48		19		4.69	4.76	4.77
14	私は授業後に授業内容を復習した(オフィスアワーを含む)。			48		20		4.71	4.75	4.75
15	私は知識や能力を向上させるように取り組むことができた。			49		19		4.72	4.77	4.78
問1～15全問平均								4.71	4.74	4.75

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答／不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 $\leq$ 3.5

授業改善アンケート【演習】科目別集計

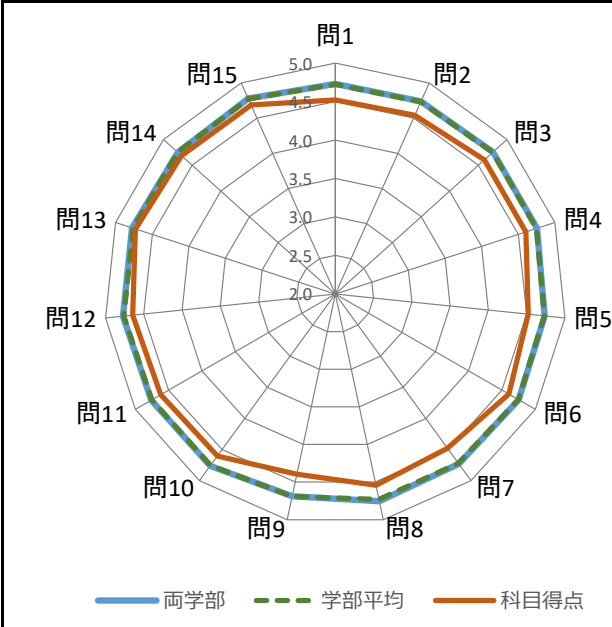
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	基盤臨床看護論Ⅴ		[1J1401]	履修者数	74	回答率	
教員名	樋口 佳栄			紙	48	64.9%	64.9%
学部	看護学部	授業形態	演習	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	使用した教材(テキスト・配布資料・映像・事例・モデル等)は授業の理解に役立った。	28	17	3				4.52	4.72	4.73
2	教員によるデモンストレーション／ファシリテーション(進行)は適切だった。	29	16	3				4.54	4.73	4.74
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方等)は適切だった。	29	19					4.60	4.75	4.76
4	取り組む内容とその説明には一貫性が見られていた。	29	19					4.60	4.75	4.75
5	授業を通して、より興味をもち、深く学びたいと感ずることができた。	28	17	3				4.52	4.73	4.74
6	理論的な知識に加え、実践的レベルで授業内の課題に取り組むことができた。	30	17					4.60	4.75	4.75
7	学生への指示や配慮は適切だった。	28	17	2				4.48	4.72	4.73
8	グループ等の人数は適切だった。	28	18	2				4.54	4.73	4.75
9	時間配分は適切だった。	26	17	3	2			4.40	4.69	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	30	17					4.60	4.75	4.76
11	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況であった。	30	16					4.62	4.75	4.76
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	32	15					4.65	4.76	4.77
13	私は事前学修をして授業に臨んだ。	35	13					4.73	4.76	4.77
14	私は授業後に授業内容を復習した(オフィスアワーを含む)。	34	13					4.69	4.75	4.75
15	私は知識や能力を向上させるように取り組むことができた。	34	13					4.69	4.77	4.78
問1～15全問平均								4.59	4.74	4.75

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答／不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 $\leq$ 3.5

授業改善アンケート【演習】科目別集計

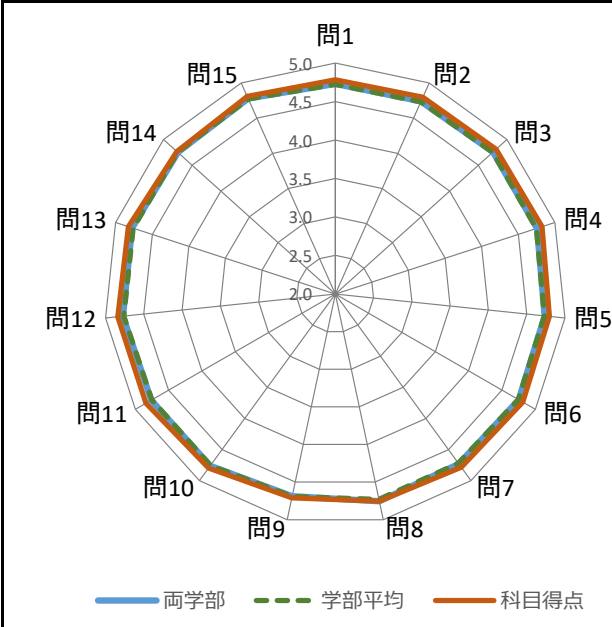
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	基盤臨床看護論Ⅴ		[1J1402]	履修者数	76	回答率	
教員名	樋口 佳栄			紙	69	90.8%	90.8%
学部	看護学部	授業形態	演習	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	使用した教材(テキスト・配布資料・映像・事例・モデル等)は授業の理解に役立った。									

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

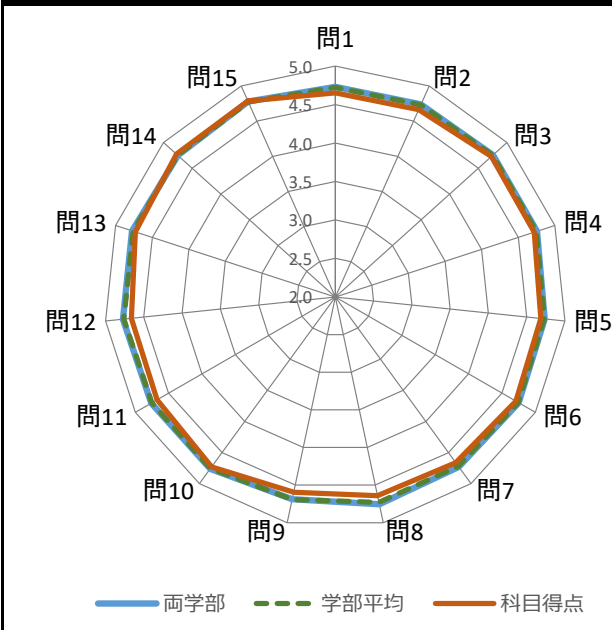
- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 $\leq$ 3.5

科目名	在宅看護学演習 I		[101200]	履修者数	165	回答率	
教員名	佐藤 太地			紙	89	53.9%	53.9%
学部	看護学部	授業形態	演習	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	使用した教材(テキスト・配布資料・映像・事例・モデル等)は授業の理解に役立った。							4.65	4.72	4.73
2	教員によるデモンストレーション／ファシリテーション(進行)は適切だった。							4.66	4.73	4.74
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方等)は適切だった。							4.73	4.75	4.76
4	取り組む内容とその説明には一貫性が見られていた。							4.72	4.75	4.75
5	授業を通して、より興味をもち、深く学びたいと感ずることができた。							4.69	4.73	4.74
6	理論的な知識に加え、実践的レベルで授業内の課題に取り組むことができた。							4.71	4.75	4.75
7	学生への指示や配慮は適切だった。							4.66	4.72	4.73
8	グループ等の人数は適切だった。							4.64	4.73	4.75
9	時間配分は適切だった。							4.60	4.69	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.73	4.75	4.76
11	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況であった。							4.67	4.75	4.76
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.66	4.76	4.77
13	私は事前学修をして授業に臨んだ。							4.73	4.76	4.77
14	私は授業後に授業内容を復習した(オフィスアワーを含む)。							4.78	4.75	4.75
15	私は知識や能力を向上させるように取り組むことができた。							4.79	4.77	4.78
問1～15全問平均								4.69	4.74	4.75

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 $\leq$ 3.5

授業改善アンケート【演習】科目別集計

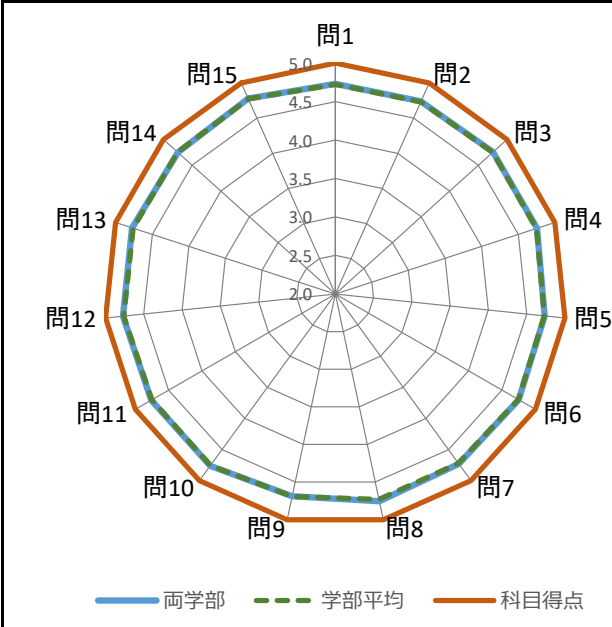
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	国際看護学演習 [1R0300]		履修者数	6	回答率	
教員名	織方 愛		回答数	紙 5	83.3%	83.3%
学部	看護学部	授業形態	演習	WEB 0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	使用した教材(テキスト・配布資料・映像・事例・モデル等)は授業の理解に役立った。			5				5.00	4.72	4.73
2	教員によるデモンストレーション／ファシリテーション(進行)は適切だった。			5				5.00	4.73	4.74
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方等)は適切だった。			5				5.00	4.75	4.76
4	取り組む内容とその説明には一貫性が見られていた。			5				5.00	4.75	4.75
5	授業を通して、より興味をもち、深く学びたいと感ずることができた。			5				5.00	4.73	4.74
6	理論的な知識に加え、実践的レベルで授業内の課題に取り組むことができた。			5				5.00	4.75	4.75
7	学生への指示や配慮は適切だった。			5				5.00	4.72	4.73
8	グループ等の人数は適切だった。			5				5.00	4.73	4.75
9	時間配分は適切だった。			5				5.00	4.69	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。			5				5.00	4.75	4.76
11	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況であった。			5				5.00	4.75	4.76
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。			5				5.00	4.76	4.77
13	私は事前学修をして授業に臨んだ。			5				5.00	4.76	4.77
14	私は授業後に授業内容を復習した(オフィスアワーを含む)。			5				5.00	4.75	4.75
15	私は知識や能力を向上させるように取り組むことができた。			5				5.00	4.77	4.78
問1～15全問平均								5.00	4.74	4.75

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答／不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 $\leq$ 3.5

授業改善アンケート【演習】科目別集計

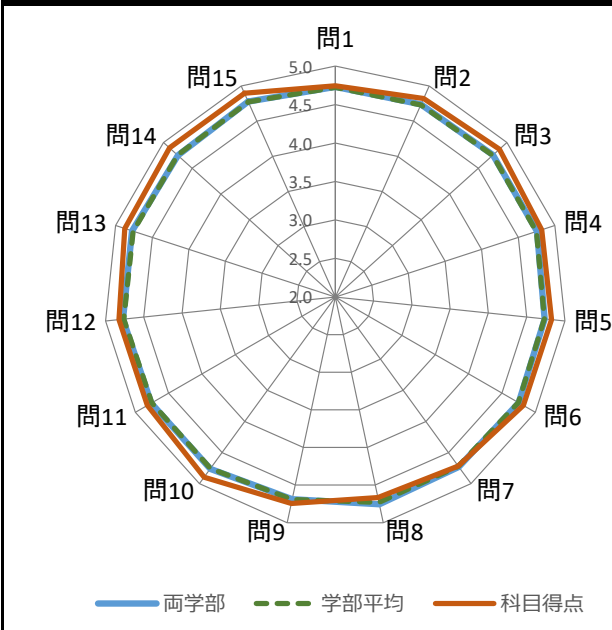
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	災害看護活動論Ⅱ		[1R0700]	履修者数	45	回答率	
教員名	織方 愛			紙	40	88.9%	88.9%
学部	看護学部	授業形態	演習	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部		
1	使用した教材(テキスト・配布資料・映像・事例・モデル等)は授業の理解に役立った。	29						10	4.74	4.72	4.73	
2	教員によるデモンストレーション／ファシリテーション(進行)は適切だった。	32						7	4.82	4.73	4.74	
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方等)は適切だった。	34						5	4.87	4.75	4.76	
4	取り組む内容とその説明には一貫性が見られていた。	33						5	4.82	4.75	4.75	
5	授業を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	33						7	4.83	4.73	4.74	
6	理論的な知識に加え、実践的レベルで授業内の課題に取り組むことができた。	32						7	4.82	4.75	4.75	
7	学生への指示や配慮は適切だった。	32						4	2	4.72	4.72	4.73
8	グループ等の人数は適切だった。	31						5	2	4.67	4.73	4.75
9	時間配分は適切だった。	32						5	1	4.74	4.69	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	35						4	4.90	4.75	4.76	
11	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況であった。	32						7	4.82	4.75	4.76	
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	33						7	4.83	4.76	4.77	
13	私は事前学修をして授業に臨んだ。	35						5	4.88	4.76	4.77	
14	私は授業後に授業内容を復習した(オフィスアワーを含む)。	35						4	4.90	4.75	4.75	
15	私は知識や能力を向上させるように取り組むことができた。	35						4	4.90	4.77	4.78	
問1～15全問平均								4.82	4.74	4.75		

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答／不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 $\leq$ 3.5

科目コード	科目名	教員名	コメント（1000文字以内）
1A0300	赤十字国際活動論演習	角田 敦彦	今回は演習参加後、かなり時間が経過した後のアンケートということもあり、回答者が少なかったことが残念でした。 演習後、参加者が国際的な活動に関心を持ち、より深く学ぶ気持ちになってくれたことは科目担当者としてもうれしく思いました。 また、学生も事前・事後学習に意欲的に取り組んだ様子うかがえました。 今後の演習の企画に、今回のご意見を生かしていきたいと思います。
1I0200	看護学概論Ⅱ	川原 由佳里他	実習で印象に残った出来事をもとに看護と倫理についてディスカッションする授業をしています。大勢の人数での授業で、グループワークが散漫になりがちであると感じています。効果的な学習方法について検討してまいりたいと思います。
1J0801	基盤臨床看護論Ⅱ①	鬼頭 幸子	授業改善アンケートにご回答いただきありがとうございました。みなさんが楽しく、熱心に授業を受けてくださり、多くの学びを得たことがアンケート結果から伝わり、嬉しく思っております。デモンストレーションについては、これからも実践的な内容で、看護師の思考とともに一覧の流れを学ぶことができるようにしたいと思います。看護技術チェックは、教員間で統一した評価ができるように検討し、より良い授業運営に取り組んでまいります。
1J0802	基盤臨床看護論Ⅱ①	鬼頭 幸子	授業改善アンケートにご回答いただきありがとうございました。みなさんが楽しく、熱心に授業を受けてくださり、多くの学びを得たことがアンケート結果から伝わり、嬉しく思っております。デモンストレーションについては、これからも実践的な内容で、看護師の思考とともに一覧の流れを学ぶことができるようにしたいと思います。看護技術チェックは、教員間で統一した評価ができるように検討し、より良い授業運営に取り組んでまいります。
1J1101	基盤臨床看護論Ⅲ②	遠山 義人	授業改善アンケートへご回答いただきありがとうございました。 皆さんが一所懸命にかつ楽しく取り組んでいただけたということが演習中の雰囲気、そしてアンケート結果より伝わり、担当教員一同とても嬉しく感じております。 本科目では、「技術を通して相手をケアするとはどういうことか」、という視点で一緒に走ってまいりました。皆さんにとって本演習が、方法を知ることだけでなく看護技術の大事な部分を感じ考える時間となっていると嬉しいです。これからも教員と一緒により良い看護を考えていきましょう。 この度はたくさんのご感想をありがとうございました。
1J1102	基盤臨床看護論Ⅲ②	遠山 義人	授業改善アンケートへご回答いただきありがとうございました。 皆さんが一所懸命にかつ楽しく取り組んでいただけたということが演習中の雰囲気、そしてアンケート結果より伝わり、担当教員一同とても嬉しく感じております。 本科目では、「技術を通して相手をケアするとはどういうことか」、という視点で一緒に走ってまいりました。皆さんにとって本演習が、方法を知ることだけでなく看護技術の大事な部分を感じ考える時間となっていると嬉しいです。これからも教員と一緒により良い看護を考えていきましょう。 この度はたくさんのご感想をありがとうございました。
1J1401	基盤臨床看護論Ⅴ	樋口佳栄	受講してくださった皆さま 今年度から始まりました科目でしたので、皆さんのリフレクションを頼りに進めてまいりました。概ね、良い評価をしてくださり、よかったなあと感じております。 最初に、この科目は基盤臨床看護論科目のまとめの科目ということはお伝えしておりました。 皆さん、授業や実習を重ねてきて、本当に成長されたなあということが実感できた科目でもありました。 グループで進める部分も多かったので、ご負担に感じられた時もあったようです。課題の量や活用の仕方などにもご意見をいただきました。大変ありがとうございました。今後も皆さんの成長によりつながるような授業展開に活かしてまいります。 受講してくださった皆さん、評価をしてくださいましたすべての皆さんに心より感謝いたします。ありがとうございました。

1J1402	基盤臨床看護論Ⅴ	樋口佳栄	受講して下さった皆さま 今年度から始まりました科目でしたので、皆さんのリフレクションを頼りに進めてまいりました。概ね、良い評価をしてくださり、よかったなあと感じております。最初に、この科目は基盤臨床看護論科目のまとめの科目ということはお伝えしておりました。 皆さん、授業や実習を重ねてきて、本当に成長されたなあということが実感できた科目でもありました。 グループで進める部分も多かったので、ご負担に感じられた時もあったようです。課題の量や活用の仕方などにもご意見をいただきました。大変ありがとうございました。今後も皆さんの成長によりつなげるような授業展開に活かしてまいります。 受講して下さった皆さん、評価をしてくださいましたすべての皆さんに心より感謝いたします。ありがとうございました。
101200	在宅看護学演習Ⅰ	佐藤 太地	アンケートへのご協力ありがとうございました。いただいた貴重なご意見を教員間で共有し、以下の通り回答いたします。 【1. 授業の良かった点】 「在宅で暮らす方の視点で実践的に学べた」「演習により理解が深まった」というご意見をいただき嬉しく思います。対象者を生活者として捉える視点は在宅看護の要です。資料の見やすさや環境づくりへの好評も励みとし、今後も皆さんの学びが深まる工夫を続けていきます。 【2. 改善要望と今後の対応】 建設的なご意見を真摯に受け止め、以下の通り改善や対応を図ります。 ① グループワークの参加状況と出席確認 「参加せず発表だけ来る人がいるため、出欠確認をしてほしい」とのご指摘がありました。一部の方に負担が偏ってしまったことについて、運営の配慮が至らず申し訳ありません。今後は、中抜け等を防ぎつつ、皆さんが演習に集中しやすい雰囲気の中で出欠を確認できるよう、確認のタイミングや方法を工夫します。 ② 教員による評価の公平性 「担当教員が違うため評価の公平性に疑問がある」との点について、不安を与えてしまいました。評価にあたっては、教員間で共通の基準を用いてすり合わせを行っています。当日の発表パフォーマンスだけで評価するのではなく、作成した資料の中身を含めて総合的・多角的に評価しています。さらに、担当教員間の採点のばらつきが出ないよう点数の補正・調整も行っております。 ③ 発表準備と質疑応答の仕組み 「準備時間を増やしてほしい」「質問するグループを指定してほしい」というご提案について、準備時間は次年度のスケジュールで見直しを検討します。質疑応答については、質問担当グループを割り当てる方法のほか、リアルタイムでコメントを共有できるシステムの活用など、全員が双方向に学べる発表形式を検討していきます。 ④ 講義の日程 「試験前日に講義を入れないでほしい」とのご要望は、学年暦等の兼ね合いで完全に避けるのが難しい場合がありますが、教務とも連携し、負担軽減に努めます。 皆さんの「より良い演習にしたい」という真摯なご意見に感謝します。いただいた意見を大切に、主体的に学べる授業づくりに努めていきます。

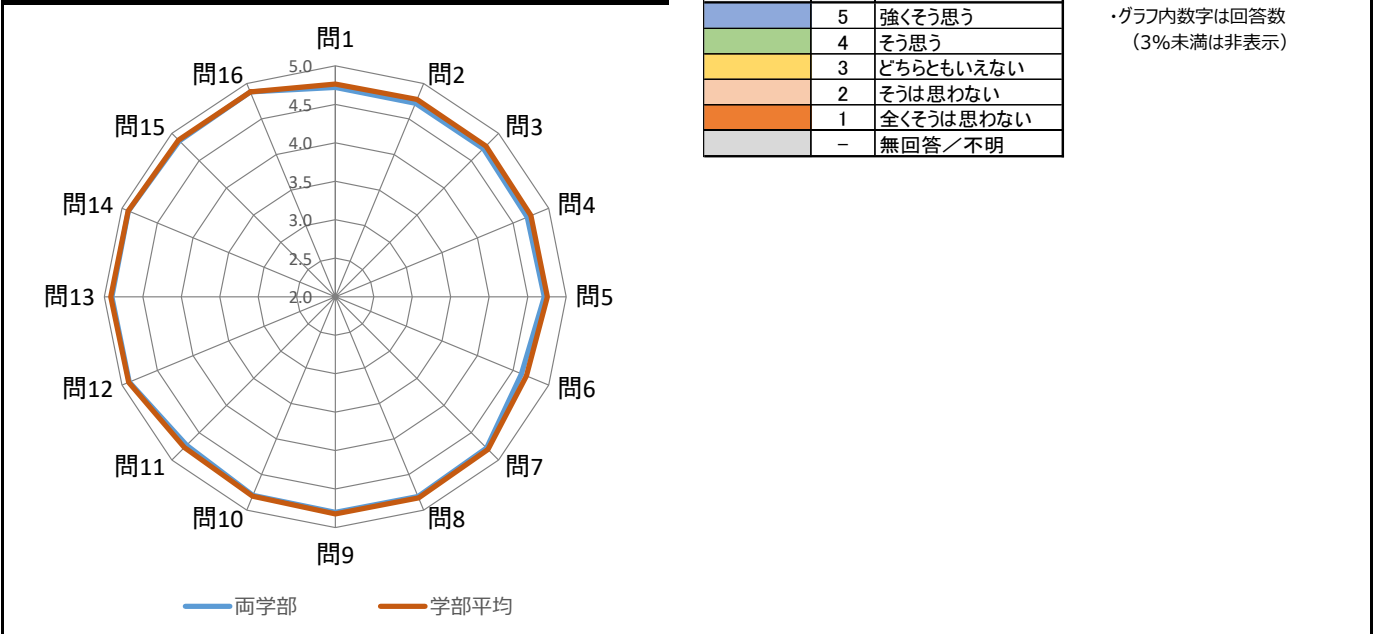
1R0300	国際看護学演習	織方 愛	フィードバックをありがとうございました。 まず、良いと思った点について、さいたま看護学部との交流、災害看護学院生との交流を挙げてくださいました。これは他の科目にはない良い点です。このようなキャンパスや年代、経験の異なる多様な学生同士の交流を狙っておりました。皆さんが積極的に異なるキャンパスの学生や院生と交流しようとしたことで良い効果が生まれました。今後も是非このご縁を繋いでいってください。 インドネシアの現地の方がたと交流の機会が多かったことも挙げてくださいました。こちらもしっかりインドネシアまで渡航するので、なるべく現地の方がたと交流してもらいたかったですし、皆さんも積極的にコミュニケーションを取ってください嬉しく思います。 観光では行けない場所（インドネシア赤十字社、民家、小学校など）へ行けたことが良かったとのこと、こちらも赤十字の大学ならではの赤十字社訪問等、観光にはない付加価値としてのプログラムが評価されありがたいです。 費用が高かったが飛行機、ホテル、食事についても良かったとのコメントがありました。安全管理上、飛行機、宿泊場所、訪問場所、食事環境については事前打合せでかなり細かく依頼をしています、その分アレンジ費用は掛かりますが、学生が安全に演習に集中できるように必要最低限のコストで実施できるよう継続していきます。 改善事項として、食事の辛さや量、ホテルでの虫出現、買い物の時間の短さ、病院訪問希望が挙げられました。食事やホテルに関しては辛い調味料は別添えと依頼していますが、現地の辛さの標準と異なるということも含めて学ばれた様子が伝わりました。改善可能なところは依頼していきます。虫についてはあらかじめお伝えしていましたが、日本と異なる家屋構造や虫の種類の違いなど驚かれたかもしれません。オリエンテーションでもより詳しくお伝えするようにします。買い物時間の短さについては、直前のプログラムが長引いたこともあり1時間としましたが、確かに短かったかもしれません。次回はもう少し時間を取るよう調整します。
1R0700	災害看護活動論Ⅱ	織方 愛	災害看護活動論Ⅱを選択して下さいありがとうございました。 良かった点として、演習が活発にあるので楽しく学べたこと、資格を取得できてよかったとの意見がありました。演習科目は皆さんの主体的な参加によって活発になりました。今後もその積極的な姿勢で学び続けて行ってください。資格は健康生活支援講習で得られましたね、おめでとうございます。看護学生には馴染みのある内容も多かったと思いますが、災害看護でこれを実施する理由は、日常生活の支援の視点が、災害時には不可欠ということからです。是非、皆様も普段の自分の生活を大切に送り、被災された方の生活の困りごとに気が付ける感性を養ってってください。 避難所生活の再現では皆さんも体験の様子を言語化して下さい、少しでも被災者の生活を体験し必要なことについて考えてくれて良かったです。 床にずっと座るのはきついという意見もありました。椅子を出すことも考えたのですが、演習のほとんどが床を使用したもので下。健康生活支援講習の講師とも共有し次回に活かしたいと思います。ありがとうございました。

学部名	看護学部	履修者数		1395	回答率	
		回答数	紙	1039	74.5%	74.5%
			WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。			830			179	4.76	4.72
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。			850			155	4.77	4.72
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。			846			160	4.77	4.72
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。			849			142	4.75	4.70
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。			868			117	4.76	4.72
6	教員と実習指導の連携が取れていた。			818		148	46	4.69	4.62
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。			879			132	4.81	4.78
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。			888			131	4.83	4.81
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。			885			130	4.82	4.80
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。			881			125	4.81	4.79
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。			866			128	4.77	4.73
12	私は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。			945			89	4.91	4.90
13	私は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。			955			79	4.92	4.90
14	私は、実習目標に到達できるよう努力した。			948			89	4.91	4.91
15	私は、自ら指導・支援を求めることができた。			919			111	4.88	4.86
16	私は、体調管理に努めた。			937			87	4.88	4.88
問1～16全問平均								4.81	4.79

■学部平均と両平均との比較

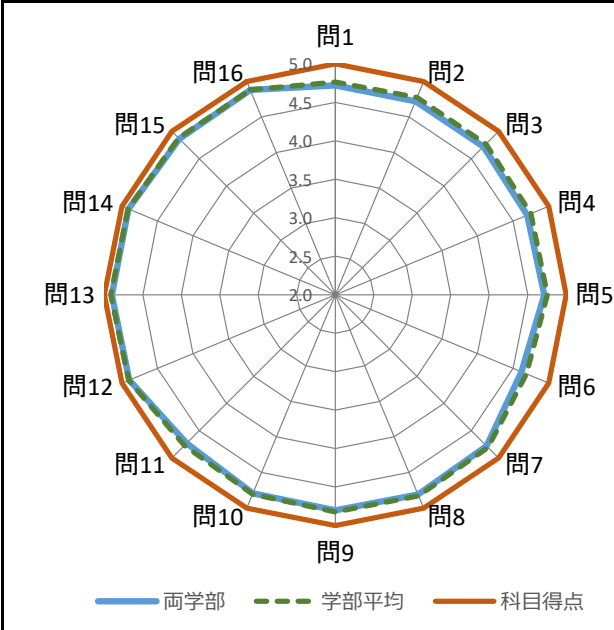


科目名	看護援助論実習[レベルⅡ]		[1S0200]	履修者数	4	回答率	
教員名	本庄 恵子			回答数	紙	1	25.0%
学部	看護学部	授業形態	実習		WEB	0	0.0%

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。			1				5.00	4.76	4.72
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。			1				5.00	4.77	4.72
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。			1				5.00	4.77	4.72
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。			1				5.00	4.75	4.70
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。			1				5.00	4.76	4.72
6	教員と実習指導の連携が取れていた。			1				5.00	4.69	4.62
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。			1				5.00	4.81	4.78
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。			1				5.00	4.83	4.81
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。			1				5.00	4.82	4.80
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。			1				5.00	4.81	4.79
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。			1				5.00	4.77	4.73
12	私は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。			1				5.00	4.91	4.90
13	私は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。			1				5.00	4.92	4.90
14	私は、実習目標に到達できるよう努力した。			1				5.00	4.91	4.91
15	私は、自ら指導・支援を求めることができた。			1				5.00	4.88	4.86
16	私は、体調管理に努めた。			1				5.00	4.88	4.88
問1～16全問平均								5.00	4.81	4.79

■科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～16
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	—	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

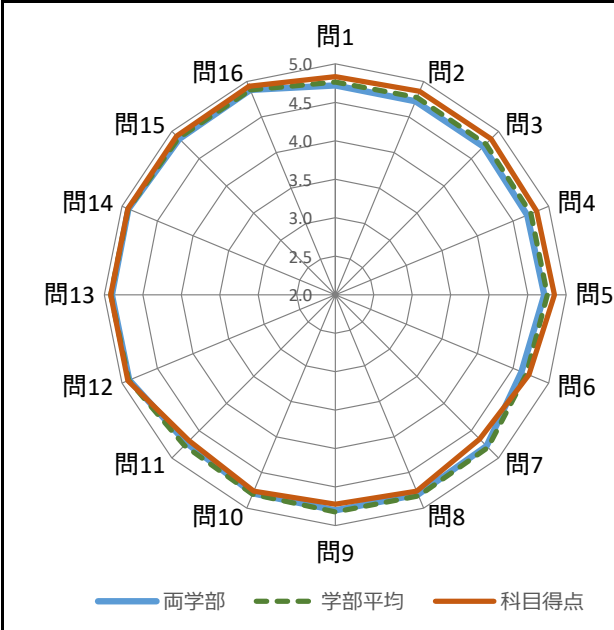
- ・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは
科目得点≤3.5

科目名	精神保健看護学実習〔レベルⅢ〕		[1S0300]	履修者数	131	回答率	
教員名	鷹野 朋実			紙	73	55.7%	55.7%
学部	看護学部	授業形態	実習	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部	
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。								4.83	4.76	4.72
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。								4.86	4.77	4.72
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。								4.86	4.77	4.72
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。								4.83	4.75	4.70
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。								4.85	4.76	4.72
6	教員と実習指導の連携が取れていた。								4.72	4.69	4.62
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。								4.65	4.81	4.78
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。								4.76	4.83	4.81
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。								4.72	4.82	4.80
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。								4.76	4.81	4.79
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。								4.68	4.77	4.73
12	私は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。								4.92	4.91	4.90
13	私は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。								4.92	4.92	4.90
14	私は、実習目標に到達できるよう努力した。								4.92	4.91	4.91
15	私は、自ら指導・支援を求めることができた。								4.92	4.88	4.86
16	私は、体調管理に努めた。								4.93	4.88	4.88
問1～16全問平均								4.82	4.81	4.79	

■科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～16
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは
科目得点 $\leq$ 3.5

授業改善アンケート【実習】科目別集計

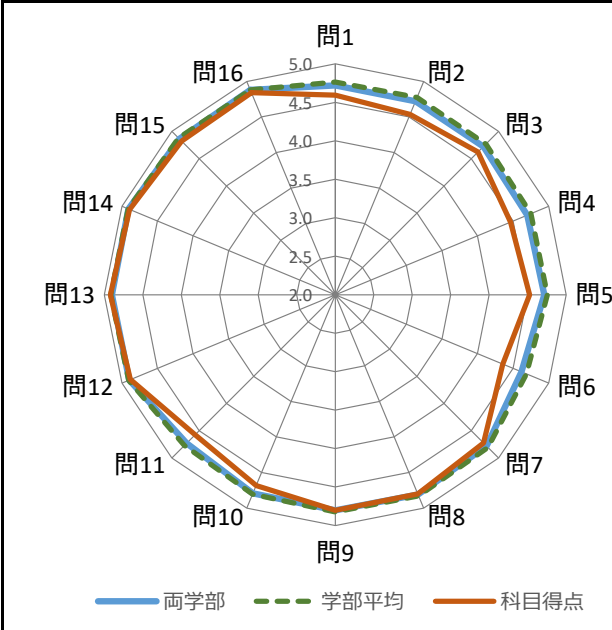
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	発達看護学Ⅰ実習〔レベルⅢ〕		[1S0400]	履修者数	129	回答率	
教員名	新田 真弓			紙	101	78.3%	78.3%
学部	看護学部	授業形態	実習	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	71	22	5				4.59	4.76	4.72
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	70	19	8	4			4.53	4.77	4.72
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	71	24	4				4.62	4.77	4.72
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	70	15	10	5			4.47	4.75	4.70
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	75	14	5	4			4.52	4.76	4.72
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	64	20	8	7			4.36	4.69	4.62
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	76	22					4.72	4.81	4.78
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	82	18					4.80	4.83	4.81
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	81	20					4.80	4.82	4.80
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	76	18	7				4.68	4.81	4.79
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	70	20	10				4.57	4.77	4.73
12	私は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	89	12					4.88	4.91	4.90
13	私は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	93	8					4.92	4.92	4.90
14	私は、実習目標に到達できるよう努力した。	90	11					4.89	4.91	4.91
15	私は、自ら指導・支援を求めることができた。	86	12					4.82	4.88	4.86
16	私は、体調管理に努めた。	88	11					4.84	4.88	4.88
問1～16全問平均								4.69	4.81	4.79

■科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～16
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	無回答/不明	

<質問別回答内訳と得点>

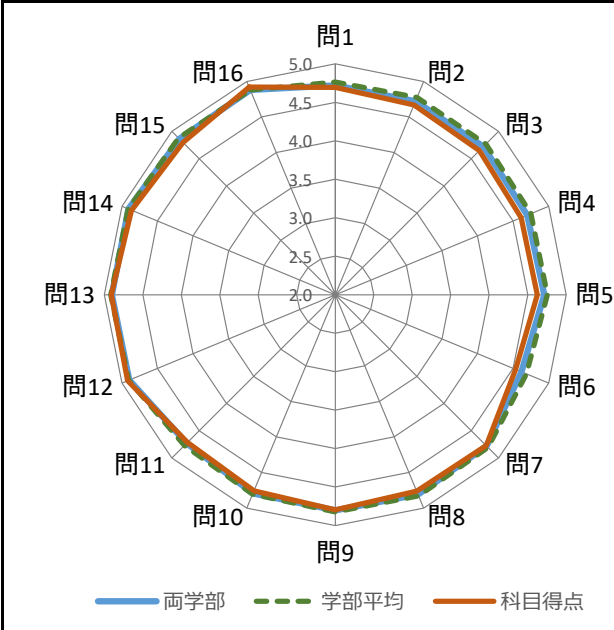
- ・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは
科目得点 ≤ 3.5

科目名	発達看護学Ⅱ実習〔レベルⅢ〕		[1S0500]	履修者数	130	回答率	
教員名	江本 リナ			紙	88	67.7%	67.7%
学部	看護学部	授業形態	実習	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部	
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。								4.69	4.76	4.72
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。								4.67	4.77	4.72
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。								4.65	4.77	4.72
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。								4.61	4.75	4.70
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。								4.63	4.76	4.72
6	教員と実習指導の連携が取れていた。								4.53	4.69	4.62
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。								4.77	4.81	4.78
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。								4.76	4.83	4.81
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。								4.80	4.82	4.80
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。								4.76	4.81	4.79
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。								4.72	4.77	4.73
12	私は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。								4.92	4.91	4.90
13	私は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。								4.91	4.92	4.90
14	私は、実習目標に到達できるよう努力した。								4.86	4.91	4.91
15	私は、自ら指導・支援を求めることができた。								4.80	4.88	4.86
16	私は、体調管理に努めた。								4.92	4.88	4.88
問1～16全問平均								4.75	4.81	4.79	

■科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～16
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

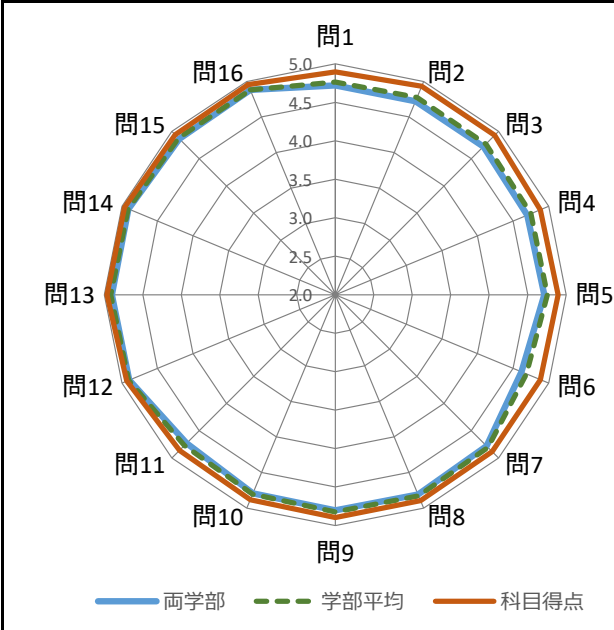
- ・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは
科目得点≤3.5

科目名	発達看護学Ⅲ実習〔レベルⅢ〕		[1S0600]	履修者数	128	回答率	
教員名	田中 孝美			紙	86	67.2%	67.2%
学部	看護学部	授業形態	実習	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部	
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。							787	4.90	4.76	4.72
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。							806	4.93	4.77	4.72
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。							806	4.93	4.77	4.72
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。							787	4.88	4.75	4.70
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。							796	4.90	4.76	4.72
6	教員と実習指導の連携が取れていた。							778	4.88	4.69	4.62
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。							787	4.88	4.81	4.78
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。							787	4.90	4.83	4.81
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。							779	4.90	4.82	4.80
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。							787	4.88	4.81	4.79
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。							769	4.86	4.77	4.73
12	私は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。							806	4.93	4.91	4.90
13	私は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。							833	4.97	4.92	4.90
14	私は、実習目標に到達できるよう努力した。							833	4.97	4.91	4.91
15	私は、自ら指導・支援を求めることができた。							815	4.94	4.88	4.86
16	私は、体調管理に努めた。							824	4.95	4.88	4.88
問1～16全問平均								4.91	4.81	4.79	

■科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～16
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは
科目得点 $\leq$ 3.5

授業改善アンケート【実習】科目別集計

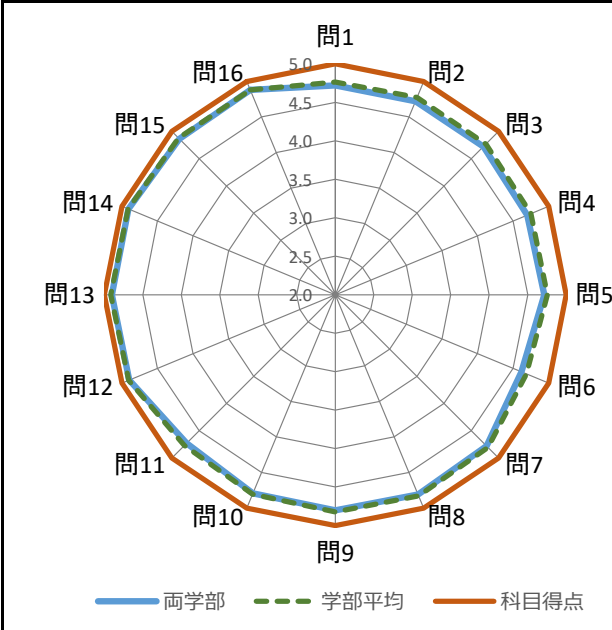
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	地域・在宅看護学実習〔レベルⅣ〕－１（精神）	[1S0801]	履修者数	32	回答率		
教員名	鷹野 朋実		回答数	紙	24	75.0%	75.0%
学部	看護学部	授業形態		WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。			24				5.00	4.76	4.72
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。			24				5.00	4.77	4.72
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。			24				5.00	4.77	4.72
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。			24				5.00	4.75	4.70
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。			24				5.00	4.76	4.72
6	教員と実習指導の連携が取れていた。			24				5.00	4.69	4.62
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。			24				5.00	4.81	4.78
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。			24				5.00	4.83	4.81
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。			24				5.00	4.82	4.80
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。			24				5.00	4.81	4.79
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。			24				5.00	4.77	4.73
12	私は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。			24				5.00	4.91	4.90
13	私は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。			24				5.00	4.92	4.90
14	私は、実習目標に到達できるよう努力した。			24				5.00	4.91	4.91
15	私は、自ら指導・支援を求めることができた。			24				5.00	4.88	4.86
16	私は、体調管理に努めた。			24				5.00	4.88	4.88
問1～16全問平均								5.00	4.81	4.79

■科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～16
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	—	無回答／不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは
科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【実習】科目別集計

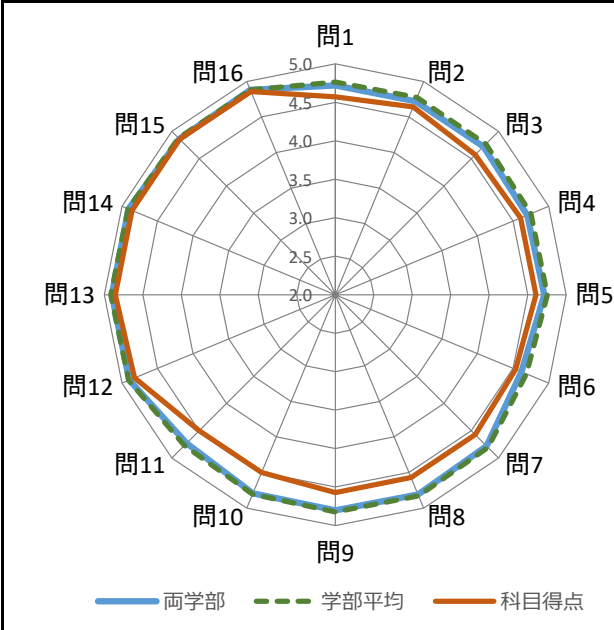
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	地域・在宅看護学実習〔レベルⅣ〕－１（母性）	[1S0802]	履修者数	32	回答率		
教員名	新田 真弓		回答数	紙	28	87.5%	87.5%
学部	看護学部	授業形態		WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	19	6	3				4.57	4.76	4.72
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	20	6	2				4.64	4.77	4.72
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	19	6	3				4.57	4.77	4.72
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	20	5	3				4.61	4.75	4.70
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	20	5	3				4.61	4.76	4.72
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	20	3	5				4.54	4.69	4.62
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	19	6	3				4.57	4.81	4.78
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	19	7	11				4.57	4.83	4.81
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	19	7	11				4.57	4.82	4.80
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	19	5	3	1			4.50	4.81	4.79
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	19	5	3	1			4.50	4.77	4.73
12	私は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	23	5					4.82	4.91	4.90
13	私は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	24	4					4.86	4.92	4.90
14	私は、実習目標に到達できるよう努力した。	24	4					4.86	4.91	4.91
15	私は、自ら指導・支援を求めることができた。	24	4					4.86	4.88	4.86
16	私は、体調管理に努めた。	24	4					4.86	4.88	4.88
問1～16全問平均								4.66	4.81	4.79

■科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～16
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	無回答／不明	

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは
科目得点≤3.5

授業改善アンケート【実習】科目別集計

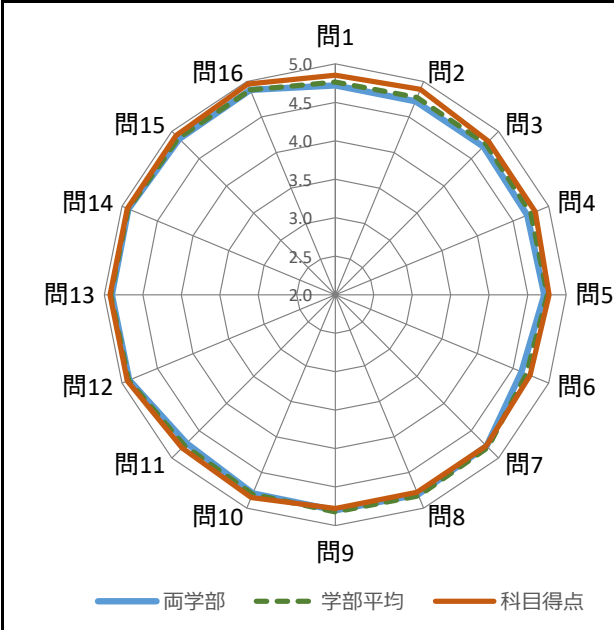
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	地域・在宅看護学実習〔レベルⅣ〕－１（小児）	[1S0803]	履修者数	33	回答率		
教員名	江本 リナ		回答数	紙 27	81.8%	81.8%	
学部	看護学部	授業形態	実習	WEB 0	0.0%		

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。					23	4	4.85	4.76	4.72
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。					24	3	4.89	4.77	4.72
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。					22	5	4.81	4.77	4.72
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。					22	5	4.81	4.75	4.70
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。					21	6	4.78	4.76	4.72
6	教員と実習指導の連携が取れていた。					20	7	4.74	4.69	4.62
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。					21	6	4.78	4.81	4.78
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。					21	6	4.78	4.83	4.81
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。					21	6	4.78	4.82	4.80
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。					23	4	4.85	4.81	4.79
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。					22	5	4.81	4.77	4.73
12	私は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。					25	2	4.93	4.91	4.90
13	私は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。					25	2	4.93	4.92	4.90
14	私は、実習目標に到達できるよう努力した。					25	2	4.93	4.91	4.91
15	私は、自ら指導・支援を求めることができた。					25	2	4.93	4.88	4.86
16	私は、体調管理に努めた。					26	1	4.96	4.88	4.88
問1～16全問平均								4.85	4.81	4.79

■科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～16
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	—	無回答／不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは
科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【実習】科目別集計

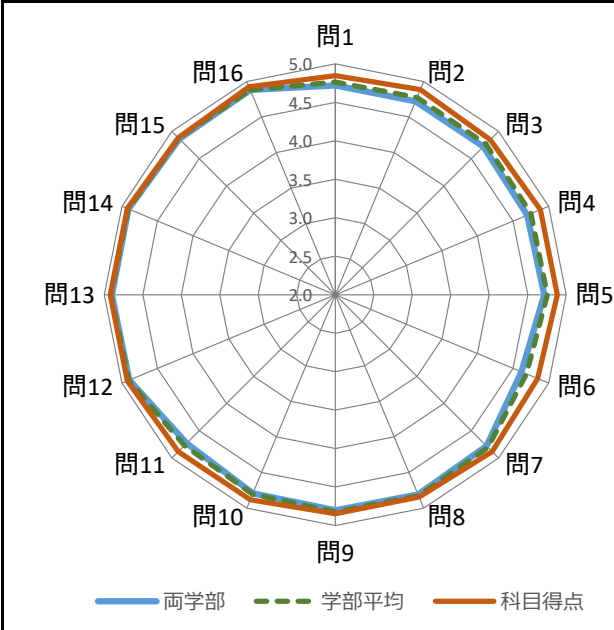
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	地域・在宅看護学実習[レベルⅣ]－1(老年)	[1S0804]	履修者数	32	回答率		
教員名	田中 孝美		回答数	紙 26	81.3%	81.3%	
学部	看護学部	授業形態	実習	WEB 0	0.0%		

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。							4.85	4.76	4.72
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。							4.88	4.77	4.72
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。							4.85	4.77	4.72
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。							4.88	4.75	4.70
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。							4.88	4.76	4.72
6	教員と実習指導の連携が取れていた。							4.85	4.69	4.62
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。							4.88	4.81	4.78
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。							4.85	4.83	4.81
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。							4.85	4.82	4.80
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。							4.88	4.81	4.79
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。							4.88	4.77	4.73
12	私は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。							4.92	4.91	4.90
13	私は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。							4.92	4.92	4.90
14	私は、実習目標に到達できるよう努力した。							4.92	4.91	4.91
15	私は、自ら指導・支援を求めることができた。							4.88	4.88	4.86
16	私は、体調管理に努めた。							4.92	4.88	4.88
問1～16全問平均								4.88	4.81	4.79

■科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～16
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	—	無回答／不明

<質問別回答内訳と得点>

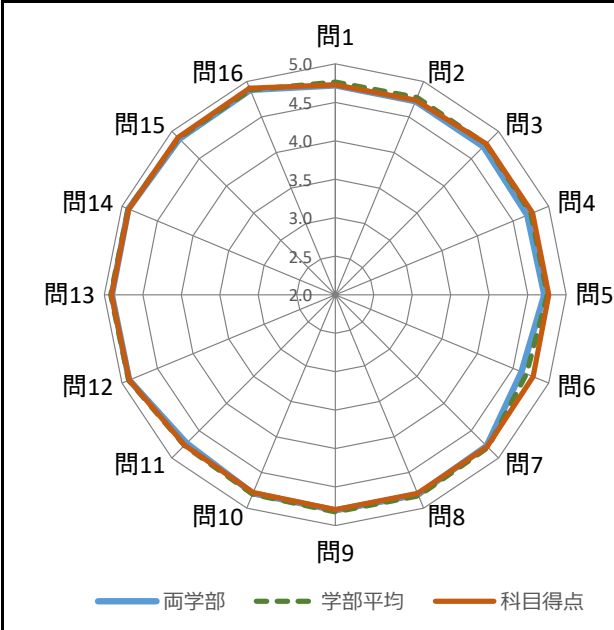
- ・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは
科目得点 ≤ 3.5

科目名	地域・在宅看護学実習[レベルⅣ]-2	[1S0900]	履修者数	147	回答率		
教員名	石田 千絵		紙	106	72.1%	72.1%	
学部	看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%		

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。			78			27	4.73	4.76	4.72
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。			79			26	4.74	4.77	4.72
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。			83			22	4.77	4.77	4.72
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。			85			18	4.77	4.75	4.70
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。			86			16	4.77	4.76	4.72
6	教員と実習指導の連携が取れていた。			84			21	4.78	4.69	4.62
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。			87			16	4.79	4.81	4.78
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。			90			12	4.79	4.83	4.81
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。			88			14	4.79	4.82	4.80
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。			88			15	4.78	4.81	4.79
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。			88			14	4.76	4.77	4.73
12	私は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。			95			11	4.90	4.91	4.90
13	私は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。			96			10	4.91	4.92	4.90
14	私は、実習目標に到達できるよう努力した。			96			10	4.91	4.91	4.91
15	私は、自ら指導・支援を求めることができた。			94			12	4.89	4.88	4.86
16	私は、体調管理に努めた。			96			10	4.91	4.88	4.88
問1～16全問平均								4.81	4.81	4.79

■科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～16
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは
科目得点 $\leq$ 3.5

授業改善アンケート【実習】科目別集計

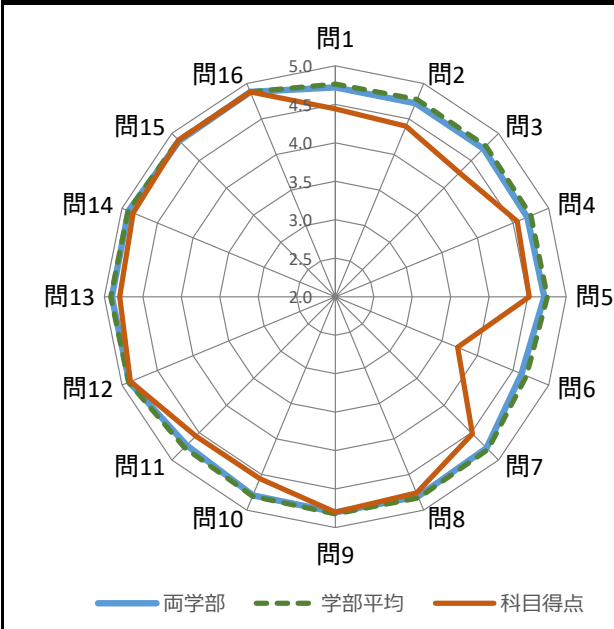
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	看護学総合実習(基礎・成人)[急性期・慢性期]日赤医療センター／みなと／成田 [1S1001]			履修者数	42	回答率	
教員名	佐々木 幾美			紙	25	59.5%	59.5%
学部	看護学部	授業形態	実習	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	15	7	2	1			4.44	4.76	4.72
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	15	6	3	1			4.40	4.77	4.72
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	14	6	3	2			4.28	4.77	4.72
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	16	7	2				4.56	4.75	4.70
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	17	4	4				4.52	4.76	4.72
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	12	3	3	5	2		3.72	4.69	4.62
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	19	3	1	1			4.52	4.81	4.78
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	19	6					4.76	4.83	4.81
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	20	5					4.80	4.82	4.80
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	19	4	1	1			4.56	4.81	4.79
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	19	4	1	1			4.56	4.77	4.73
12	私は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	22	3					4.88	4.91	4.90
13	私は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	21	3	1				4.80	4.92	4.90
14	私は、実習目標に到達できるよう努力した。	21	4					4.84	4.91	4.91
15	私は、自ら指導・支援を求めることができた。	22	3					4.88	4.88	4.86
16	私は、体調管理に努めた。	22	3					4.88	4.88	4.88
問1～16全問平均								4.59	4.81	4.79

■科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～16
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	無回答／不明	

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは
科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【実習】科目別集計

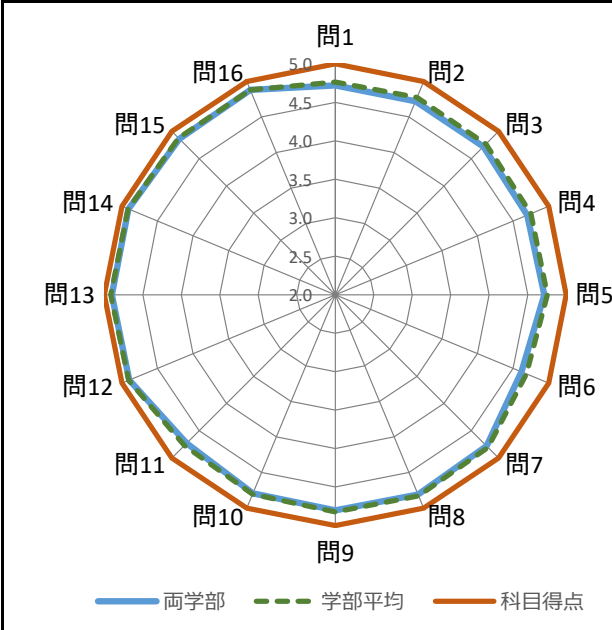
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	看護学総合実習(精神保健)		[1S1002]	履修者数	15	回答率	
教員名	鷹野 朋実			紙	9	60.0%	60.0%
学部	看護学部	授業形態	実習	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。				9			5.00	4.76	4.72
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。				9			5.00	4.77	4.72
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。				9			5.00	4.77	4.72
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。				9			5.00	4.75	4.70
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。				9			5.00	4.76	4.72
6	教員と実習指導の連携が取れていた。				9			5.00	4.69	4.62
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。				9			5.00	4.81	4.78
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。				9			5.00	4.83	4.81
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。				9			5.00	4.82	4.80
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。				9			5.00	4.81	4.79
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。				9			5.00	4.77	4.73
12	私は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。				9			5.00	4.91	4.90
13	私は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。				9			5.00	4.92	4.90
14	私は、実習目標に到達できるよう努力した。				9			5.00	4.91	4.91
15	私は、自ら指導・支援を求めることができた。				9			5.00	4.88	4.86
16	私は、体調管理に努めた。				9			5.00	4.88	4.88
問1～16全問平均								5.00	4.81	4.79

■科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～16
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	—	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

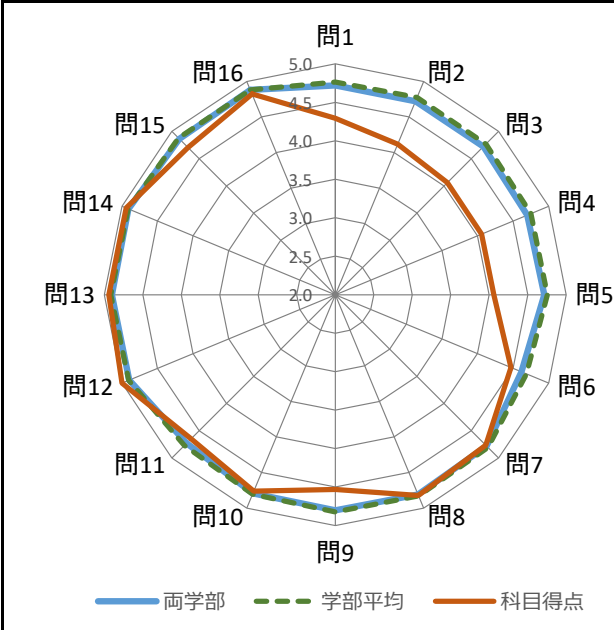
- ・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは
科目得点 ≤ 3.5

科目名	看護学総合実習(母性)[母子]／看護学総合実習(母性)[ハイリスク] [1S1003]			履修者数	23	回答率	
教員名	新田 真弓			回答数	紙	17	73.9%
学部	看護学部	授業形態	実習		WEB	0	0.0%
							73.9%

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	7	8	2				4.29	4.76	4.72
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	10	3	2	2			4.12	4.77	4.72
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	8	6	1	2			4.06	4.77	4.72
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	10	4	3				4.06	4.75	4.70
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	10	4	3				4.06	4.76	4.72
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	11	3	3				4.47	4.69	4.62
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	14	2	1				4.76	4.81	4.78
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	15	1	1				4.82	4.83	4.81
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	13	2	1	1			4.53	4.82	4.80
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	13	4					4.76	4.81	4.79
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	13	2	2				4.65	4.77	4.73
12	私は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	17						5.00	4.91	4.90
13	私は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	16	1					4.94	4.92	4.90
14	私は、実習目標に到達できるよう努力した。	16	1					4.94	4.91	4.91
15	私は、自ら指導・支援を求めることができた。	13	3	1				4.71	4.88	4.86
16	私は、体調管理に努めた。	14	3					4.82	4.88	4.88
問1～16全問平均								4.56	4.81	4.79

■科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～16
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

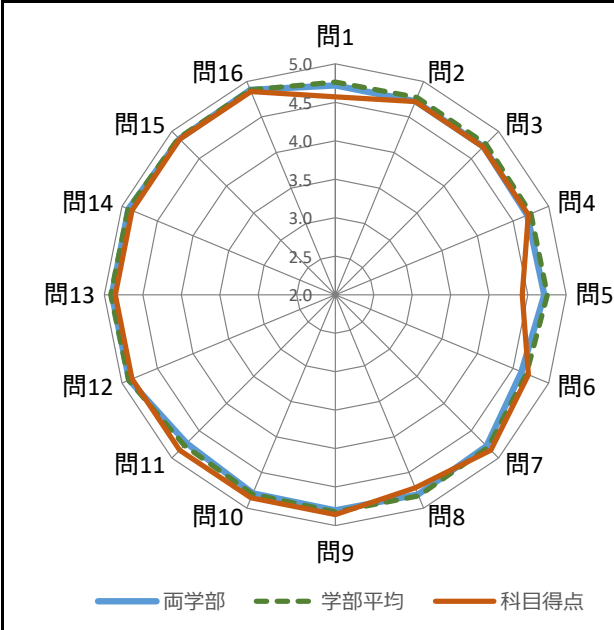
- ・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは
科目得点 $\leq$ 3.5

科目名	看護学総合実習(小児)		[1S1004]	履修者数	15	回答率	
教員名	江本 リナ			紙	7	46.7%	46.7%
学部	看護学部	授業形態	実習	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。									

■科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～16
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

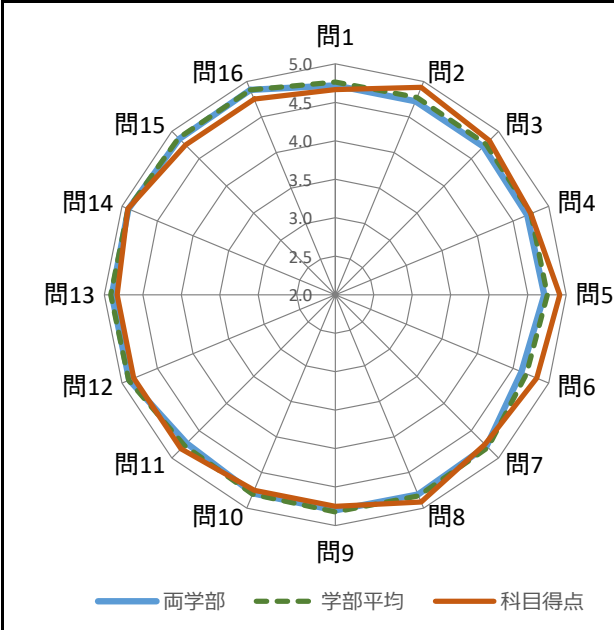
- ・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは
科目得点 $\leq$ 3.5

科目名	看護学総合実習(老年)		[1S1005]	履修者数	15	回答率	
教員名	田中 孝美			紙	12	80.0%	80.0%
学部	看護学部	授業形態	実習	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	84 4						4.67	4.76	4.72
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	11 1						4.92	4.77	4.72
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	10 2						4.83	4.77	4.72
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	9 3						4.75	4.75	4.70
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	11 1						4.92	4.76	4.72
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	10 2						4.83	4.69	4.62
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	10 1 1						4.75	4.81	4.78
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	11 1						4.92	4.83	4.81
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	9 3						4.75	4.82	4.80
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	9 3						4.75	4.81	4.79
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	10 2						4.83	4.77	4.73
12	私は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	10 2						4.83	4.91	4.90
13	私は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	10 2						4.83	4.92	4.90
14	私は、実習目標に到達できるよう努力した。	11 1						4.92	4.91	4.91
15	私は、自ら指導・支援を求めることができた。	9 3						4.75	4.88	4.86
16	私は、体調管理に努めた。	9 3						4.75	4.88	4.88
問1～16全問平均								4.81	4.81	4.79

■科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～16
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは
科目得点 $\leq$ 3.5

授業改善アンケート【実習】科目別集計

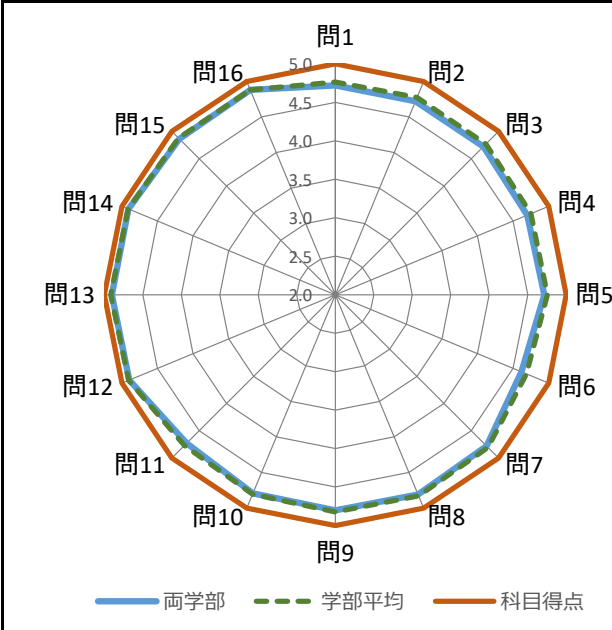
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	看護学総合実習(地域)[在宅]／看護学総合実習(地域)[産業保健]／看護学総合実習(地域)[学校保健]			[1S1006]	履修者数	16	回答率		
教員名	石田 千絵				回答数	紙	14	87.5%	87.5%
学部	看護学部		授業形態	実習		WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	14						5.00	4.76	4.72
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	14						5.00	4.77	4.72
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	14						5.00	4.77	4.72
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	14						5.00	4.75	4.70
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	14						5.00	4.76	4.72
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	14						5.00	4.69	4.62
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	14						5.00	4.81	4.78
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	14						5.00	4.83	4.81
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	14						5.00	4.82	4.80
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	14						5.00	4.81	4.79
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	14						5.00	4.77	4.73
12	私は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	14						5.00	4.91	4.90
13	私は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	14						5.00	4.92	4.90
14	私は、実習目標に到達できるよう努力した。	14						5.00	4.91	4.91
15	私は、自ら指導・支援を求めることができた。	14						5.00	4.88	4.86
16	私は、体調管理に努めた。	14						5.00	4.88	4.88
問1～16全問平均								5.00	4.81	4.79

■科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～16
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	—	無回答／不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは
科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【実習】科目別集計

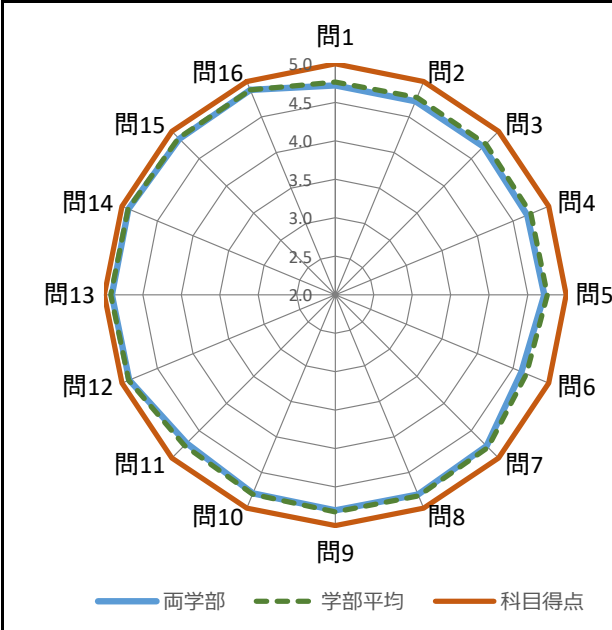
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	看護学総合実習(国際)		[1S1007]	履修者数	3	回答率	
教員名	野口 真貴子			紙	1	33.3%	33.3%
学部	看護学部	授業形態	実習	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。			1				5.00	4.76	4.72
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。			1				5.00	4.77	4.72
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。			1				5.00	4.77	4.72
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。			1				5.00	4.75	4.70
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。			1				5.00	4.76	4.72
6	教員と実習指導の連携が取れていた。			1				5.00	4.69	4.62
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。			1				5.00	4.81	4.78
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。			1				5.00	4.83	4.81
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。			1				5.00	4.82	4.80
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。			1				5.00	4.81	4.79
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。			1				5.00	4.77	4.73
12	私は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。			1				5.00	4.91	4.90
13	私は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。			1				5.00	4.92	4.90
14	私は、実習目標に到達できるよう努力した。			1				5.00	4.91	4.91
15	私は、自ら指導・支援を求めることができた。			1				5.00	4.88	4.86
16	私は、体調管理に努めた。			1				5.00	4.88	4.88
問1～16全問平均								5.00	4.81	4.79

■科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～16
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	—	無回答／不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは
科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【実習】科目別集計

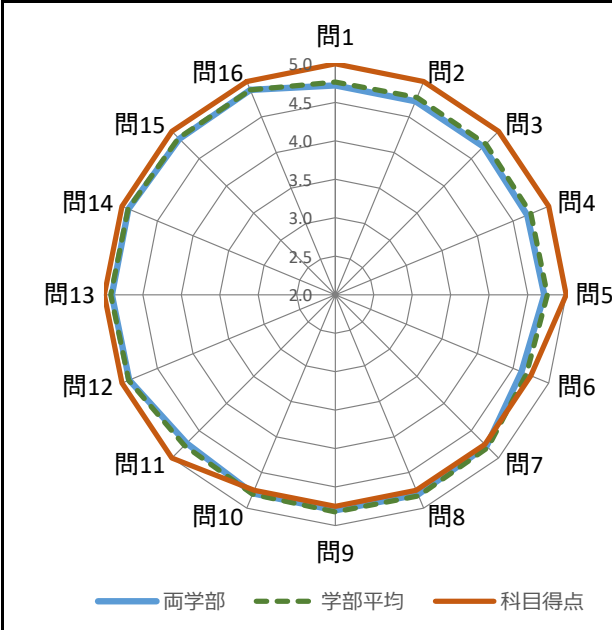
日本赤十字看護大学
2025年度後期

科目名	看護学総合実習(基礎・成人)[緩和ケア]		[1S1010]	履修者数	8	回答率	
教員名	本庄 恵子			紙	4	50.0%	50.0%
学部	看護学部	授業形態	実習	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	4						5.00	4.76	4.72
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	4						5.00	4.77	4.72
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	4						5.00	4.77	4.72
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	4						5.00	4.75	4.70
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	4						5.00	4.76	4.72
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	3			1			4.75	4.69	4.62
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	3			1			4.75	4.81	4.78
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	3			1			4.75	4.83	4.81
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	3			1			4.75	4.82	4.80
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	3			1			4.75	4.81	4.79
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	4						5.00	4.77	4.73
12	私は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	4						5.00	4.91	4.90
13	私は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	4						5.00	4.92	4.90
14	私は、実習目標に到達できるよう努力した。	4						5.00	4.91	4.91
15	私は、自ら指導・支援を求めることができた。	4						5.00	4.88	4.86
16	私は、体調管理に努めた。	4						5.00	4.88	4.88
問1～16全問平均								4.92	4.81	4.79

■科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～16
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	—	無回答／不明

<質問別回答内訳と得点>

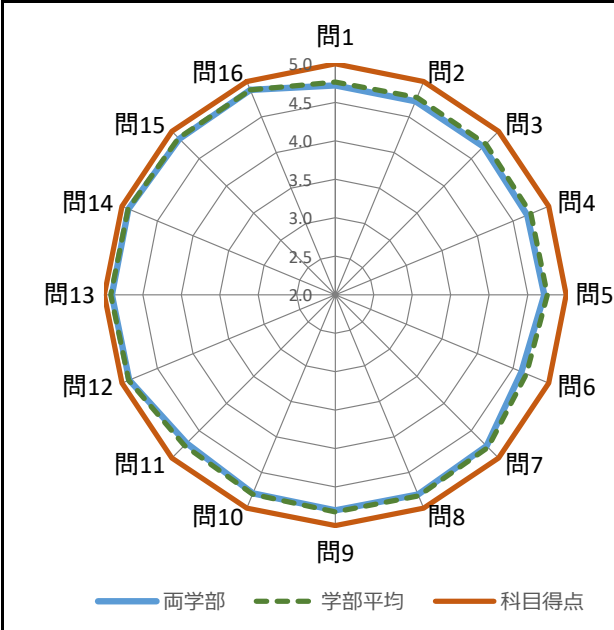
- ・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは
科目得点 ≤ 3.5

科目名	看護学総合実習(救急(災害))		[1S1011]	履修者数	5	回答率	
教員名	内木 美恵			紙	3	60.0%	60.0%
学部	看護学部	授業形態	実習	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。			3				5.00	4.76	4.72
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。			3				5.00	4.77	4.72
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。			3				5.00	4.77	4.72
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。			3				5.00	4.75	4.70
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。			3				5.00	4.76	4.72
6	教員と実習指導の連携が取れていた。			3				5.00	4.69	4.62
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。			3				5.00	4.81	4.78
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。			3				5.00	4.83	4.81
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。			3				5.00	4.82	4.80
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。			3				5.00	4.81	4.79
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。			3				5.00	4.77	4.73
12	私は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。			3				5.00	4.91	4.90
13	私は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。			3				5.00	4.92	4.90
14	私は、実習目標に到達できるよう努力した。			3				5.00	4.91	4.91
15	私は、自ら指導・支援を求めることができた。			3				5.00	4.88	4.86
16	私は、体調管理に努めた。			3				5.00	4.88	4.88
問1～16全問平均								5.00	4.81	4.79

■科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～16
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

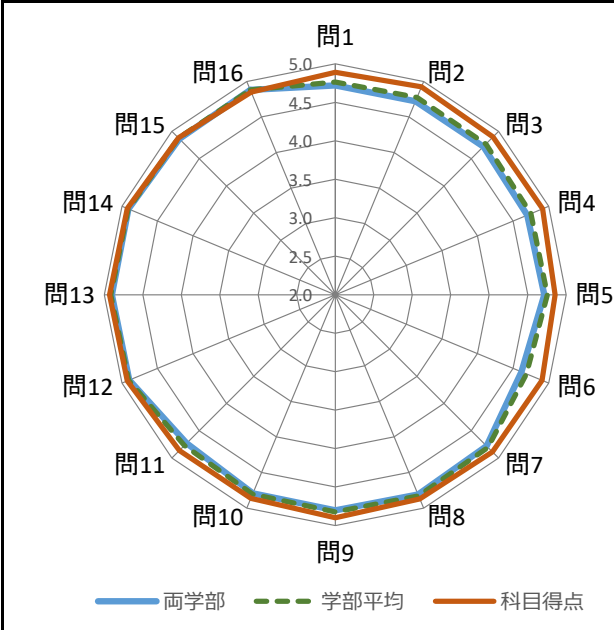
- ・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは
科目得点 ≤ 3.5

科目名	看護学導入実習Ⅱ		[1S1400]	履修者数	157	回答率	
教員名	川原 由佳里			紙	118	75.2%	75.2%
学部	看護学部	授業形態	実習	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	10513						4.89	4.76	4.72
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	1099						4.92	4.77	4.72
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	10612						4.90	4.77	4.72
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	10810						4.92	4.75	4.70
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	10412						4.86	4.76	4.72
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	10711						4.91	4.69	4.62
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	10513						4.89	4.81	4.78
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	10315						4.87	4.83	4.81
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	10612						4.90	4.82	4.80
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	10216						4.86	4.81	4.79
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	10412						4.86	4.77	4.73
12	私は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	1099						4.92	4.91	4.90
13	私は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	1108						4.93	4.92	4.90
14	私は、実習目標に到達できるよう努力した。	1099						4.92	4.91	4.91
15	私は、自ら指導・支援を求めることができた。	10414						4.88	4.88	4.86
16	私は、体調管理に努めた。	10312						4.85	4.88	4.88
問1～16全問平均								4.89	4.81	4.79

■科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～16
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	—	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

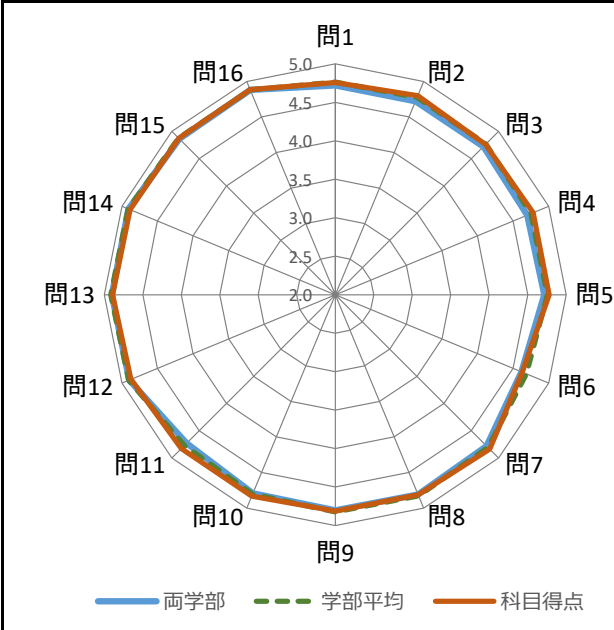
- ・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは
科目得点≤3.5

科目名	基盤臨床看護論実習I		[1S1500]	履修者数	149	回答率	
教員名	川原 由佳里			紙	149	100.0%	100.0%
学部	看護学部	授業形態	実習	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。									

■科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～16
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

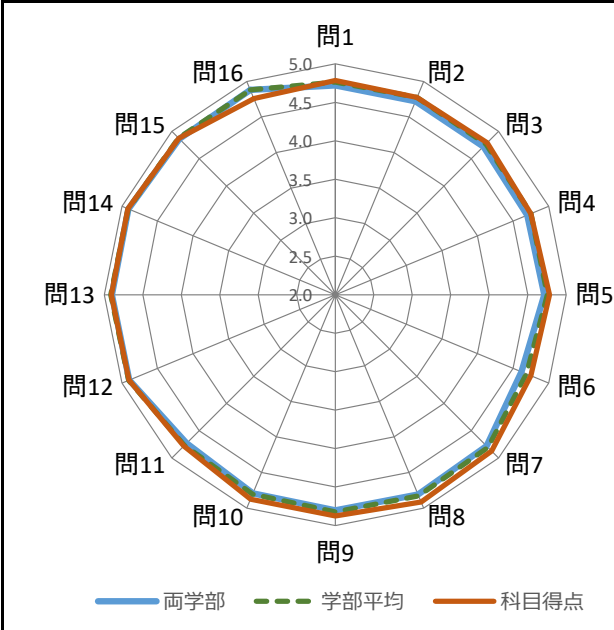
- ・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは
科目得点 ≤ 3.5

科目名	基盤臨床看護論実習Ⅱ		[1S1600]	履修者数	149	回答率	
教員名	川原 由佳里			紙	120	80.5%	80.5%
学部	看護学部	授業形態	実習	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。									

■科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～16
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	—	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは
科目得点 $\leq$ 3.5

科目コード	科目名	教員名	コメント（1000文字以内）
1S0200	看護援助論実習〔レベルⅡ〕	本庄 恵子	授業改善アンケートにご協力をいただき、ありがとうございました。実習環境がよく、ご自身でも前向きに取り組まれ、たくさんの学びがあった実習であったことが伝わってまいりました。今後もみなさんの実習が実り多いものとなりますよう、サポート体制を整えることを継続したいと思います。どうもありがとうございました。
1S0300	精神保健看護学実習レベルⅢ	鷹野朋実	授業改善アンケートへの回答をありがとうございました。 通学に時間を要する立地の実習先が多い状況ではありますが、皆さんが充実した学びを実現されていることがわかり嬉しかったです。実習先のスタッフに対するコメントについては実習機関にもフィードバックさせていただきます。 教員が行う学生への指導として、口頭で伝える、記録にコメントを記載して伝える、どちらの手法が適切であるか、その場に即して選択できるような教員の教授法がとれるように領域内で考える機会を早速持たせていただきます。貴重な意見をありがとうございました。
1S0400	発達看護学Ⅰ実習〔レベルⅢ〕	新田真弓	たくさんのコメントありがとうございました。発達看護学ⅠレベルⅢ実習では、外来や分娩室、NICU/GCU、病棟などで様々な体験ができたようでよかったです。一方で、実習記録の進め方や授業との関連性がわかりにくかったこと、教員間の認識のずれ、教員と病棟（指導者）との連携が円滑でなかった点などのご指摘をいただきました。次年度に向けてよりより実習環境になるよう検討してまいります。
1S0500	発達看護学Ⅱ実習〔レベルⅢ〕	江本 リナ	良い評価をいただきありがとうございます。アンケートから皆さんにとって充実した実習になったことがわかり、教員の励みになりました。 コメントいただいた実習記録形式、実習中の指導内容、休憩時間の持ち方などについて、学びが最大化する方法を検討していきます。
1S0600	発達看護学Ⅲ実習〔レベルⅢ〕	田中 孝美	アンケートへのご回答をありがとうございました。 多くの方が実習目標に達成できるよう、主体的に取り組まれたことがよくわかりました。私たち教員もみなさんの成長を感じられてうれしく思います。 様々な実習施設のご事情により、施設によっては実習が時間で終了できないこともありました。また、様々な職種が働いている施設ですので、スタッフ全員に実習内容の把握がされていないということもありました。今後も実習指導者との連携をより密にし、みなさんの学びをサポートしていきたいと思います。
1S0801	地域・在宅看護学実習レベルⅣ－1	鷹野朋実	授業改善アンケートへの回答をありがとうございました。 カリキュラムが変更されたため、皆さんがこの科目を学ぶ最後の学年でした。地域での実習は満足度が高いということを示していただけたので、新しいカリキュラムにおいても地域での実習が行えるように工夫していきたいと考えています。
1S0802	地域・在宅看護学実習〔レベルⅣ〕－1（母性）	新田真弓	コメントありがとうございました。実習施設との連携についてご指摘がありました。本実習は今年度で終了となりましたが、今後に向けて参考にさせていただきます。
1S0803	地域・在宅看護学実習〔レベルⅣ〕－1（小児）	江本 リナ	良い評価をいただきありがとうございます。アンケートから皆さんにとって充実した実習になったことがわかり、教員の励みになりました。 皆さんからいただいたコメントを活かし、より良い実習にしていきます。
1S0804	地域・在宅看護学実習〔レベルⅣ〕－1（老年）	田中 孝美	レベルⅣ－1実習では、高齢者への看護に興味を持ち、老年看護学領域を選んでくださった皆様が、積極的に高齢者とかかわり、実習目標に到達できるよう積極的に実習に取り組まれていたことがよくわかりました。 地域で生活する高齢者と家族の健康を生活者の視点から捉えて看護ができるよう、今後も皆様からのアンケート結果を反映できるよう努めてまいります。
1S0900	地域・在宅看護学実習〔レベルⅣ〕-2	石田 千絵	実習ではあらゆる天候のなかで、たくさんの学びをされたようで、とても嬉しいです。実りの多い実習等といったコメントも実習施設に還元していきたいと思います。 看護師になられた後も、患者様の退院支援等で、本実習を思い出していただけますと幸いです。 なお、雨天に対する対応はオリエンテーションでもお伝えしておりますが、より具体的にお伝えできるようにしていきたいと思います。
1S1001	看護学総合実習（基礎・成人）〔急性期・慢性期〕日赤医療センター／みなと／成田	佐々木 幾美・安部 陽子・三浦英恵・西田 朋子・小川 圭子	授業改善アンケートに回答くださり、ありがとうございます。59.5%の方からご回答をいただきました。 教員の実習指導をラウンド型（巡回型）の体制としていますので、その項目の評価で「どちらともいえない」といった回答がありましたが、全体としてはよい評価をいただいたと考えています。 自由記載に記載していただいた件については、各病院と一緒に検討していきたいと考えております。

1S1002	看護学総合実習（精神保健）	鷹野朋実	授業改善アンケートへの回答をありがとうございました。 病院と地域のリハビリテーション施設では、スケジュールや実習方法、カンファレンスの運営の方法など、それぞれの実習施設の特徴があり、同じようにはできないというのが現状です。ただし、今回のご意見を参考として、それぞれの病院・施設での体験を共有できるような学内カンファレンスを複数回設けるなどして、学びの質や体験をある程度均等化できるように工夫していきたいと考えています。
1S1003	看護学総合実習（母性）[母子]／看護学総合実習（母性）[ハイリスク]	新田真弓	コメントありがとうございました。最後の総合実習として充実していた様子がわかりうれしく思いました。一方で、実習指導時の教員の対応についてご指摘をいただきました。今後に向けて教員の対応全般を見直し、よい実習環境になるよう検討してまいります。
1S1004	看護学総合実習（小児）	江本 リナ	良い評価をいただきありがとうございます。アンケートから皆さんにとって充実した実習になったことがわかり、教員の励みになりました。 皆さんからいただいたコメントを次年度に活かし、より良い実習にしていきます。
1S1005	看護学総合実習（老年）	田中 孝美	みなさんが本学での最後の実習となる総合実習において大変熱意をもって取り組まれていたことがわかりました。教員が実習施設にいない日が多くある中でも目標到達に向けて自ら解決方法を探り、体調管理も含めて主体的に実習を進めていたことが伝わり、教員一同嬉しく感じています。 今後もみなさんが教員や実習指導者に相談しやすい環境を整えるとともに、実習指導者の方々と細やかに連携し、よりみなさん一人ひとりの希望に合わせた実習展開が可能となるよう検討してまいります。
1S1006	看護学総合実習（地域）[在宅]／看護学総合実習（地域）[産業保健]／看護学総合実習（地域）[学校保健]	石田 千絵	全員がパーフェクトな学びをされたようで、教員一同、とても嬉しいです。産業保健、学校保健、在宅看護の3分野のそれぞれの学びを今後に生かしていただけますと幸いです。
1S1007	看護学総合実習（国際）	野口眞貴子	より多くの学生が履修できるようにと、履修人数の拡大について、ご意見をいただきました。実習施設や実習内容を検討します。
1S1010	看護学総合実習（基礎・成人）[緩和ケア]	本庄 恵子	授業評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。みなさんが主体的に取り組む、満足度が高い実習であったことが伝わってまいりました。 これからも満足度の高い実習となるよう、実習準備や実習指導に努めたいと思います。どうもありがとうございました。
1S1011	看護学総合実習（救急（災害））	内木 美恵	授業改善アンケートへのご協力をありがとうございました。ご意見の中に、臨床講義のスライドをもらいたかった、夜間実習があると学びが深まるとの指摘がありました。臨床講義資料に関しては、できる限り配布していただけるように交渉していきたいと思います。夜間実習については、安全性の確保などの観点から実施は難しいと思いますが、夜間帯のケアについても知ることができるよう、実習内容を工夫し、改善していきたいと思います。ご意見を下さりありがとうございました。今後の授業に活かしていきます。
1S1400	看護学導入実習Ⅱ	川原 由佳里他	概ね、教員の指導が適切で、よい経験を積まれたことが伝わってくる評価内容でした。臨床では状況が変化していくのが早く、計画を変更して対応していく能力が求められます。戸惑うことも多いと思いますが、しっかりサポートしていきたいと思います。
1S1500	基盤臨床看護論実習Ⅰ	川原 由佳里他	医療の場の特性を学ぶ、様々な部門における看護の役割やチーム医療の実際を見学を通じて学ぶ実習です。新カリキュラムになって初めての実施で、戸惑いも多かったものと考えます。実習をより改善するためのご意見をありがとうございます。真摯に振り返り、改善につなげていきたいと思います。
1S1600	基盤臨床看護論実習Ⅱ	川原 由佳里他	3週間の実習お疲れさまでした。先生方のサポートにより、みなさんの実習を通じて学んでいる状況が良く伝わってきました。一部、教員によって指導方法に違いがあるとのコメントもありましたので、コメントを教員間で共有し、適切な指導が行えるよう改善していきたいと思います。